厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業））

ICTを活用した卒前・卒後のシームレスな医学教育の支援方策の策定のための研究

令和２年度研究年度終了総括研究報告書

研究代表者　門田守人

令和３年（２０２１）年　５月

目　次

Ⅰ．総括研究報告書

ICT を活用した卒前・卒後のシームレスな医学教育の支援方策の策定のための研究..... Ⅰ-1
門田　守人

Ⅱ．分担研究報告書

ICT を活用したシームレスな評価体系構築..... Ⅱ-1
田中　雄二郎
木内　貴弘

ICT を活用した卒前の臨床実習と卒後臨床研修の支援と評価法（マルチメディア活用 CBT の応用とその評価のための新たなシステム）の開発 Ⅲ-1
高木　康

医師国家試験の CBT 化と共用試験 CBT の公的化についての研究 Ⅳ-1
伴　信太郎

医師国家試験出題基準の改定に向けた提言のための研究..... Ⅴ-1
伴　信太郎

臨床研修の評価体系の構築 Ⅵ-1
福井次矢

ICT を活用した医学教育コンテンツ等の開発..... Ⅶ-1
河北博文

Ⅲ．研究成果の刊行に関する一覧表..... Ⅷ-1

厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業））
総合研究報告書

ICT を活用した卒前・卒後のシームレスな医学教育の支援方策の策定のための研究

研究代表者　門田守人　　日本医学会連合　会長
研究分担者　伴信太郎　　愛知医科大学医学教育センター特命教授
福井次矢　　聖路加国際大学　聖路加国際病院　院長
田中雄二郎　東京医科歯科大学理事、学長
木内貴弘　　東京大学医学部附属病院教授
高木康　　昭和大学副学長特任教授
河北博文　　日本医療機能評価機構理事長

【研究要旨】
ICTを活用した医学教育は、学部教育における共用試験CBTや臨床研修におけるEPOCなどで実施されてきたが、卒前・卒後のシームレスな医師育成に活用できていない現状がある。2016年度改訂の医学教育モデル・コア・カリキュラムおよび2020年度適用予定の医師臨床研修到達目標は、卒前・卒後の連続性を考慮した一貫性のあるものとなっており、今後、卒前臨床実習・卒後臨床研修・専門研修・生涯教育までを含めて、医学生・研修医・医師の能力向上を支援し、評価できるICTの基盤構築が喫緊の課題である。
本研究では15年にわたる臨床研修制度の実績と卒前医学教育改革を踏まえ、ICTを活用したシームレスな医学教育支援のための評価法を構築し、さらには医師国家試験のICT化、臨床研修制度の体系的評価法について基礎的検討を行った。

・ICTを活用したシームレスな評価体系構築（田中、木内）：モバイル端末上で利用可能なICTを活用した卒後臨床研修評価システムを開発し、本運用を開始した。その利用施設・利用研修医数は、全国800施設、8000名を超えていた。卒前臨床実習評価システムについては、プロトタイプが完成した。
・ICTを活用した卒前の臨床実習と卒後臨床研修の支援と評価法の開発（高木）：マルチメディアを活用したCBTシステムを開発し、参加型臨床実習で修得すべき技能や態度の可視的教材としてのプレテスト、あるいは国家試験の実技として検討が始まったPost-CC OSCEの補助評価指標としての教材・システムとしての有用性を検討した。
・医師国家試験のCBT化と共用試験CBTの公的化についての研究（伴）：医師国家試験については、医師国家試験のCBT化、試験問題の不開示、IRT理論による試験問題管理を取り上げ、その為の法律的、教育測定学的、および実施運営工程についての基礎的検討を行なった。また、共用試験CBTについては、学生が臨床実習を開始する前に十分な臨床能力を各大学の裁量から離れて、全国統一の資格付与をするための基礎的検討を行なった。
・臨床研修の評価体系の構築（福井）：平成 16 年（2004 年）4月に必修化された医師の卒後臨床研修制度がもたらしたさまざまな影響を評価する目的で、①2年次研修医年度末調査の解析、②認知分野の客観的試験を用いた「継続」プログラムと「弾力化」プログラムの比較、③研修医評価票の妥当性検証、④ICTを活用した研修医の業務量調査、という４つのテーマについて調査研究を行った。
・ICTを活用した医学教育コンテンツ等の開発（河北）：モデル的なシナリオ・コンテンツを作成し、Moodle版での教材となる医学教育コンテンツを作成するとともに、医学教育コンテンツの作成と利用に関する体制基盤づくりについて提言した。

A. 研究目的

ICT を活用した医学教育は、学部教育における共用試験 CBT や臨床研修における EPOC などで実施されてきたが、卒前・卒後のシームレスな医師育成に活用できていない現状がある。2016 年度改訂の医学教育モデル・コア・カリキュラムおよび 2020 年度適用予定の医師臨床研修到達目標は、卒前・卒後の連続性を考慮した一貫性のあるものとなってお

り、今後、卒前臨床実習・卒後臨床研修・専門研修・生涯教育までを含めて、医学生・研修医・医師の能力向上を支援し、評価できる ICT の基盤構築が喫緊の課題である。

本研究では15年にわたる臨床研修制度の実績と卒前医学教育改革を踏まえ、ICT を活用したシームレスな医学教育支援のための評価法を構築し、さらには医師国家試験の ICT 化、臨床研修制度の体系的評価法について基礎的検討を行うべく、下記①～⑤の研究を行った。

①ICT を活用したシームレスな評価体系構築（田中、木内）
②ICT を活用した卒前の臨床実習と卒後臨床研修の支援と評価法の開発（高木）
③医師国家試験の CBT 化と共用試験 CBT の公的化についての研究（伴）
④臨床研修の評価体系の構築（福井）
⑤ICT 活用した医学教育コンテンツ等の開発（河北）

B．研究方法

①ICT を活用したシームレスな評価体系構築（田中、木内）

平成 30 年度は卒前臨床実習、卒後臨床研修の評価についてそれぞれ、文部科学省や厚生労働省の関連ガイドライン等の調査を行うとともに、APMEC にて海外の評価システムの調査を行い、ICT を活用した卒後臨床研修と連携する卒前臨床実習の評価システムの開発を進めた。令和元年度は ICT を活用した卒後臨床研修評価システムに関して、全国の 6 大学病院および 1 臨床研修病院を対象に実証的運用試験を実施した。また、運用試験中に明らかとなった課題への対応を検討し、運用系システムの開発を進めた。

令和 2 年度は、全国の大学病院および臨床研修病院を対象に ICT を活用した卒後臨床研修評価システムの本運用を開始し、表出した課題に対する対応を検討し、システムのさらなる改良を行った。また、卒前臨床実習評価システム(プロトタイプ)の開発を行った。

②ICT を活用した卒前の臨床実習と卒後臨床研修の支援と評価法の開発（高木）

学間共用試験、臨床実習後の技能評価システムとして、音声・動画、放射線の連続画像などのマルチメディアを活用した CBT システムの具体的内容を検討し、その有用性と問題点について検討した。

③医師国家試験の CBT 化と共用試験 CBT の公的化についての研究（伴）

医師国家試験の CBT 化については、医師国家試験を実施している、米国(USMLE)、ドイツ、カナダ、台湾、韓国の実情を調査するとともに、試験問題の不開示については、法律家から聞き取り調査をおこなった。また、CBT 化した医師国家試験の実施運営については 3 人の教育測定学専門家から聞き取り調査を行なうとともに、日本で様々な資格試験を CBT で実施しているテストベンダーに聞き取り調査を行った。これらの調査に基づき、医師国家試験 CBT 化導入のための設計を検討した。

共用試験の公的化については、法律家から公的化の幾つかの可能性について情報収集を行った。

④臨床研修の評価体系の構築（福井）

平成 30 年（2018 年）度に行った調査で得られた最新のデータを用いて、2 年次研修医年度末調査の解析を行った。さらに、認知分野の客観的試験を用いた「継続」プログラムと「弾力化」プログラムの比較を行った。また、令和 2 年度から「見直し」され施行されている新たな臨床研修制度において、新たな研修到達目標について、研修医の達成度を評価するために用いる研修医評価票を、研修病院関係者に広く周知する目的でワークショップを企画した。そして、ICT を活用した研修医の業務量調査を実施し、業務内容、睡眠時間を 10 年前に行った調査データと比較分析した。

⑤ICT を活用した医学教育コンテンツ等の開発（河北）

海外のシミュレーションコンテンツの評価や EBM の教育活用の分析を行うとともに、臨床推論、EBM の応用、動画・音声を駆使した 8 症例のモデルシナリオを作成した標準化されたシナリオを作成するにあたっての留意点を作成するとともに、作成したモデルシナリオを Moodle に搭載し、医学教育コンテンツの完成版として 2 症例のコンテンツを作成した。さらに、臨床実習の代替教材として 6 症例のシナリオ・コンテンツを作成し、無償提供を行い、教員と医学生にアンケート調査を行った。

C．研究結果

①ICT を活用したシームレスな評価体系構築（田中、木内）

モバイル端末上で利用可能な ICT を活用した卒後臨床研修評価システムを開発し、本運用を開始した。その利用施設・利用研修医数は、全国 800 施設、8000 名を超えていた。卒前臨床実習評価システムについては、プロトタイプが完成した。

②ICT を活用した卒前の臨床実習と卒後臨床研修の支援と評価法の開発（高木）

マルチメディアを活用した診療参加型臨床実習で修得すべき、あるいは修得した内容を評価するためのマルチメディア活用 CBT の内容を検討して以下の内容として問題を作成した。症例により評価する事項が重複するため、、1)意識レベル、2)心雑音、3)呼吸状態、4)呼吸音、5) 腹部診察、6) 徒手筋力テスト（MMT)、7)神経学的診断、8) カラー

ドップラーによる心疾患診断、9）頭部 CT・MRI による診断、10)頸部・胸部 CT・MRI、超音波検査での（部位）診断、11)腹部 CT・MRI、超音波検査での（部位）診断などの内容について 25 題を作成した。

③医師国家試験の CBT 化と共用試験 CBT の公的化についての研究（伴）

医師国家試験の CBT 化、試験問題の不開示、IRT 理論による試験問題管理を取り上げ、その為の法律的、教育測定学的、および実施運営工程についての基礎的検討を行うとともに、共用試験 CBT の公的化の方法について検討して、下記の 5 つの方法を提案し、メリット、デメリットを整理した。

1 医師国家試験の一部として位置付ける
2 合格者に厚生労働大臣が付与する資格を与える
3 合格者に医政局長またはその他役職者名で厚生労働省による資格を与える
4 全国医学部長病院長会議(AJMC)による資格認定とする
5 厚生労働省のもとに学生医師試験委員会（仮称）を設置し、共用試験 CBT の合格者には委員会の委員長名で合格証を発行する（司法試験と同様の方法）

④臨床研修の評価体系の構築（福井）

「臨床知識、技術、態度に関する自信度」や研修医の「経験症例数」を指標にすると、臨床研修の必修化はより優れた医師の養成に繋がっていることが確認でき、幅広い臨床能力を身に付けた医師の養成には、研修医がローテーションする診療科数の多い「継続」プログラムが有効であった。また、令和 2 年（2020 年）度に「見直し」された医師臨床研修制度における新たな研修医評価票の妥当性を確認した。令和 2 年度には、ICT を活用した研修医の業務量調査の結果については、平均勤務時は 11 時間 45 分と長かった。業務内容では、患者ケアに費やす時間の割合が増え、プライベートな時間が減り、構造化された教育や研究には、以前と同様、非常にわずかな時間しか割かれていなかった。

⑤ICT を活用した医学教育コンテンツ等の開発（河北）

海外（ポルトガル）のシミュレーションコンテンツの評価や EBM の教育活用の分析を行うとともに、臨床推論、EBM の応用、動画・音声を駆使した 8 症例のモデルシナリオを作成した標準化されたシナリオを作成するにあたっての留意点を作成するとともに、作成したモデルシナリオを Moodle に搭載し、医学教育コンテンツの完成版として 2 症例のコンテンツを作成した。さらに、臨床実習の代替教材として6症例のシナリオ・コンテンツを作成し、無償提供を行い、教員と医学生にアンケート調査を行ったところ、概ね高い評価を得た。

D．考察

EPOC による卒前・卒後の臨床実習・研修の評価を一貫性のあるものとすることによって、卒前実習の質の均てん化が図られることが期待される。また、医師国家試験を CBT 化することにより、より臨床現場の臨床能力に近い推論能力を問うことができるようになる。さらに、マルチメディアを活用した作問は、今後生涯教育にも活用できるような試験問題の作成への可能性を開くことが期待される。

E．結論

①ICT を活用したシームレスな評価体系構築（田中、木内）

モバイル端末上で利用可能な ICT を活用した卒後臨床研修評価システムを開発し、本運用を開始した。卒前臨床実習評価システムについては、プロトタイプが完成した。今後は、卒前臨床実習評価システムについて実証的運用試験を行うことにより課題を明らかにし、本運用に向けて開発を進めていく予定である。

②ICT を活用した卒前の臨床実習と卒後臨床研修の支援と評価法の開発（高木）

動画・音声、連続画像などのマルチメディアを活用した CBT を開発した。Post-CC OSCE の 1 課題として施行課題を試験した。大学間共用試験 CBT へ応用することで診療参加型臨床実習への行動変容が期待できる。また、Post-CC OSCE の補完評価として Post-CC OSCE の 1 課題として活用することで診療参加型臨床実習の適切な評価の可能性が示唆された。卒後臨床研修修了評価としての応用については今後の検討が必要であるが、シームレスな臨床実習・研修、さらには良質な医師の育成への活用も可能である。

③国家試験 CBT 化／共用試験の公的位置付けについての研究（伴）

医師国家試験の CBT 化に向けた教育測定学的整理と実施運営工程についての基礎的研究を完遂した。また、共用試験 CBT の公的化の方法について検討して、5 つの方法を提案した。

④臨床研修の評価体系の構築（福井）

近年の医療状況、近未来の医療ニーズを考えると、幅広い臨床能力を身に付けた医師の必要性が高まることが想定されるため、多くの診療科をローテーションする研修プログラムを必修とした、令和 2 年（2020 年）度施行の「見直し」された臨床研修制度は理に適っている変更であったと考えられる。また、研修医の業務時間と業務内容の把握については、医師の働き方改革に伴う改善策の有効性評価をリアルタイムで行える ICT 活用のデータ収集の必要性が高まると考えられる。

⑤ICT を活用した医学教育コンテンツ等の開発
（河北）

ポルトガルの医学教育においては、教育資源が限られるという状況が、シミュレーション教育の導入の動機を与えていた。

医学教育コンテンツの作成のためのシナリオ作成では、臨床推論と EBM の応用を意識し、総合診療で遭遇しやすい common disease を題材に動画・音声ファイルなどを駆使して作成するとともに、シナリオの標準化の観点化からの作成上の留意点についてまとめた。

医学教育コンテンツの作成では、Moodle の機能を活用し、双方向性を確保するとともに、動画、音声ファイルを駆使した。令和 2 年度では、知識面のフィードバックを充実させた、より教育効果が高められる医学教育コンテンツを作成した。また、臨床実習の代替教材向けのシナリオ・コンテンツを 6 症例作成し、代替教材として全国医学部 42 大学に無償提供するとともに、アンケート調査を行ったが、その結果は概ね高い評価であった。

Ｆ．研究発表

なし

Ｇ．知的財産権の出願・登録状況

該当なし

厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業））
令和 2 年度研究年度終了分担研究報告書

ICT を活用したシームレスな評価体系構築

研究分担者　田中　雄二郎　東京医科歯科大学　学長
木内　貴弘　東京大学医学部附属病院　大学病院医療情報ネットワーク(UMIN)研究センター教授
研究協力者　髙橋　誠　北海道大学 大学院医学研究院　医学教育・国際交流推進センター　教授
岡田　英理子　東京医科歯科大学　臨床医学教育開発学分野　講師・医学部附属病院総合教育研修センター長

研究要旨

卒前臨床実習および卒後臨床研修の内容と評価を一貫して記録できる ICT を活用した評価システムの開発に関して、令和 2 年度は、大学病院・臨床研修病院を対象に卒後臨床研修評価システムの本運用を行い、利用施設・利用研修医数は、全国 800 施設、8000 名以上となった。そして明らかとなった課題に対して、対応策を検討し、システムのさらなる改良を行った。卒前臨床実習評価システムについては、取り扱う症候・手技を確定し、プロトタイプを作成した。

A. 研究目的

これまで我々は、卒前臨床実習および卒後臨床研修の内容と評価を一貫して記録できる ICT を活用した評価システム（EPOC2）を開発してきた。

令和 2 年度は、ICT を活用した卒後臨床研修評価システムの本運用を行うことにより課題を明らかにすること、明らかとなった課題に関してシステムの改良を行うこと、さらに、卒前卒後の一貫したシームレスな評価尺度と卒前経験症候・手技項目の確定と、卒前臨床実習評価システム(プロトタイプ)を開発することを目的とした。

B. 研究方法

全国の大学病院および臨床研修病院を対象に ICT を活用した卒後臨床研修評価システムの本運用を開始した。本運用中に表出した課題を課題台帳にまとめ、対応を検討し、明らかとなった課題に関してシステムのさらなる改良を行った。

また、卒前臨床実習評価システム(プロトタイプ)の開発を行った。

C. 研究結果

令和 2 年 4 月より本運用を開始した卒後臨床研修評価システム(EPOC2)の利用施設・利用研修医数は、800 施設、8000 名以上となった(図 1a)。入力状況の 1 例として、東京医科歯科大学における入力状況を検討したところ、EPOC2 の入力を研修医、指導医ともに積極的に行っていることがわかった(図 1b)。

ICT を活用した卒後臨床研修評価システムの本運用を行うなかで、実際の運用上の課題がいくつか以下のように明らかとなった(図 1c)。1）研修医評価(担当指導医からの評価)の際の基準となる数字(平均値等)の必要性、2) 評価表入力上の複数の課題（研修医メモ欄の文字数の問題、メディカルスタッフ・患者などからの評価において評価表すべての項目を観察することは困難な場合の入力の問題など）が挙げられた。

明らかとなった上記の課題に対して、それぞれ以下の対応策を検討した。1）研修医の到達状況の四半期毎の全国平均を参照できる機能を付加した。2）研修医メモ欄の文字数を 400 字

から 1000 字に増やした。メディカルスタッフの評価表入力の初期値を「観察機会なし」とし、 メディカルスタッフ、患者・家族等の評価表で「良かった点」、「改善すべき点」、「その他」のいずれかが入力されていれば、全て「観察機会なし」でも登録できるように対応した。

また、卒前臨床実習評価システムの開発については、3)卒前−卒後の資質能力と基本的臨床手技のシームレスな評価項目を構築し確定すること、4) 卒前で取り扱う症候・手技の確定の必要性について前年度からの課題として挙げられていたが、今年度の EPOC 運営委員会および全国医学部長病院長会議（AJMC）とともに検討しその内容が確定した(図 2a-c)。

さらに卒前臨床実習評価システム(CC-EPOC)のプロトタイプを作成した(図 3a-d)。

D. 考察

モバイル端末上で、医学生・研修医が自己評価結果を記載し、指導医等が評価結果を入力することにより卒前臨床実習および卒後臨床研修の内容と評価を一貫して記録できる ICT を活用した評価システムの開発を行った。

令和 2 年度は、卒後臨床研修評価システムの本運用を行い、利用施設・利用研修医数は、全国 800 施設、8000 名以上となった。指導医評価については、評価の妥当性を担保するために、全国の指導医平均値を提示することでその解決を試みている。また、現場の運用で明らかとなった課題に対して、ニーズに合わせた対応策を検討し、システムのさらなる改良を行った。

卒前臨床実習評価システムについては、卒前卒後のシームレスな評価尺度および取り扱う症候・手技を確定し、プロトタイプが完成した。今後は、卒前臨床実習評価システムについて大学病院・学外実習病院と協力して実証的運用試験を行うことにより課題を明らかにし、本運用に向けて開発を進めていく予定である。

E. 結論

卒後臨床研修評価システムの本運用を開始し、その結果明らかとなった課題に関して、検討およびシステムの改良を行った。卒前臨床実習評価システムのプロトタイプが完成した。

文献

1. モデル・コア・カリキュラム改訂に関する連絡調整委員会，モデル・コア・カリキュラム改訂に関する専門研究委員会: 臨床実習の到達目標．医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成 28 年度改訂版．p134-176.
2. 厚生労働省: 臨床研修の到達目標、方略及び評価．医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令の施行について（平成 30 年 7 月 3 日付医政発 0703 第 2 号）（別添）.
3. 医学部の臨床実習において実施可能な医行為の研究報告書（平成 30 年 7 月）. https://www.mhlw.go.jp/content/10803000/000341168.pdf
4. 厚生労働省:医師臨床研修ガイドライン—2020 年度版—（平成 31 年 3 月）. https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000496242.pdf

F. 研究発表

論文発表

なし

学会発表

高橋誠．卒前臨床実習・卒後臨床研修の方略と評価の工夫．第 52 回日本医学教育学会大会（シンポジウム 8 教育の一貫性:4 年間の振り返りと今後の展望 座長:田中雄二郎）．令和 2 年 7 月 18 日~10 月 17 日，Web 公開.

G. 知的財産権の出願・登録状況

図 1 卒後臨床研修評価システム

(1a) 利用施設、利用研修医数

	利用施設数	利用研修医数
EPOC2	896施設 (R3 2/2 現在)	8,308名 (R3 2/2 現在)
(参考) EPOC2	803施設 (R2 5/19 現在)	8,465名 (R2 5/19 現在)
(参考) 旧EPOC	541施設 (H31年度)	5,017名 (H31年度)

(1b) 東京医科歯科大学医学部附属病院における評価表Ⅰ−Ⅲの入力状況

入力者	研修医	指導医
4-5月	46 (96%)	43 (90%)
6-7月	45 (94%)	41 (85%)
8-9月	44 (92%)	39 (81%)
10-11月	43 (90%)	42 (88%)

(1c) 明らかとなった課題に対する対応(抜粋)

システム開発履歴		
完了時期	ver	内容
2020/05/11	1.02版	研修医メモ欄の文字数変更(400字→1000字)
2020/06/22	1.04版	評価票I/II/IIIとプロジェクト独自の評価票を分割。 プロジェクト独自の評価票は研修医のみ入力できます。/ 指導医の並行研修に登録されたスケジュールの研修評価票I/II/IIIの入力機能
2020/07/01	1.05版	メディカルスタッフの評価票入力のデフォルト値を「観察機会なし」に。
2020/08/04	1.07版	メディカルスタッフ、患者・家族等の評価票で、 全て「観察機会なし」でも「良かった点」「改善すべき点」「その他」のいずれかが入力されていれば、登録できるように修正
2020/10/27	1.09版	四半期別平均値集計機能 担当指導医による四半期毎の集計を担当指導医、上級医の評価票画面に 表示します。(指導医の代理入力画面も含みます) ※集計は2,5,8,11月1日 0:10から実施、1日朝には閲覧できる状態となる予定。

図 2 卒前臨床実習評価システム

(2a) シームレスな評価尺度

資質能力のシームレスな評価尺度

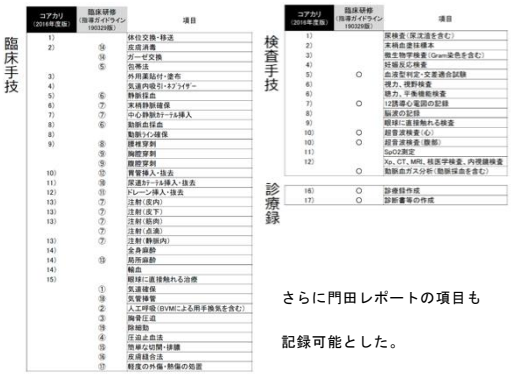
	EPOC2	コアカリ	臨床研修
臨床実習開始前のレベル	1	1	
臨床実習開始時のレベル	2	2	
	3	3	
臨床実習終了時(卒業時)のレベル	4	4	レベル1
	5	5	レベル2
臨床研修終了時で期待されるレベル	6		レベル3
	7		レベル4
観察機会なし	NA		

EPA、手技等のシームレスな評価尺度

	EPOC2	コアカリ	臨床研修
経験無し	1	1	
見学	2	2	
介助できる	3	3	
指導医の直接の監督の下でできる	4	4	レベル1
指導医がすぐに対応できる状況下でできる	5	5	レベル2
ほぼ単独でできる	6		レベル3
後進を指導できる	7		レベル4
観察機会なし	NA		

(2b)経験症候に関する卒前/卒後の一貫性

(2c) 手技・診療録作成等に関する卒前/卒後の一貫性



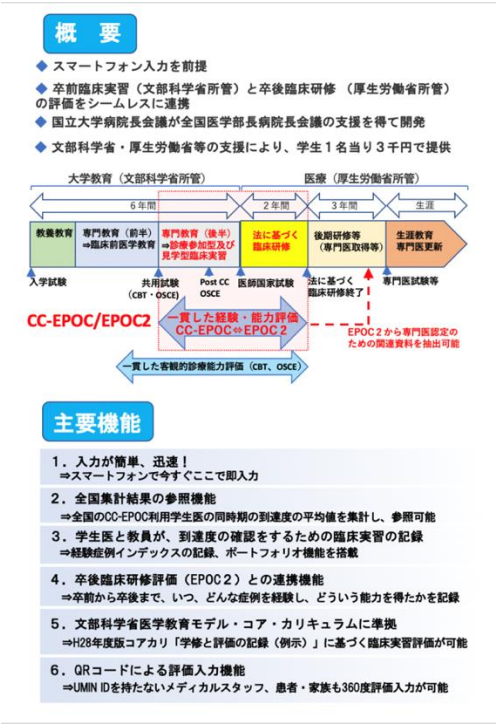
さらに門田レポートの項目も

記録可能とした。

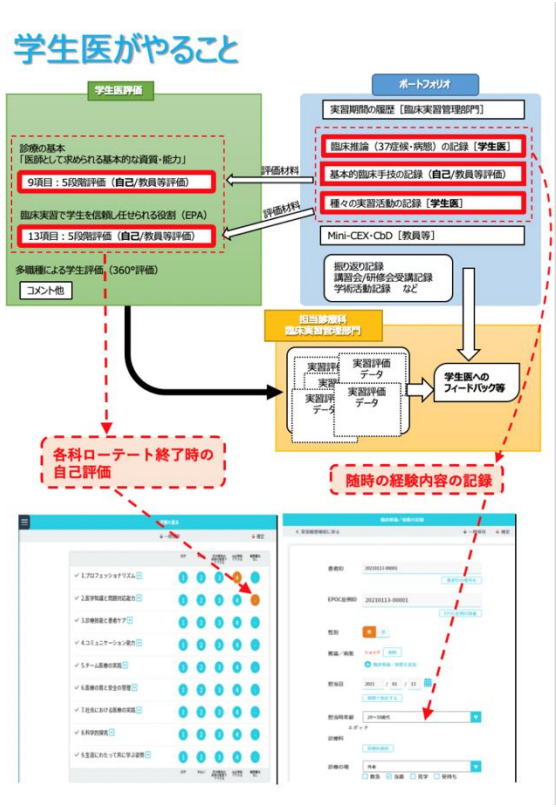
図 3 卒前臨床実習評価システム(CC-EPOC プロトタイプ)

(3a)

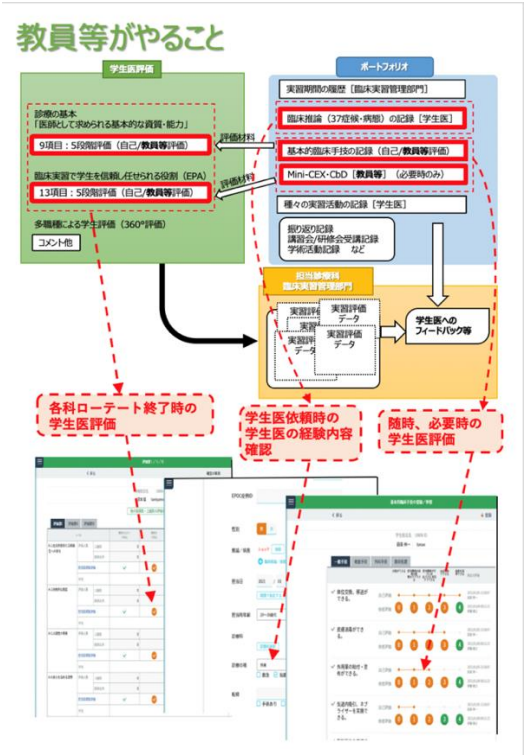
(3b)



(3c)



(3d)



厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業））
令和 2 年度研究年度終了分担研究報告書

ICT を活用した卒前の臨床実習と卒後臨床研修の支援と評価法（マルチメディア活用 CBT の応用とその評価のための新たなシステム）の開発

研究分担者　　高木康（昭和大学副学長・特任教授）
研究協力者　　岡崎仁昭（自治医科大学教授）、青木茂樹（順天堂大学医学部教授）、石田達樹（共用試験実施評価機構事業部長）

【研究要旨】
CBT（Computer-based Testing）は参加型臨床実習前の医学生の知識を評価するツールとして大学間共用試験で実施され、参加型臨床実習が可能な学生医（student doctor）の評価基準となっている。CBTシステムに動画や音声などのマルチメディアを活用したCBTは、知識ばかりでなく、技能や態度評価への可能性が指摘されている。このマルチメディアを活用したCBTシステムを開発し、参加型臨床実習で修得すべき技能や態度の可視的教材としてのプレテスト、あるいは国家試験の実技として検討が始まったPost-CC OSCEの補助評価指標としての教材・システムとしての有用性を検討した。

A. 研究目的

動画・音声などを活用・導入した参加型臨床実習で修得すべき技能を評価する CBT システムを構築し、診療参加型臨床実習で学修すべき具体的な内容、国家試験の実技試験 Post-CC OSCE を補完するツールとしての有用性を検証する。

B．研究方法

現行の医師国家試験は MCQ 様式で実施され、特に技能領域は評価されていない。また、国家試験の実技試験の評価を行うための補完試験として卒業時の Post-CC OSCE が全国の医学部・医科大学で導入されようとしている。参加型臨床実習前試験、臨床実習後の技能評価システムとして、音声や動画などのマルチメディアを活用した CBTシステムを開発し、Post-cc OSCE の1課題として試行して有用性について検討した。

1. Post-CC OSCE では必ずしも評価できない広い領域での学修内容を客観的に評価するマルチメディア活用 CBT を作成して、参加型臨床実習修了の評価に用いる。
2. 身体診察の動画、心音・呼吸音での聴診所見、CT・MRI・超音波検査の連続画像などを用いて臨床現場に即したマルチメディア活用 CBT を作成する。
3. Post-CC OSCE の 1 課題として使用可能なマルチメディア活用 CBT の適切な内容と問題数を検討する。
4. Post-CC OSCE の 1 課題として作成マルチメディア CBT（音声と動画が 7～8 題、CT・MRI の連続画像が 2～3 題、合計 10 題）を出題し、評価する。

C．研究結果

マルチメディアを活用した参加型臨床実習で修得すべき、あるいは修得した内容を 10 題にまとめて CBT 問題を作成した。

1. 意識レベル：JCS あるいは GCS でのレベル判定＜動画＞
2. 心雑音：心雑音の種類、聴取できる部位、聴取されやすくする操作など＜音声＞
3. 呼吸状態：視診による判定 Kussmaul 呼吸、Cheyen-Stokes 呼吸など＜動画＞
4. 呼吸音：fine crackles、coarse crackles、rhonchi、wheeze など＜音声＞
5. 腹部診察：肝臓、脾臓、腎臓の触診、虫垂炎での圧痛点など＜動画＞
6. 徒手筋力テスト（MMT）：評価する筋肉とレベル判定＜動画＞
7. 神経学的診断：基本的手法、病的所見から推測される疾病・病態＜動画＞
8. カラードップラーによる心疾患診断：心筋症、先天性心疾患など＜動画＞
9. 頭部 CT・MRI による（部位）診断：くも膜下出血、脳出血、脳梗塞など＜連続画像＞
10. 頸部・胸部 CT・MRI、超音波検査での（部位）診断：肺炎・気管支炎、肺癌、甲状腺疾患など＜連続画像＞
11. 腹部 CT・MRI、超音波検査での（部位）診断：肝細胞癌、腎腫瘍、膵癌など＜連続画像＞
12. 課題例（添付スライド）：①35 歳の女性。診察時の動画で JCS の意識レベル評価。②70 歳

の女性。診察時の患者の動画で Parkinson 病の診断。③46 歳の男性。動画で徒手筋力テストの評価。④65 歳の男性。胸部エックス線写真、心臓の聴診所見および心エコーの動画で僧帽弁狭窄症の診断。⑤40 歳の男性。神経学的診察動画で病変部位（前庭神経）の診断。⑥45 歳の男性。上部消化管内視鏡動画で病変部位（胃角部）の診断。⑦68 歳の男性。呼吸機能検査所見と胸部単純 CT の連続画像で特発性肺線維症の診断。⑧74 歳の男性。腹部造影 CT の連続画像で病変部位（S6）の診断。⑨42 歳の女性。頭部 MRI の連続画像で異常画像番号。⑩80 歳の女性。頭部 MRI の連続画像でくも膜下出血の診断。

13. 課題例の試行と結果：Post-CC OSCE の 1 課題として 16 分間で試験を行った。69 名の受験で、正答率は 26.1%～98.6%（71.8%±29.1%；平均値±標準偏差）、識別指数は 0.174～0.651（0.376±0.183）であり、識別指数が従来の MCQ と比較して高値であり、参加型臨床実習の修得状況を強く反映することが示唆された。最低点は⑤神経学的診断動画での病変部位の診断であった。
14. 課題例施行での学生アンケート結果：①マルチメディア CBT の動画、音声あるいは放射線連続画像を参加型臨床実習で経験したかについて：10 問全てを経験した学生は 0%、7~9 問が 10.3%、4~6 問が 27.6%で、1~3 問が 49.7%で最多であり、10 問とも経験していなかった学生が 12.4%であった。
②画像や音声の OSCE を共用試験 OSCE に導入することについて：「導入すべき」が 15.9%、「導入しても良い」が 59.3%と両者で 75.2%であり、「導入すべきでない」はわずかに 14.5%であった。
③共用試験にマルチメディア CBT を導入することで参加型臨床実習の参加態度が変わるかについて：「強く思う」が 18.6%、「思う」が 8.3%、「少しは思う」が 42.8%であり、「思わない」はわずか 4.1%であった。
④ただし、事前に PC 上での画面操作について詳細かつ丁寧な説明と共用試験の「体験テスト」が必要であることが学生から要望された。

D．考察

我が国の「医師国家試験」には、知識ばかりでなく、技能と態度も評価することが明記されているが、現行では知識だけが MCQ で評価され、技能と態度は評価されていない。これを補う意味で 2020 年度から診療参加型臨床実習後の卒業時に実施される予定だったのが Post-CC OSCE であり、臨床推論技能を評価する試験である。しかし、OSCE では診療参加型臨床実習で修得すべき内容の表面的な評価に留まることが危惧されている。このため、マルチメディア活用 CBT により、診察する際の重要な心肺の聴診所見、実際の身体診察技法、CT・MRI・超音波検査所見の判読能力などを動画や音声から評価する、あるいは複数の連続画像から病変部位を推測する能力を評価する可能性が検討されている。

また、診療参加型臨床実習中の診察能力、画像判読能力がマルチメディア活用 CBT により評価されることが学生に浸透することで、学生は診療参加型臨床実習中での聴診能力、身体診察能力および画像診断能力を向上させるべく学修の行動変容が起こる可能性もあり、より充実した診療参加型臨床実習が実施されるようになることが期待できる。

今年度はマルチメディア活用 CBT 問題を 25 題作成し、これらを適切に組み合わせて 10 題の CBT 課題を作成し、Post-CC OSCE の 1 課題として学生に出題した。この結果、平均点（71.8%）は従来の MCQ とほぼ同等なレベルであったが、識別指数は 0.174～0651（平均 0.376）と高値であり、高い識別能力があることが確認できた。また、出題 CBT を経験したことのない学生が多く、今後の診療参加型臨床実習内容の方向性も示唆された。ただし、PC 操作で不都合を生じた受験生もおり、事前の PC 操作研修が必要なことも明らかとなった。

E．結論

動画や音声を活用したマルチメディア活用 CBT を開発した。10 題の課題を Post-CC OSCE の 1 課題として施行した結果、高い識別能力であることが確認できた。今後は診療参加型臨床実習前 CBT へ導入することで、深い診察能力を身につけた学生による充実した診療参加型臨床実習も可能と考える。

F．研究発表

1. 論文発表、論文の公表：なし
2. 学会発表、学会誌への公表：なし

G．知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得：なし
2. 実用新案登録：なし

スライド　マルチメディア CBT 例題

マルチメディア活用CBTの実施

- 6年生のPost-CC OSCEの1課題として、マルチメディア活用CBT試験を実施
- 試験時間は他のOSCE実技課題と同様に10題16分間で実施。
- 実技試験後にマルチメディア活用CBTを実施
- 試験に関するアンケートを実施

問1 35歳の女性。患者の様子がおかしいと家族に連れられて来院した。3日前から38℃台の発熱があり、市販の総合感冒薬を内服していた。昨日は朝から頭痛を訴え、終日臥床していた。今朝、家族が訪室したところ、呼びかけに対する反応がおかしいことから受診した。既往歴と家族歴に特記すべきことはない。体温 38.6℃、脈拍 96/分、整。血圧 132/80 mmHg。呼吸数 18/分。SpO_2 99%（room air）。

■搬入時の診察を動画で示す。

意識レベルはJapan Coma Scaleでどれか。

a Ⅰ-1
b Ⅰ-2
c Ⅰ-3
d Ⅱ-10
e Ⅱ-20

問2 70歳の女性。手のふるえを主訴に来院した。半年前から歩くのが遅くなり、右手の不随意運動が出現したため、受診した。6年前に夫と死別し、現在は老人ホームに入所している。身長156 cm、体重45 kg。体温35.8℃。脈拍64/分、整。血圧128/84 mmHg。

■患者の動画を示す。

考えられる疾患はどれか。

a 肝性脳症
b ラクナ梗塞
c 本態性振戦
d Parkinson病
e 甲状腺機能亢進症

問3 46歳の男性。

■徒手筋力テスト(MMT)の動画を示す。

右と左の評価で正しいのどれか。

	右	左
a	1	0
b	2	1
c	3	2
d	4	3
e	5	4

問4 65歳の男性。労作時呼吸困難と下腿浮腫を主訴に入院した。2か月前から重い物を持ったり、坂道を上るときに喘息様の呼吸困難が出現するようになった。20年前に気管支喘息発作の診断で入院した際に心雑音を指摘されていた。入院時の胸部エックス線写真を示す。

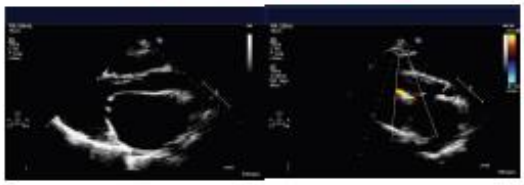
■患者の心臓聴診所見を音声で示す。
■心エコーの動画（次ページ）を示す。

考えられるのはどれか。

a 急性心膜炎
b 大動脈弁狭窄症
c 大動脈弁閉鎖不全症
d 僧帽弁狭窄症
e 僧帽弁逸脱症候群

問4 65歳の男性。

■心エコー長軸像（動画）<問題4>



問5 40歳の男性。歩行時のふらつきを主訴に来院した。3年前の健康診断で片耳の聴力低下を指摘されたが放置していた。1か月前から歩行時にふらつくようになり、最近ひどくなったので来院した。意識は清明。体温36.8℃。脈拍88/分、整。血圧148/80mmHg。心音と呼吸音に異常を認めない。腹部は平坦、軟で、肝・脾は触知しない。四肢の筋力に異常を認めない。つぎ足歩行は拙劣である。

■患者の神経診察所見を示す。

患者の病変部位はどれか。

a 右前庭神経
b 左前庭神経
c 右外転神経
d 左外転神経
e 内側毛束

問6 45歳の男性。人間ドックで上部消化管内視鏡検査を施行された。

■上部消化管内視鏡の動画を示す。

病変部位はどれか。

a 噴門部
b 胃体部
c 胃角部
d 前庭部
e 十二指腸

問7 68歳の男性。3日前から進行する呼吸困難を主訴に来院した。3年前、健康診断の胸部エックス線写真で線状網状影を指摘された。以後年1回、胸部CT、呼吸機能検査および血液検査で経過観察中であった。喫煙は25本/日を48年間。意識は清明。脈拍92/分、整。血圧136/70mmHg。血液所見：赤血球480万、白血球8,900。スパイロメトリ：%VC68%、$FEV_{1.0}$%82%。動脈血ガス分析（自発呼吸、room air）：pH7.42、$PaO_2$54Torr、$PaCO_2$36Torr。

■ 胸部単純CT（次ページ）を示す。

考えられるのはどれか。

a 過敏性肺炎
b 肺胞蛋白症
c 特発性肺線維症
d サルコイドーシス
e 肺リンパ管筋腫症

問7 68歳の男性。
■胸部単純CT＜問題7＞

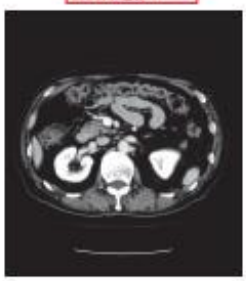
問8 74歳の男性。発熱を主訴に来院した。2週前に心臓カテーテル検査を受けた。1週前の採血で肝機能異常を認めたため腹部造影CTを行った。

■腹部造影CT（次ページ）を示す。

病変がある肝区域はどれか。

a S1
b S2
c S3
d S4
e S5
f S6
g S7
h S8

問8 74歳の男性。
■胸部造影CT



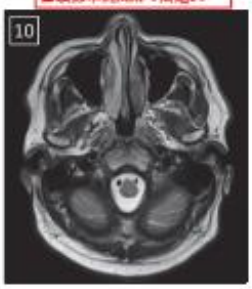
問9 42歳の女性。1年前から右聴力低下を自覚していたが放置していた。最近歩行時にふらつくようになったので心配になり来院した。聴力検査で中高音域の感音難聴を認める。

■頭部MRI（次ページ）を示す。

異常が描出されている画像番号はどれか。

a 1	f 6
b 2	g 7
c 3	h 8
d 4	i 9
e 5	j 10

問9 42歳の女性。
■頭部単純MRI＜問題9＞



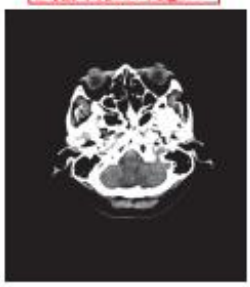
問10 80歳の女性。今朝、突然の前頭部痛を主訴に救急車で搬入された。意識レベルはJCS I -1。体温36.8℃。脈拍86/分、整。血圧130/82 mmHg。呼吸数20/分。$SpO_2$98%（room air）。明らかな麻痺は認めない。

■頭部MRI（次ページ）を示す。

考えられる疾患はどれか。

a 脳梗塞
b 脳出血
c くも膜下出血
d 急性硬膜下血腫
e 慢性硬膜下血腫

問10 80歳の女性。
■頭部単純CT＜問題10＞



厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業(臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業))
令和 2 年度研究年度終了分担研究報告書

医師国家試験の CBT 化と共用試験 CBT の公的化についての研究

研究代表者　門田守人　　日本医学会連合　会長
研究分担者　伴信太郎　　愛知医科大学医学教育センター特命教授
研究協力者　鈴木康之　　岐阜大学医学教育研究開発センター教授

研究要旨：今年度の分担研究は，医師国家試験の CBT 化のために必要な条件整備の参考とするために，共用試験 CBT の立ち上げ準備から，試験問題の作成，試験システム（試験問題分析，試験問題事後解析，試験実施法），全体管理などについて情報収集をおこなった。共用試験 CBT の公的化について追加の情報収集をおこなった。

研究方法：①**【医師国家試験の CBT 化について】**医療系大学間共用試験実施評価機構の共用試験 CBT の試験システムについて，その立ち上げから中心的に活躍している仁田善雄博士、および同機構の試験信頼性向上専門部会において、試験問題分析、試験問題事後解析に携わってこられた大久保智哉氏（The Directorate for Education and Skills, OECD）からの聞き取り調査と総合討論。

②**【共用 CBT の公的化について】**柑本美和教授（東海大学法学部）からの 2 回目の聞き取り調査と総合討論。

結果：**【医師国家試験の CBT 化について】**

① 医師国家試験は、卒前卒後の一貫した教育の中で目的を明確にし、大規模試験における3つの重要な要素（試験問題、試験オペレーション、試験システム）を勘案して設計すべきである。

② 医師国家試験として、競争ではなく一定の基準を設定して合否ラインを決めるためには、標準化は避けて通れない。

③ 標準化の為には、多数の問題をプールし項目反応理論（Item Response Theory）で項目管理をすべきである。

④ IRTで項目管理するためには試験問題の不開示が必要であり、前例からみても明確な理由を付せば可能。

⑤ CBT化移行の準備については医療系大学間共用試験実施評価機構の共用試験CBTの導入が参考となる。

【共用CBTの公的化について】

前年度までに検討した4つの方法に加えて、司法試験に倣った方式として5つ目の下記の方式の可能性について検討した。

●厚生労働省のもとに学生医師試験委員会（仮称）を設置し、共用試験CBTの合格者には委員会の委員長名で合格証を発行する（司法試験と同様の方法）

研究協力者氏名　所属施設名及び職名

研究協力者

- 仁田善雄（医療系大学間共用試験実施評価機構）
- 大久保智哉（The Directorate for Education and Skills, OECD）
- 柑本美和（東海大学法学部教授）

A.　研究目的

【医師国家試験の CBT 化について】

医師国家試験は、平成 17 年度の「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」に基づく異議申し立て に対する、内閣府情報公開・個人情報保護審査会の答申を受け、平成 19 年（第 101 回）以降試験問題と解答が公開されるようになり、試験問題は使い捨ての状態となっている。そのため、試行問題を経たうえでブラッシュアップをして良問を蓄積する機会が無くなり、試験問題の質が一定せず合格率が大きく変動するために、相対評価が導入されて毎年必ず 10%前後の不合格者が出る競争試験状態が続いている。

また、マークシート方式のペーパーテストであるために、臨床推論を問う問題の出題が難しく、推奨される臨床実習によって獲得された臨床能力を問うような臨床問題の出題が困難である。

これらの諸問題の解決のためには、試験問題をプールして、IRT による項目管理をし、出題は CBT で実施することが望ましいことは、諸外国の先行例や、日本の医療系大学間共用試験実施評価機構の共用試験 CBT の例から明らかである（平成 30 年度研究）。また、医師国家試験の CBT 化は試験の実施運営上にも数々の利点がある（令和元年度研究）が、CBT 化のためには、移行のための準備、実施方法、出題手法、 合格基準、諸経費等の課題の検討を要する。

米国の USMLE の CBT 化のプロセスについては初年度に研究をして、ペーパーテストから CBT への移行のプロセスの概要は把握することができたが、より具体的な準備、試験問題の項目管理などに関しては、日本における先行例として医療系大学間共用試験実施評価機構の経験が参考になると考え、本年度の研究を行った。

【共用試験CBTの公的化について】

共用試験 CBT の公的化については、令和元年度に合格証書の与え方について下記の四つの方式について検討したが、さらに司法試験の合格証書の出し方を参考に五つ目の方式について検討した。

1. 医師国家試験の一部として位置付ける
2. 合格者に厚生労働大臣が付与する資格を与える
3. 合格者に医政局長またはその他役職者名で厚生労働省による資格を与える
4. 全国医学部長病院長会議(AJMC)による資格認定とする

B．研究方法

【医師国家試験の CBT 化について】

① 医療系大学間共用試験実施評価機構の共用試験 CBT についての聞き取り調査と総合討論

- 研究協力者：仁田善雄（医療系大学間共用試験実施評価機構）
- 日時：2020 年 7 月 9 日（木） 0930～1100

② 試験制度一般について、および医療系大学間共用試験実施評価機構の試験信頼性向上専門部会についての聞き取り調査と総合討論

- 研究協力者：大久保智哉（The Directorate for Education and Skills, OECD）
- 日時：2020 年 8 月 6 日（木） 1000～1140（パリ、現地時間）

【共用試験CBTの公的化について】

③ 司法試験における司法修習生への資格付与についての聞き取り調査と総合討論

- 研究協力者：柑本美和（東海大学法学部教授）
- 日時：2021 年 1 月 25 日（月） 1100～1300

C．研究結果

【医師国家試験の CBT 化について】

1） 医師国家試験は、6年間の卒前教育、及びその後の臨床研修を視野に入れた位置付けと目的を明確にして設計すべきである。1つの試験ですべてを完結しようとすると無理が生じる

2） 医師国家試験のような大規模試験は、試験における3つの重要な要素（試験問題、試験オペレーション、試験システム）を勘案して設計すべきである。

3） 国家試験を競争ではなく、一定の基準を設定して合否ラインを決めるためには、標準化は避けて通れないので、問題を非公開にして、大量の問題を確保する必要がある。

4） 項目反応理論(Item Response Theory)で項目（試験問題)管理するには問題は非開示にする必要がある。

5） 医師国家試験でプール問題を再利用する方式を用いるのならば（IRTでの項目管理），前例（情報開示決定などに対しての不服申し立て事案の調査）（下記参考文献参照）から考えると明確な理由を付して非開示とすることが可能と思われる。

6） プール問題数が多数あり、受験生によって異なる問題セットを出すことで，再現問題の影響を限定的なものにできる。

7） 共用試験ではプール問題数を、おおよそ1万台を超えるものと考えて試験問題の収集を行っている。

8） CBT化の準備のためには,公開しない問題を別に余分に作成して、それをボランティア集団に受験してもらって，問題の項目特性を把握する。そのようなトライアルを4-5年やってプール問題を蓄えるとよい。

9） 共用試験はトライアル４年間やって，問題の特性の把握を行った。トライアルには殆どの大学が参加した。その際全受験生に同一問題を一部出題し、この共通問題を用いてトライアル間の等化を行った。

１０） 動画を含む問題は現状でもテクニカルには可能であるが、作成にかかる時間、ネットワークへの

負荷などの解消すべき問題がある。

１１）　試験問題の開示に関しては、わざわざ試験自体の利便性を損なってまで、サービスとして学生に試験問題を提供することは不要だと思われる。

１２）　過去に公開されている問題でも、問題の中身を一部変えたり、選択肢の順番やコンテンツを変えたりなどして、丸暗記では対応できないようにすれば、問題なく使える。

１３）　練られた試験問題というのは、フレームワークがしっかりしているので、中身を少し入れ替えても、問うべき能力は十分に問える。1つの問題を膨らませ、３問ぐらいは派生問題を作成できる。

参考文献

若林晶子、杉光一成：わが国の公的試験における試験問題公開の判断基準－情報公開制度における事例－. 日本テスト学会誌　2016：12；20－35.

【共用試験CBTの公的化について】

これまでに検討した共用試験 CBT の公的化の方策に加えて、もう一つの可能性について検討した。それは司法試験における能力評価の方式に倣ったもので、下記のような仕組みである。

① 厚生労働省のもとに全国医学部長病院長会議メンバーを中心に、有識者を加えた学生医師試験委員会（仮称）を設置する

② 共用試験CBTを活用して、全国一律の合格基準を設定する。

③ 委員会の委員長名で試験合格証を発行する

④ 医師法の医行為に関する条文を一部改正する。

D．考察

【医師国家試験の CBT 化について】

本年度の研究では、医師国家試験に CBT を導入するためのより具体的な工程表を設定することができた。

１）まず医師国家試験問題の不開示について法的担保を得る

２）作題に際しては

（ア）現行の医師国家試験の作題に際し、公開しない問題を別に余分に作成する

（イ）医師国家試験の過去問の派生問題を作成する

（ウ）各大学の総合試験などの問題を公募する

（エ）一万題程度をプール目標とした作題計画を作成する

（オ）動画を含む問題の作成にかかる時間、ネットワークへの負荷などについて検討する

３）ボランティア受験生を対象に試行問題を実施しプール問題を集積するトライアルの実施計画

４）試験信頼性向上委員会のような教育測定学専門家による諮問委員会の立ち上げ

５）試験実施（オペレーション）のロジスティックスを民間業者の活用・大学を試験会場とした実施などの選択肢を検討する。

などが今後の課題となるであろう。

【共用試験CBTの公的化について】

実習に参加する医学生の立場は司法修習生とは異なるが、司法修習開始前の司法試験の場合は、司法試験委員会（法務省の委員会）の委員長名で合格証書が出されている。その合格証書を与えられた者が規則に定められた司法修習を経て、司法修習終了時にも再度試験を受けて最高裁判所からの終了証書が出されている。今回の提案は、このスキームに倣ったものである。

この合格証書の出し方は、公的性の高い試験と位置付けられるとともに、医師国家試験の一部とするものではないために、現在医師国家試験に義務付けられている試験問題の公開を考慮する必要が無い。

この件に関する医師法の改正は、既に国会で可決成立しており、詳細は別途省令で定めるような形でよいと思われる。

合格証書を学生医師試験委員会（仮称）の委員長名で出すのか、厚生労働大臣名、あるいは医政局長名が出すのか等については議論の余地はあるかもしれない。

E. 結論

○　「医師国家試験の CBT 化」は、導入に向けての具体的は工程の概略を作成できた。

○　「共用試験の公的化」どのような合格証書の出し方をするかについての提言を行った。

F. 研究発表

なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

該当なし

厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業(臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業))
令和 2 年度研究年度終了分担研究報告書

医師国家試験出題基準の改定に向けた提言のための研究

研究代表者　門田守人　　日本医学会連合　会長
研究分担者　伴信太郎　　愛知医科大学医学教育センター特命教授

【研究要旨】

本分担研究は、2020 年 11 月に公表された「医師国家試験改善検討部会報告」の『(2) 出題基準について』の項で提言された「医師国家試験出題基準を絞るべきこと」についての研究である。

- 「特にブループリントの各論について出題する疾患を厳選すること」について、各論の全項目について頻度・重要度に応じて4段階のレベル分け表（A,B,C,削除）を作成し、作題範囲を制限する提言を行った。
- 4段階のレベル分けの根拠資料として、「**過去の医師国家試験問題のキーワード**」と「**平成29年度患者調査**」について、各論の項目の出現頻度を示した。
- 「医師国家試験の妥当性の継続的向上のための仕組み」を提言した。

研究協力者氏名　所属施設名及び職名

研究協力者　（ワーキンググループ（WG）メンバー）

- 鈴木康之（岐阜大学・特任教授）
- 瀬尾宏美（高知大学医学部教授）
- 前野哲博（筑波大学医学医療系教授）
- 吉田素文（国際医療福祉大学教授）
- 清水貴子（聖隷福祉事業団顧問）

研究協力者　（コンサルタント）

- 鈴木 真（亀田総合病院産婦人科部長）
- 森 隆夫（あいせい紀年病院理事長・精神科）
- 田中 茂先生（聖隷浜松病院顧問・救急科）

A. 研究目的

2020 年 11 月に公表された「医師国家試験改善検討部会報告」において、『(2) 出題基準について』という項目の中で、「特にブループリントの各論について出題する疾患を厳選すること」「出題する疾患についてはどの程度の知識を求めるかを示すこと」「臨床実習前に修得可能な単純な知識を問う領域を除外すること」等を検討し、「出題基準を絞るべきこと」が提言された。

本研究では、厚生労働省から公表ないし提供されたデータを用いて、研修医が指導医の下でその任務を果たすために、臨床研修開始時に身につけておくべき知識について「妥当な範囲」と「適切なレベル」を提示することを目的として研究を実施した。

また、同時に医師国家試験の妥当性の継続的向上のための仕組みについても検討した。

B. 研究方法

① 「医師国家試験出題基準」の「医学各論」の項目のレベル分類

6人のWGメンバーで、「医師国家試験出題基準」の「医学各論」の各項目について、卒後の臨床研修を開始するに当たって求められる知識のレベルについて検討し4段階のレベル分類（A,B,C,削除）を行った。

② 全項目のレベル分類

「医師国家試験出題基準」の「医学各論」の全項目についてレベル分類に基づいて分類を行った。次に3人のコンサルタント（精神科、産婦人科、救急科）を含めて各コンサルタントの専門領域の分類の再検討を行った（分類の目線合わせ)。分類の目線合わせの後、再度WGメンバーで全項目について分類し直した。（Delphi法変法）。

③ 分類の妥当性の検証

分類の妥当性の検証のために下記の2つのデータを収集し、「医師国家試験出題基準」の「医学各論」の各項目との突合を行った。

１）過去の医師国家試験のキーワードの出現頻度

２）患者調査で得られた各疾患の頻度

④ 医師国家試験の妥当性の継続的向上のための仕組みの構築

WG の期間を通じた議論と、下記の方法で今回の提言をまとめた。

１）過去に医師国家試験問題委員長、幹事委員、医師国家試験出題基準改定部会委員など務めた各委員のこれまでの経験の集約。

２）第 114 回医師試験問題で、全国医学部長病院長会議で不適切問題と指摘された問題の分析。

C. 研究結果

①「医師国家試験出題基準」の「医学各論」の項目のレベル分類

4段階のレベル分類は6人のWGメンバーのコンセンサスで作成した（表１）。

表１　**出題のレベル分類**（報告書の末尾に拡大して再掲）

レベル	病態・疾患の概要	診療レベル*		出題内容
		初 療	継続診療	
A	○プライマリ・ケア領域で頻度が高い病態・疾患 ○緊急対応が必要な病態・疾患	監督下で診断から治療まで行え、必要に応じて適切にコンサルトできる	継続診療に必要な問題解決ができる	○病態生理 ○臨床推論 ○初期対応・救急対応 ○継続診療
B	臨床研修で経験すべき病態・疾患の範囲内	基本的事項を理解し、指導の下に初療ができる	適切に診療依頼ができる	○病態生理 ○臨床推論 ○初期対応
C	臨床研修で経験すべき病態・疾患の範囲を超えるもの	疾患概念を説明でき、鑑別疾患として想起できる	（不要）	○病名想起
削除	○極めて稀 ○専門診療の範囲	（不要）	（不要）	

*診療レベルについては、記載されている内容の知識を問うものとする

②「医師国家試験出題基準」の「医学各論」の全項目のレベル分類

「医師国家試験出題基準」の「医学各論」の全項目についてレベル分類は**別表1（「WGメンバーの判断」の列に示す**）通りの結果となった。

これは各レベルが妥当と考えたWGメンバーの人数を数字で示したものである。全員が一致して削除が妥当と考えた項目は無かった。

③分類の妥当性の検証

１）「過去の医師国家試験のキーワードの出現頻度」

「過去の医師国家試験のキーワードの出現頻度」は、**別表1（「過去の医師国家試験問題のキーワード」の列に示す）**通りの結果となった。

この表は、それぞれ下記の年度版の「医師国家試験出題基準」に基づいて出題された医師国家試験問題に付されたキーワードと、「医学各論」の各項目とを突合したものである。

平成17年版（第101回～103回）
平成21年版（第104回～106回）
平成25年版（第107回～111回）
平成30年版（第112回～114回）

２）「患者調査で得られた各疾患の頻度」（別表２）

「患者調査で得られた各疾患の頻度」は**別表2**に示す通りとなった。

患者調査は、病院及び診療所を利用する患者について、その属性、入院・来院時の状況及び傷病名等の実態を明らかにし、併せて地域別患者数を推計することにより、医療行政の基礎資料を得ることを目的とし、３年に１回実施されているものである。「医学各論」の各項目の実臨床における頻度の参考となると思われる。今回は平成 29 年度の行なわれた患者調査のデータを使用した。

ただし、患者調査は ICD-10 分類を用いて行われており、その分類が「医師国家試験出題基準」の「医学各論」の各項目の分類とは同じではないために、必ずしも正確な実臨床における頻度を表しているとは限らない。今回の研究のためにできるだけ漏れのない突合を試みたが、特に頻度が「0」となっているもので右の詳細分類が示されていないものに関しては、ICD-10 の分類名が異なっていて、拾い洩れている可能性を無しとしない点に留意は必要である。

④医師国家試験の妥当性の継続的向上のための仕組みの構築

このテーマに関しては以下の2つの提言をおこなった。

【提言１】医師試験委員会に試験問題の妥当性を検討する専門のグループを設置する

【枠組】医師試験委員会と独立した組織体が望ましいが、法改正を行わずに実現するためには、試験委員会に新たなグループを設置するのが現実的である。

【構成】医師国家試験の作題に豊富な経験を有する者、4 人程度が望ましい。3 年で 2 人ずつ入れ替わる等、継続性を担保するための仕組みが必要である。

【名称】「作題支援グループ」「BU（Brush Up）グループ」など機能がわかりやすい名称をあてる。

【役割】

① 出題基準に沿った「作題のための事前研修」の企画および運営を担当する。

② 試験委員会で委員長・副委員長を補佐し、ブラッシュアップを支援する。

③ 実施後の分析を行い、試験問題作成過程上の課題の解決、出題基準の改定に向けた計画を立案する。

【時期】令和 5 年版出題基準に準拠する試験委員会は令和 4 年度に活動を開始するため、令和 3 年度末から「作題のための事前研修」の準備等を開始する。出題基準が令和 6 年版となる場合は、令和 4 年度末から準備を開始する。

＊ 備考：「作題のための事前研修」に関しては、e ラーニングやオンラインでの実施も検討し、集合形式の会議は出題依頼会議からとする。

【提言２】質の高い試験委員を確保するための一定の仕組みの構築

【試験委員の選定】

試験委員の選定の際には、大学医学部における共用試験 CBT の問題作成や全国から集められる共用試験ブラッシュアップ専門部会委員の経験者、および臨床研修病院等における専門医試験の問題作成およびブラッシュアップ作業の経験者から選定するような仕組みを設ける。

【認知領域の客観試験の問題作成、ブラッシュアップに関する研修の実施】

日本医学教育学会等、全国的な医学教育研修を実施する団体や機関に、医学教育における客観試験の問題作成、ブラッシュアップに関する研修会の実施を依頼し、裾野を広げる。

D. 考察

①「医師国家試験出題基準」の「医学各論」の項目のレベル分類と②全項目のレベル分類

表１の解釈の仕方の一例を述べると、レベルBに分類された項目については、初期の生命維持のための対応以上の治療的な知識を求めるのは、「医師国家試験」としての「適切なレベル」を越える難問と判断する。レベルCに分類された項目については、その項目について想起できればよく、具体的な遺伝情報などの知識を求めるのは「適切なレベル」を越えると判断する。

「妥当な範囲」については、全員が一致して削除すべきとした項目は無かった。今回の4段階のレベル分類（定義）については6人のWGメンバーのコンセンサスがある。しかし、各論の各項目のレベル分類は、WGメンバーの最終的な合意を求めたものではなく、あくまでも6人のWGメンバーの意見を積算したものであり、「医師国家試験出題基準」の「医学各論」の各項目のレベル設定について次期の医師国家試験出題基準改定部会の参考にしていただきたい。また、作題に際して、国家試験委員がその問題の**範囲**と**レベル**の適切性を判断する一助として活用していただきたいと考えている。

③分類の妥当性の検証のデータについて

１）「過去の医師国家試験問題のキーワード」

このデータは2つの目的に活用できる。

ア）各項目の重要度の目安となる

第一の利用法は、過去の出題者が「医学各論」の各項目をどの程度重視していたかが反映されている。これは各領域の専門家の重要度の認識の指標となろう。

イ）各項目の今後の出題について検討する素材となる

第二の利用法は、今回の研究者間で議論する中で明らかになってきたことであるが、重要な項目であると思われるにもかかわらず、過去に殆ど出題されていない項目もあった。

これは、問題の選定過程で、それぞれの領域には

ブループリントで出題可能な問題数が限られているので最終的に出題に至らなかったと思われる項目である。このような項目は、今後の問題の選定過程で優先的に出題する参考にもなると思われた。

２）「患者調査で得られた各疾患の頻度」

このデータは、「医学各論」の各項目の実臨床における頻度の参考資料として活用してもらいたい。

④医師国家試験の妥当性の継続的向上のための仕組みの構築

今回のこの提言は、6 人の WG メンバーのコンセンサスによるものである。方向性として、次回の国家試験委員会から出来るところから導入してほしい。これによって、「必修の基本的事項」や「医学総論」の改善にもつながる。

E. 結論

○ 「医師国家試験出題基準」は、試験委員が出題に際して準拠する基準である。今回の改定提案は、研究期間の制約から「医学各論」に絞って検討した。特に「医学各論」では難問が出題されやすく、また専門領域以外の他領域の委員の意見が反映され難いと考えられたからである。

○ 今回の提言は「医師国家試験出題基準」の改善のための提言としては初めてのものである。これまでも、毎回「医師国家試験出題基準改定部会」では改善に向けての努力がなされていたが、時間的制約から抜本的な改革はなされてこなかったと思われる。

○ 今後は「必修の基本的事項」や「医学総論」についても、今回と同様の作業を行なうことを提言しておきたい。

○ **「医師国家試験の妥当性の継続的向上のための提案**」は次回の国家試験委員会から早速導入すべきであると考えている。これによって、「必修の基本的事項」や「医学総論」の改善にもつながると考えるからである。

F. 研究発表

なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

該当なし

表　1　出題のレベル分類（再掲）

レベル	病態・疾患の概要	診療レベル*		出題内容
		初　療	継続診療	
A	○プライマリ・ケア領域で頻度が高い病態・疾患 ○緊急対応が必要な病態・疾患	監督下で診断から治療まで行え、必要に応じて適切にコンサルトできる	継続診療に必要な問題解決ができる	○病態生理 ○臨床推論 ○初期対応・救急対応 ○継続診療
B	臨床研修で経験すべき病態・疾患の範囲内	基本的事項を理解し、指導の下に初療ができる	適切に診療依頼ができる	○病態生理 ○臨床推論 ○初期対応
C	臨床研修で経験すべき病態・疾患の範囲を超えるもの	疾患概念を説明でき、鑑別疾患として想起できる	（不要）	○病名想起
削除	○極めて稀 ○専門診療の範囲	（不要）	（不要）	

*診療レベルについては、記載されている内容の知識を問うものとする

別表1　ABC分類と国試問題KWと患者調査データの突合

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目　小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
1	I　周産期・小児	1	妊娠の異常	A	妊娠初期の異常　①	妊娠悪阻			6	0	0	0	12	1	5	4	2	4
2	I　周産期・小児	1	妊娠の異常	A	妊娠初期の異常　②	異所性妊娠			2	3	1	0	10	2	5	1	2	2
3	I　周産期・小児	1	妊娠の異常	A	妊娠初期の異常　③	流産、切迫流産			3	3	0	0	8	2	1	3	2	切迫流産32、流産９
4	I　周産期・小児	1	妊娠の異常	A	妊娠初期の異常　④	胞状奇胎	903		1	1	4	0	4		2	1	1	1
5	I　周産期・小児	1	妊娠の異常	A	妊娠初期の異常　⑤	頸管無力症		頸管縫縮術	0	1	5	0	1				1	1
6	I　周産期・小児	1	妊娠の異常	A	妊娠初期の異常　⑥	不育症、習慣流産	926		0	1	5	0	4	1		2	1	1
7	I　周産期・小児	1	妊娠の異常	B	妊娠中・後期の異常　①	ハイリスク妊娠			2	3	1	0	2		1		1	0
8	I　周産期・小児	1	妊娠の異常	B	妊娠中・後期の異常　②	妊娠高血圧症候群、子癇、HELLP症候群、加重型妊娠高血圧腎症		高血圧合併、腎炎合併	3	3	0	0	28	5	11	9	3	1
9	I　周産期・小児	1	妊娠の異常	B	妊娠中・後期の異常　③	多胎妊娠			1	2	3	0	3	1	1		1	1
10	I　周産期・小児	1	妊娠の異常	B	妊娠中・後期の異常　④	早産、切迫早産、前期破水			3	3	0	0	22	3	5	6	8	早産5、切迫27、前期破水１
11	I　周産期・小児	1	妊娠の異常	B	妊娠中・後期の異常　⑤	過期妊娠			0	3	3	0	0					0
12	I　周産期・小児	1	妊娠の異常	B	妊娠中・後期の異常　⑥	血液型不適合妊娠			0	2	4	0	5	2		2	1	1
13	I　周産期・小児	1	妊娠の異常	B	妊娠中・後期の異常　⑦	羊水過多症、羊水過少症		羊水指数<AFI>、羊水ポケット、Potter症候群	0	1	5	0	20	3	4	8	5	0
14	I　周産期・小児	1	妊娠の異常	B	妊娠中・後期の異常　⑧	絨毛膜羊膜炎、頸管炎		細菌性腟症	0	1	5	0	3	1		1	1	0
15	I　周産期・小児	1	妊娠の異常	B	妊娠中・後期の異常　⑨	常位胎盤早期剥離、前置胎盤、癒着胎盤			0	5	1	0	16	4	4	4	4	前置胎盤　1
16	I　周産期・小児	1	妊娠の異常	B	妊娠中・後期の異常　⑩	臍帯卵膜付着、前置血管			0	0	6	0	0					0
17	I　周産期・小児	1	妊娠の異常	B	妊娠中・後期の異常　⑪	臍帯過捻転			0	0	4	2	0					0
18	I　周産期・小児	1	妊娠の異常	B	妊娠中・後期の異常　⑫	胎盤機能不全			1	0	5	0	1			1		0
19	I　周産期・小児	1	妊娠の異常	C	合併症妊娠　①	妊娠貧血、鉄欠乏性貧血			3	2	1	0	1			1		4
20	I　周産期・小児	1	妊娠の異常	C	合併症妊娠　②	妊娠糖尿病、糖尿病	1261		4	1	1	0	10	2	3	1	4	11
21	I　周産期・小児	1	妊娠の異常	C	合併症妊娠　③	甲状腺機能亢進症・低下症	1229, 1228を参照		3	2	1	0	0					0
22	I　周産期・小児	1	妊娠の異常	C	合併症妊娠　④	免疫性血小板減少性紫斑病<ITP>	755		1	3	2	0	10	2	3	2	3	0
23	I　周産期・小児	1	妊娠の異常	C	合併症妊娠　⑤	膠原病と類縁疾患			0	1	5	0	0					0
24	I　周産期・小児	1	妊娠の異常	D	母子感染　①	HBV、HCV、HIV、HTLV-Ⅰ、パルボウイルスB19（伝染性紅斑）、B群連鎖球菌、TORCH症			4	2	0	0	15	5	2	4	4	1
25	I　周産期・小児	2	分娩・産褥の異常	A	前期破水　①	前期破水、早期破水			2	1	3	0	0					前期破水　1
26	I　周産期・小児	2	分娩・産褥の異常	B	陣痛の異常　①	微弱陣痛、過強陣痛			1	2	3	0	7	3	1	1	2	2
27	I　周産期・小児	2	分娩・産褥の異常	C	産道の異常　①	児頭骨盤不均衡<CPD>、狭骨盤、頸部子宮筋腫			0	2	4	0	4	1	1	2		0
28	I　周産期・小児	2	分娩・産褥の異常	D	胎位の異常　①	骨盤位、横位、斜位			0	1	5	0	1		1			骨盤位3　斜位2
29	I　周産期・小児	2	分娩・産褥の異常	E	回旋進入の異常　①	後方後頭位、低在横定位、高在縦定位、不正軸進入			0	1	5	0	4	1		1	2	0
30	I　周産期・小児	2	分娩・産褥の異常	F	胎盤の異常　①	癒着胎盤、胎盤嵌頓、胎盤形態異常			0	0	6	0	0					0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
31	I　周産期・小児	2	分娩・産褥の異常	G	臍帯の異常	①	臍帯巻絡、臍帯下垂、臍帯脱出、臍帯結節			0	0	6	0	8		2	6		0
32	I　周産期・小児	2	分娩・産褥の異常	H	その他の難産	①	遷延分娩、分娩停止、多胎分娩、肩甲難産			0	0	5	1	1		1			0
33	I　周産期・小児	2	分娩・産褥の異常	I	分娩時裂傷	①	子宮破裂、頸管・腟・会陰裂傷		帝王切開後分娩	0	2	4	0	7	1	2	3	1	0
34	I　周産期・小児	2	分娩・産褥の異常	J	出血と産科ショック	①	弛緩出血、子宮内反症、羊水塞栓症、血栓塞栓症、仰臥位低血圧症候群		産科DIC、ショック指数<shock index>	1	4	1	0	18	2	4	8	4	0
35	I　周産期・小児	2	分娩・産褥の異常	J	出血と産科ショック	②	播種性血管内凝固<DIC>	763を参照		3	2	1	0	0					2
36	I　周産期・小児	2	分娩・産褥の異常	K	産褥の異常	①	子宮復古不全、産褥熱、恥骨結合離開			0	4	2	0	8	2	3	3		0
37	I　周産期・小児	2	分娩・産褥の異常	K	産褥の異常	②	乳腺炎、乳汁分泌不全	1311		2	3	1	0	3	1	1	1		0
38	I　周産期・小児	2	分娩・産褥の異常	K	産褥の異常	③	産褥血栓症、肺塞栓症			0	3	3	0	0					(10)産褥？
39	I　周産期・小児	2	分娩・産褥の異常	K	産褥の異常	④	産褥期精神障害			1	4	1	0	2			2		0
40	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	A	胎児異常	①	胎児機能不全[non-reassuring fetal status<NRFS>]		ノンストレステスト<NST>、胎児心拍数陣痛図<CTG>、biophysical profile	0	2	4	0	15	2	5	5	3	0
41	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	A	胎児異常	②	多胎、双胎間輸血症候群		一児胎児死亡	0	3	3	0	6	2	2	1	1	0
42	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	A	胎児異常	③	胎児発育不全[fetal growth restriction<FGR>]			0	2	4	0	14	1	4	7	2	2
43	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	A	胎児異常	④	溶血性疾患、血液型不適合妊娠			0	1	5	0	0					0
44	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	A	胎児異常	⑤	形態異常			0	0	5	1	0					29
45	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	A	胎児異常	⑥	胎児水腫・胸水・腹水			0	0	6	0	7	3	2	2		0
46	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	A	胎児異常	⑦	貧血		胎児母体間輸血症候群、胎児中大脳動脈最大血流速度	0	3	3	0	0					0
47	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	A	胎児異常	⑧	肺低形成			0	2	3	1	5	2	2	1		0
48	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	A	胎児異常	⑨	子宮内胎児死亡			0	4	2	0	2		1		1	1
49	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	B	新生児仮死	①	新生児仮死		Apgarスコア、臍帯動脈血液ガス	3	2	1	0	8	3		2	3	2
50	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	C	新生児の分類と異常	①	低出生体重児、早期産児			3	2	1	0	8	2	4	1	1	21
51	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	C	新生児の分類と異常	②	過期産児			0	3	2	1	1		1			0
52	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	C	新生児の分類と異常	③	巨大児			0	3	3	0	2				2	0
53	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	D	新生児の呼吸障害	①	呼吸窮迫症候群<RDS>			3	2	1	0	6		3	2	1	0
54	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	D	新生児の呼吸障害	②	胎便吸引症候群<MAS>			1	3	2	0	6		4	2		0
55	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	D	新生児の呼吸障害	③	一過性多呼吸			0	3	2	1	2		1	1		1
56	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	D	新生児の呼吸障害	④	未熟児無呼吸発作			0	3	3	0	0					0
57	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	D	新生児の呼吸障害	⑤	新生児慢性肺疾患		Wilson-Mikity症候群	0	1	5	0	0					0
58	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	E	新生児黄疸	①	高ビリルビン血症			3	2	1	0	5	1	2		2	2
59	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	E	新生児黄疸	②	新生児溶血性疾患			1	3	2	0	1				1	0
60	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	F	新生児のけいれん	①	低血糖、低カルシウム血症			1	4	1	0	2		1	1		低血糖１、低カルシウム血症0
61	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	G	新生児の感染症	①	敗血症、髄膜炎		B群連鎖球菌	3	0	3	0	4			2	2	0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
62	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	H	その他の新生児疾患	①	低体温〔症〕			0	1	5	0	0					0
63	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	H	その他の新生児疾患	②	新生児クレチン症			1	2	3	0	1				1	0
64	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	H	その他の新生児疾患	③	未熟児貧血			0	1	5	0	0					0
65	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	H	その他の新生児疾患	④	ビタミンK欠乏症	764, 776	メレナ	4	0	2	0	8	5		2	1	0
66	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	H	その他の新生児疾患	⑤	頭蓋内出血			0	3	3	0	3	1	1		1	0
67	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	H	その他の新生児疾患	⑥	帽状腱膜下出血			0	3	3	0	2				2	0
68	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	H	その他の新生児疾患	⑦	頭血腫			0	3	3	0	2	1	1			0
69	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	H	その他の新生児疾患	⑧	未熟〔児〕網膜症	280		1	1	4	0	1				1	1
70	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	H	その他の新生児疾患	⑨	分娩外傷			1	0	5	0	2		2			0
71	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	H	その他の新生児疾患	⑩	壊死性腸炎			0	1	5	0	1			1		0
72	I　周産期・小児	3	胎児・新生児の異常	H	その他の新生児疾患	⑪	髄膜瘤	988を参照		0	1	5	0	0					0
72.5	I　周産期・小児	4	性分化染色体異常（他	A	染色体・遺伝子異常	KW	染色体異常			0	0	0	0	15	2	6	4	3	0
73	I　周産期・小児	4	性分化染色体異常（他）	A	染色体・遺伝子異常	①	Down症候群			3	2	1	0	13	1	5	5	2	13
74	I　周産期・小児	4	性分化染色体異常（他）	A	染色体・遺伝子異常	②	Turner症候群			1	4	1	0	7	1	2	3	1	1
75	I　周産期・小児	4	性分化染色体異常（他）	A	染色体・遺伝子異常	③	Klinefelter症候群			1	4	1	0	0					0
76	I　周産期・小児	4	性分化染色体異常（他）	A	染色体・遺伝子異常	④	ネコ鳴き<5p->症候群、trisomy(13番、18番)			0	1	4	1	7		2	2	3	0
77	I　周産期・小児	4	性分化染色体異常（他）	B	性分化・性器の異常	①	腟欠損症、Mayer-Rokitansky-Küster-Hauser<MRKH>症候群			0	1	3	2	1			1		0
78	I　周産期・小児	4	性分化染色体異常（他）	B	性分化・性器の異常	②	性分化疾患<真性・仮性半陰陽>			0	1	5	0	0					0
79	I　周産期・小児	4	性分化染色体異常（他）	C	内分泌の異常	①	アンドロゲン不応症<精巣性女性化症候群>			0	1	5	0	1	1				0
80	I　周産期・小児	4	性分化染色体異常（他）	C	内分泌の異常	②	先天性副腎皮質過形成	1299		0	2	4	0	0					0
81	I　周産期・小児	4	性分化染色体異常（他）	C	内分泌の異常	③	先天性男性ホルモン生成障害			0	1	4	1	0					0
82	I　周産期・小児	4	性分化染色体異常（他）	D	成長・発達の障害	中	成長・発達の障害			3	2	1	0	0					0
82.5	II　精神	1	器質性精神障害（他）	A	認知症	KW	認知機能障害、認知症			0	0	0	0	25	7	5	10	3	0
83	II　精神	1	器質性精神障害（他）	A	認知症	①	Alzheimer型認知症	1014		6	0	0	0	16	2	2	10	2	561
84	II　精神	1	器質性精神障害（他）	A	認知症	②	脳血管性認知症	983		6	0	0	0	1	1				32
85	II　精神	1	器質性精神障害（他）	A	認知症	③	Lewy小体型認知症	1015		5	1	0	0	11		3	5	3	109
86	II　精神	1	器質性精神障害（他）	A	認知症	④	前頭側頭型認知症	1016	Pick病	4	1	0	0	9	2	1	5	1	
87	II　精神	1	器質性精神障害（他）	B	器質性精神病	中	器質性精神病			3	2	1	0	0					10
88	II　精神	1	器質性精神障害（他）	C	症状性精神病	中	症状性精神病			3	2	1	0	0					0
89	II　精神	1	器質性精神障害（他）	D	せん妄	中	せん妄			4	0	1	0	23	4	4	11	4	2
90	II　精神	1	器質性精神障害（他）	E	精神作用物質関連精神障害	①	アルコール依存症	1478		6	0	0	0	18	4	4	5	5	46

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
91	II　精神	1	器質性精神障害（他）	E	精神作用物質関連精神障害	②	精神病性障害（アルコール精神病、覚醒剤精神病、大麻精神病）		急性中毒、乱用、依存、離脱症状	0	4	1	0	0					24
91.5	II　精神	2	気分障害、統合失調症	A	気分<感情>障害	KW	気分障害			0	0	0	0	7	3	2	1	1	0
92	II　精神	2	気分障害、統合失調症（他）	A	気分<感情>障害	①	うつ病	1506		5	1	0	0	43	11	9	15	8	963
93	II　精神	2	気分障害、統合失調症（他）	A	気分<感情>障害	②	双極性障害<躁うつ病>			2	3	0	0	10	1	4	4	1	222
93.5	II　精神					KW	統合失調症、思考障害、思路障害、支配観念、自我障害			0	0	0	0	66	12	20	19	15	0
94	II　精神	2	気分障害、統合失調症（他）	B	統合失調症	①	妄想型統合失調症			1	3	1	1	0					7
95	II　精神	2	気分障害、統合失調症（他）	B	統合失調症	②	破瓜型統合失調症			1	4	1	0	0					2
96	II　精神	2	気分障害、統合失調症（他）	B	統合失調症	③	緊張型統合失調症			1	4	1	0	0					1
97	II　精神	2	気分障害、統合失調症（他）	C	妄想性障害	中	妄想性障害			1	3	1	0	5	1	3	1		20
98	II　精神	2	気分障害、統合失調症（他）	D	急性一過性精神病性障害<非定型精神病>	中	急性一過性精神病性障害<非定型精神病>			0	5	0	0	2			2		2
99	II　精神	2	気分障害、統合失調症（他）	E	統合失調感情障害	中	統合失調感情障害			0	5	0	0	0					27
99.5	II　精神	3	神経症、ストレス障害	A	不安障害	KW	不安障害			0	0	0	0	12	4	4	2	2	0
100	II　精神	3	神経症、ストレス障害（他）	A	不安障害	①	パニック障害			6	0	0	0	10	3	3	3	1	83
101	II　精神	3	神経症、ストレス障害（他）	A	不安障害	②	全般性不安障害			4	2	0	0	5	1	3	1		115
102	II　精神	3	神経症、ストレス障害（他）	A	不安障害	③	社交<社会>不安障害			4	1	1	0	8		4	2	2	41
103	II　精神	3	神経症、ストレス障害（他）	B	強迫性障害	中	強迫性障害			1	5	0	0	7	2	2	1	2	41
104	II　精神	3	神経症、ストレス障害（他）	C	重度ストレス反応および適応障害	①	急性ストレス障害			1	4	1	0	4	3	1			0
105	II　精神	3	神経症、ストレス障害（他）	C	重度ストレス反応および適応障害	②	心的外傷後ストレス障害<PTSD>			3	3	0	0	6	2	3	1		7
106	II　精神	3	神経症、ストレス障害（他）	C	重度ストレス反応および適応障害	③	適応障害	1504		3	3	0	0	4			3	1	101
107	II　精神	3	神経症、ストレス障害（他）	D	解離性<転換性>障害	中	解離性<転換性>障害			0	4	2	0	5	1	1	2	1	8
108	II　精神	3	神経症、ストレス障害（他）	E	身体表現性障害	①	身体化障害			1	4	1	0	0					49
109	II　精神	3	神経症、ストレス障害（他）	E	身体表現性障害	②	心気症			1	4	1	0	0					4
110	II　精神	3	神経症、ストレス障害（他）	E	身体表現性障害	③	身体表現性自律神経機能不全			0	1	1	4	0					16
111	II　精神	3	神経症、ストレス障害（他）	E	身体表現性障害	④	持続性身体表現性疼痛障害		線維筋痛症	0	3	3	0	0					3
112	II　精神	4	生理的障害、身体的要因に関連した障害	A	摂食障害	①	神経性食思<欲>不振症<拒食症>			2	3	1	0	16	4	5	2	5	13
113	II　精神	4	生理的障害、身体的要因に関連した障害	A	摂食障害	②	神経性過食症<大食症>			1	4	1	0	1		1			1
113.5	II　精神	4	生理的障害、身体的要	B	睡眠障害	KW	睡眠障害			0	0	0	0	13	2	5	4	2	0
114	II　精神	4	生理的障害、身体的要因に関連した障害	B	睡眠障害	①	不眠症			4	2	0	0	9	2	3	3	1	332
115	II　精神	4	生理的障害、身体的要因に関連した障害	B	睡眠障害	②	過眠症（ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群）			1	4	1	0	4		1	2	1	過眠症１，ナルコレプシー2
116	II　精神	4	生理的障害、身体的要因に関連した障害	B	睡眠障害	③	概日リズム障害			0	0	5	1	0					0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
117	II　精神	4	生理的障害、身体的要因に関連した障害	B	睡眠障害	④	夢中遊行症			0	0	3	3	2		1	1		1
118	II　精神	4	生理的障害、身体的要因に関連した障害	B	睡眠障害	⑤	むずむず脚症候群	1068		2	1	3	0	5		2	1	2	0
119	II　精神	4	生理的障害、身体的要因に関連した障害	B	睡眠障害	⑥	周期性四肢運動障害			0	0	4	2	0					0
120	II　精神	4	生理的障害、身体的要因に関連した障害	B	睡眠障害	⑦	レム<REM>睡眠行動障害			1	2	3	0	4		2	1	1	0
121	II　精神	4	生理的障害、身体的要因に関連した障害	C	性機能不全	中	性機能不全			0	3	3	0	1			1		6
122	II　精神	4	生理的障害、身体的要因に関連した障害	D	心身症	中	心身症	1505		4	2	0	0	0					0
123	II　精神	5	小児・青年期、成人の人格障害（他）	A	知的障害<精神遅滞>	中	知的障害<精神遅滞>			2	2	2	0	4	1	1		2	65
124	II　精神	5	小児・青年期、成人の人格障害（他）	B	特異的発達障害	①	学習障害			2	3	1	0	1			1		17
125	II　精神	5	小児・青年期、成人の人格障害（他）	C	広汎性発達障害	①	自閉症			2	3	1	0	8	2	2	4		22
126	II　精神	5	小児・青年期、成人の人格障害（他）	C	広汎性発達障害	②	Asperger症候群			2	3	1	0	4	2	1	1		90
127	II　精神	5	小児・青年期、成人の人格障害（他）	D	多動性障害	①	注意欠陥多動障害<ADHD>			2	3	1	0	9	3		5	1	68
128	II　精神	5	小児・青年期、成人の人格障害（他）	E	素行障害	中	素行障害			0	0	3	3	0					0
129	II　精神	5	小児・青年期、成人の人格障害（他）	F	選択緘黙	中	選択緘黙			0	0	2	4	0					2
130	II　精神	5	小児・青年期、成人の人格障害（他）	G	不登校	中	不登校			0	2	4	0	0					0
131	II　精神	5	小児・青年期、成人の人格障害（他）	H	非行	中	非行			0	0	2	4	0					0
132	II　精神	5	小児・青年期、成人の人格障害（他）	I	チック障害	①	Tourette症候群			0	2	4	0	5	1	2	1	1	2
133	II　精神	5	小児・青年期、成人の人格障害（他）	J	吃音｛症｝	中	吃音｛症｝			0	2	3	1	1		1			1
134	II　精神	5	小児・青年期、成人の人格障害（他）	K	被虐待児症候群	中	被虐待児症候群			3	2	1	0	23	4	9	2	8	0
135	II　精神	5	小児・青年期、成人の人格障害（他）	L	パーソナリティ障害	①	境界性パーソナリティ障害			2	2	2	0	0					9
136	II　精神	5	小児・青年期、成人の人格障害（他）	M	習慣および衝動の障害	①	病的賭博、病的放火、病的窃盗			0	1	5	0	0					病的賭博1
137	II　精神	5	小児・青年期、成人の人格障害（他）	M	習慣および衝動の障害	②	抜毛症			0	2	3	0	1			1		0
138	II　精神	5	小児・青年期、成人の人格障害（他）	N	性同一性障害	中	性同一性障害			1	3	2	0	1			1		1
139	II　精神	5	小児・青年期、成人の人格障害（他）	O	性嗜好障害	中	性嗜好障害			0	2	4	0	0					0
140	III　皮膚・頭頸部	1	炎症性皮膚疾患	A	湿疹、皮膚炎	①	アトピー性皮膚炎	1327	Kaposi水痘様発疹症	5	1	0	0	15	4	4	5	2	513
141	III　皮膚・頭頸部	1	炎症性皮膚疾患	A	湿疹、皮膚炎	②	接触皮膚炎			4	2	0	0	4	2		2		81
142	III　皮膚・頭頸部	1	炎症性皮膚疾患	A	湿疹、皮膚炎	③	脂漏性皮膚炎			4	2	0	0	0					66
143	III　皮膚・頭頸部	1	炎症性皮膚疾患	A	湿疹、皮膚炎	④	貨幣状湿疹			2	3	1	0	0					15
144	III　皮膚・頭頸部	1	炎症性皮膚疾患	A	湿疹、皮膚炎	⑤	自家感作性皮膚炎			0	5	1	0	0					7
145	III　皮膚・頭頸部	1	炎症性皮膚疾患	A	湿疹、皮膚炎	⑥	うっ滞性皮膚炎			2	3	1	0	0					0
146	III　皮膚・頭頸部	1	炎症性皮膚疾患	A	湿疹、皮膚炎	⑦	皮脂欠乏性湿疹			4	1	1	0	0					262
147	III　皮膚・頭頸部	1	炎症性皮膚疾患	B	蕁麻疹	①	血管性浮腫	1329	Quinke浮腫	4	1	1	0	5	2	1	1	1	248

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
148	III　皮膚・頭頸部	1	炎症性皮膚疾患	C	痒疹、紅皮症	中	痒疹、紅皮症		色素性痒疹	1	4	1	0	0					痒疹41
149	III　皮膚・頭頸部	1	炎症性皮膚疾患	D	皮膚そう痒症	中	皮膚そう痒症			2	2	1	0	1				1	21
149.5	III　皮膚・頭頸部	1	炎症性皮膚疾患	E	薬疹、中毒疹	KW	薬疹			0	0	0	0	6	3	1	1	1	0
150	III　皮膚・頭頸部	1	炎症性皮膚疾患	E	薬疹、中毒疹	①	固定薬疹			2	3	0	0	6	1	3	1	1	1
151	III　皮膚・頭頸部	1	炎症性皮膚疾患	E	薬疹、中毒疹	②	Stevens-Johnson症候群			4	2	0	0	2	1	1			7
152	III　皮膚・頭頸部	1	炎症性皮膚疾患	E	薬疹、中毒疹	③	中毒性表皮壊死症<toxic epidermal necrolysis>			4	1	1	0	7	1	2	3	1	
153	III　皮膚・頭頸部	1	炎症性皮膚疾患	E	薬疹、中毒疹	④	薬剤性過敏症症候群<drug-induced hypersensitivity syndrome>			2	3	0	0	3		1	1	1	
153.5	III　皮膚・頭頸部	1	炎症性皮膚疾患	F	紅斑症	KW	紅斑症			0	0	0	0	5	2		2	1	0
154	III　皮膚・頭頸部	1	炎症性皮膚疾患	F	紅斑症	①	多形滲出性紅斑			0	4	2	0	0					0
155	III　皮膚・頭頸部	1	炎症性皮膚疾患	F	紅斑症	②	結節性紅斑			0	3	2	0	5	2	2	1		2
156	III　皮膚・頭頸部	1	炎症性皮膚疾患	F	紅斑症	③	硬結性紅斑			0	0	5	0	0					0
157	III　皮膚・頭頸部	1	炎症性皮膚疾患	F	紅斑症	④	環状紅斑			0	0	5	0	0					1
158	III　皮膚・頭頸部	1	炎症性皮膚疾患	G	移植片対宿主病<GVHD>	中	移植片対宿主病<GVHD>			0	0	5	0	7	1	4	1	1	0
159	III　皮膚・頭頸部	1	炎症性皮膚疾患	H	好中球性皮膚症	①	Sweet病			0	1	4	0	4	4				0
160	III　皮膚・頭頸部	1	炎症性皮膚疾患	H	好中球性皮膚症	②	壊疽性膿皮症			0	1	4	0	3		1	2		1
161	III　皮膚・頭頸部	1	炎症性皮膚疾患	I	皮膚血流障害	①	網状皮斑		リベド	1	3	1	0	0					0
162	III　皮膚・頭頸部	1	炎症性皮膚疾患	I	皮膚血流障害	②	血栓性静脈炎			4	2	0	0	3			2	1	0
163	III　皮膚・頭頸部	2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	A	母斑	①	脂腺母斑、表皮母斑、色素性母斑、太田母斑			0	5	1	0	5	2	1	1	1	0
164	III　皮膚・頭頸部	2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	B	母斑症	①	神経線維腫症１型〈von Recklinghausen病〉	1199	café au lait斑	0	3	3	0	3	2		1		0
165	III　皮膚・頭頸部	2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	B	母斑症	②	結節性硬化症	1200		1	3	2	0	6	1		3	2	1
166	III　皮膚・頭頸部	2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	C	血管腫	①	毛細血管奇形<単純性血管腫>			1	2	3	0	0					0
167	III　皮膚・頭頸部	2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	C	血管腫	②	幼児血管腫<イチゴ状血管腫>			1	2	3	0	0					0
168	III　皮膚・頭頸部	2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	C	血管腫	③	Kasabach-Merritt症候群			0	3	3	0	2		1	1		0
169	III　皮膚・頭頸部	2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	C	血管腫	④	静脈奇形<海綿状血管腫>			0	2	4	0	0					1
170	III　皮膚・頭頸部	2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	D	リンパ管腫	中	リンパ管腫	370		1	3	2	0	2	2				12
171	III　皮膚・頭頸部	2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	E	皮膚良性腫瘍	①	脂漏性角化症		Leser-Trélat徴候	1	2	3	0	0					34
172	III　皮膚・頭頸部	2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	E	皮膚良性腫瘍	②	粉瘤			3	1	1	0	2			2		0
173	III　皮膚・頭頸部	2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	E	皮膚良性腫瘍	③	ケラトアカントーマ			0	3	2	0	1				1	0
174	III　皮膚・頭頸部	2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	E	皮膚良性腫瘍	④	皮膚線維腫			0	2	4	0	0					0
175	III　皮膚・頭頸部	2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	E	皮膚良性腫瘍	⑤	ケロイド			2	3	1	0	1		1			0
176	III　皮膚・頭頸部	2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	E	皮膚良性腫瘍	⑥	毛細血管拡張性肉芽腫			0	1	4	1	0					0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
177	III　皮膚・頭頸部	2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	E	皮膚良性腫瘍	⑦	グロムス腫瘍	1145		0	1	4	1	0					0
178	III　皮膚・頭頸部	2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	E	皮膚良性腫瘍	⑧	色素性蕁麻疹			0	1	5	0	3		1		2	0
179	III　皮膚・頭頸部	2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	F	皮膚悪性腫瘍	①	日光角化症<老人性角化症>			0	3	3	0	1				1	7
180	III　皮膚・頭頸部	2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	F	皮膚悪性腫瘍	②	乳房外Paget病			0	2	4	0	1			1		0
181	III　皮膚・頭頸部	2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	F	皮膚悪性腫瘍	③	Bowen病	882		0	4	2	0	6	2	1	2	1	0
182	III　皮膚・頭頸部	2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	F	皮膚悪性腫瘍	④	有棘細胞癌			1	4	1	0	5		3	1	1	0
183	III　皮膚・頭頸部	2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	F	皮膚悪性腫瘍	⑤	基底細胞癌			2	3	1	0	1			1		0
184	III　皮膚・頭頸部	2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	F	皮膚悪性腫瘍	⑥	血管肉腫			0	1	5	0	3	1		1	1	0
185	III　皮膚・頭頸部	2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	F	皮膚悪性腫瘍	⑦	悪性黒色腫			3	2	1	0	7	5		2		5
186	III　皮膚・頭頸部	2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	F	皮膚悪性腫瘍	⑧	Kaposi肉腫			1	2	3	0	2		1		1	0
187	III　皮膚・頭頸部	2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	G	皮膚悪性リンパ腫	①	菌状息肉症	1493		0	3	3	0	1			1		2
188	III　皮膚・頭頸部	2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	G	皮膚悪性リンパ腫	②	Sézary症候群	751		0	3	3	0	0					0
189	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	A	遺伝性水疱症	①	先天性表皮水疱症			0	1	4	0	0					0
190	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	B	後天性水疱症	①	天疱瘡		Nikolsky現象	2	2	1	0	3	1		2		20
191	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	B	後天性水疱症	②	水疱性類天疱瘡			1	3	1	0	5		1	3	1	11
192	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	B	後天性水疱症	③	疱疹状皮膚炎、後天性表皮水疱症			0	2	4	0	5		1	4		0
193	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	C	遺伝性角化症	①	魚鱗癬			0	4	2	0	1			1		0
194	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	C	遺伝性角化症	②	掌蹠角化症			0	3	2	0	0					0
195	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	C	遺伝性角化症	③	Darier病			0	3	2	0	2		1		1	0
196	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	C	遺伝性角化症	④	汗孔角化症			0	0	6	0	0					0
197	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	D	炎症性角化症	①	乾癬		Auspitz現象、Köbner現象	2	3	1	0	8	3	1	3	1	85
198	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	D	炎症性角化症	②	類乾癬			0	0	6	0	0					0
199	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	D	炎症性角化症	③	扁平苔癬			0	3	2	0	4	2	1		1	0
200	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	D	炎症性角化症	④	Gibertばら色粃糠疹			2	2	2	0	0					1
201	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	E	膿疱症	①	膿疱性乾癬			0	3	2	0	0					0
202	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	E	膿疱症	②	掌蹠膿疱症			0	6	0	0	3	1		2		0
203	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	F	光線過敏症	①	慢性光線性皮膚炎		ペラグラ	0	3	3	0	4	1	1	2		0
204	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	G	色素異常症	①	尋常性白斑			1	3	2	0	0					0
205	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	H	遺伝性皮膚疾患	①	Werner症候群			0	2	4	0	0					0
206	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	H	遺伝性皮膚疾患	②	色素性乾皮症			0	3	3	0	1			1		0
207	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	I	発汗異常症	①	汗疹、多汗症、無汗症			3	2	1	0	2				2	汗疹4、多汗症0、無汗症0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
207.5	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	J	細菌感染症	KW	細菌感染症			0	0	0	0	6	3	1	2		0
208	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	J	細菌感染症	①	せつ、癰			3	2	1	0	0					14
209	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	J	細菌感染症	②	蜂巣炎<蜂窩織炎>			4	1	1	0	1		1			39
210	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	J	細菌感染症	③	ひょう疽			3	2	1	0	0					0
211	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	J	細菌感染症	④	丹毒			3	2	1	0	4		2	2		1
212	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	J	細菌感染症	⑤	伝染性膿痂疹			4	1	1	0	3	2		1		21
213	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	J	細菌感染症	⑥	ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群			4	1	1	0	4	2		1	1	0
214	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	J	細菌感染症	⑦	壊死性筋膜炎		劇症型Ａ群β溶連菌感染症、Vibrio vulnificus	3	1	1	0	1			1		0
215	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	J	細菌感染症	⑧	ガス壊疽	1443		0	3	2	0	9	1	3	4	1	0
216	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	K	皮膚抗酸菌症	①	尋常性狼瘡			0	0	6	0	1			1		円形脱毛症41
217	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	K	皮膚抗酸菌症	②	皮膚腺病			0	0	2	4	0					0
218	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	K	皮膚抗酸菌症	③	硬結性紅斑			0	0	3	3	0					0
219	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	K	皮膚抗酸菌症	④	非結核性抗酸菌症	404, 1451		1	3	2	0	5	1	1	2	1	0
220	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	L	皮膚真菌症	①	白癬、カンジダ症	1456	Celsus禿瘡	4	1	1	0	9	1	3	3	2	350
221	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	L	皮膚真菌症	②	皺風	1457		0	6	0	0	1	1				4
222	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	L	皮膚真菌症	③	スポロトリコーシス	1458		1	3	1	0	0					0
223	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	M	動物性皮膚疾患	①	疥癬			3	1	1	0	4		1	1	2	5
224	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	N	痤瘡	①	尋常性痤瘡、酒皶様皮膚炎			4	1	1	0	0					0
225	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	O	脱毛症	①	円形脱毛症、男性型脱毛症		抜毛症	4	1	1	0	3			2	1	円形脱毛症41
226	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	P	肉芽腫症	①	環状肉芽腫			0	0	6	0	1				1	0
227	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	Q	ムチン沈着症	①	脛骨前粘液水腫			0	0	5	1	0					0
228	III　皮膚・頭頸部	3	その他の皮膚疾患	Q	ムチン沈着症	②	糖尿病性浮腫性硬化症			0	3	1	1	0					0
228.5	III　皮膚・頭頸部	4	視機能異常、視神経疾	A	視機能異常	KW	視野異常、視野障害、視力障害、視力低下			0	0	0	0	14	3	8	2	1	0
229	III　皮膚・頭頸部	4	視機能異常、視神経疾患	A	視機能異常	①	弱視			2	2	1	0	5	2	1	1	1	41
230	III　皮膚・頭頸部	4	視機能異常、視神経疾患	A	視機能異常	②	色覚異常			2	3	1	0	0					0
231	III　皮膚・頭頸部	4	視機能異常、視神経疾患	A	視機能異常	③	屈折異常			4	2	0	0	4		1	2	1	304
232	III　皮膚・頭頸部	4	視機能異常、視神経疾患	A	視機能異常	④	調節異常			3	2	1	0	0					10
233	III　皮膚・頭頸部	4	視機能異常、視神経疾患	B	視神経疾患	①	視神経炎・症			1	3	1	0	3	1	2			3
234	III　皮膚・頭頸部	4	視機能異常、視神経疾患	B	視神経疾患	②	視神経萎縮			0	3	2	1	0					12
235	III　皮膚・頭頸部	4	視機能異常、視神経疾患	B	視神経疾患	③	うっ血乳頭			3	2	1	0	3	1		1	1	0
235.5	III　皮膚・頭頸部	4	視機能異常、視神経疾	C	眼位・眼球運動障害	KW	眼球運動障害			0	0	0	0	5		2	3		0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
236	III　皮膚・頭頸部	4	視機能異常、視神経疾患	C	眼位・眼球運動障害	①	斜視、斜位			3	2	1	0	7	2		2	3	42
237	III　皮膚・頭頸部	4	視機能異常、視神経疾患	C	眼位・眼球運動障害	②	眼筋麻痺			1	3	1	0	1				1	5
238	III　皮膚・頭頸部	4	視機能異常、視神経疾患	C	眼位・眼球運動障害	③	動眼神経麻痺			0	5	1	0	13	4	4	3	2	1
239	III　皮膚・頭頸部	4	視機能異常、視神経疾患	C	眼位・眼球運動障害	④	滑車神経麻痺			1	3	1	0	0					1
240	III　皮膚・頭頸部	4	視機能異常、視神経疾患	C	眼位・眼球運動障害	⑤	外転神経麻痺			1	3	1	0	3		1	1	1	1
241	III　皮膚・頭頸部	5	眼窩・ 外眼部・前眼部・眼球の疾患	A	眼窩の異常	①	眼窩腫瘍			1	2	2	0	1				1	0
242	III　皮膚・頭頸部	5	眼窩・ 外眼部・前眼部・眼球の疾患	A	眼窩の異常	②	眼球突出			2	3	1	0	2		1		1	0
243	III　皮膚・頭頸部	5	眼窩・ 外眼部・前眼部・眼球の疾患	B	眼瞼の異常	①	眼瞼内反			1	3	1	0	0					33
244	III　皮膚・頭頸部	5	眼窩・ 外眼部・前眼部・眼球の疾患	B	眼瞼の異常	②	眼瞼外反			1	3	1	0	0					0
245	III　皮膚・頭頸部	5	眼窩・ 外眼部・前眼部・眼球の疾患	B	眼瞼の異常	③	兎眼〔症〕			2	2	1	0	0					0
246	III　皮膚・頭頸部	5	眼窩・ 外眼部・前眼部・眼球の疾患	B	眼瞼の異常	④	麦粒腫			4	1	1	0	0					15
247	III　皮膚・頭頸部	5	眼窩・ 外眼部・前眼部・眼球の疾患	B	眼瞼の異常	⑤	霰粒腫			3	1	2	0	1				1	16
248	III　皮膚・頭頸部	5	眼窩・ 外眼部・前眼部・眼球の疾患	B	眼瞼の異常	⑥	眼瞼炎			2	3	1	0	0					10
249	III　皮膚・頭頸部	5	眼窩・ 外眼部・前眼部・眼球の疾患	B	眼瞼の異常	⑦	眼瞼腫瘍			0	2	2	1	0					0
250	III　皮膚・頭頸部	5	眼窩・ 外眼部・前眼部・眼球の疾患	C	眼表面・涙器の異常	①	涙道狭窄・閉塞			0	5	1	0	2		1	1		19
251	III　皮膚・頭頸部	5	眼窩・ 外眼部・前眼部・眼球の疾患	C	眼表面・涙器の異常	②	涙嚢炎			0	4	2	0	1			1		14
252	III　皮膚・頭頸部	5	眼窩・ 外眼部・前眼部・眼球の疾患	C	眼表面・涙器の異常	③	涙液分泌障害			0	2	3	0	4	1	2	1		4
253	III　皮膚・頭頸部	5	眼窩・ 外眼部・前眼部・眼球の疾患	C	眼表面・涙器の異常	④	翼状片			2	3	1	0	1	1				7
254	III　皮膚・頭頸部	5	眼窩・ 外眼部・前眼部・眼球の疾患	C	眼表面・涙器の異常	⑤	結膜炎			5	1	0	0	3		2		1	414
255	III　皮膚・頭頸部	5	眼窩・ 外眼部・前眼部・眼球の疾患	C	眼表面・涙器の異常	⑥	春季カタル			0	3	2	1	3	1		1	1	0
256	III　皮膚・頭頸部	5	眼窩・ 外眼部・前眼部・眼球の疾患	C	眼表面・涙器の異常	⑦	結膜下出血			4	1	1	0	2	1			1	9
257	III　皮膚・頭頸部	5	眼窩・ 外眼部・前眼部・眼球の疾患	C	眼表面・涙器の異常	⑧	角膜感染症			1	3	1	0	3			2	1	136
258	III　皮膚・頭頸部	5	眼窩・ 外眼部・前眼部・眼球の疾患	C	眼表面・涙器の異常	⑨	角膜ジストロフィー・変性症			0	0	2	4	0					0
259	III　皮膚・頭頸部	5	眼窩・ 外眼部・前眼部・眼球の疾患	C	眼表面・涙器の異常	⑩	角膜炎			1	4	0	0	2				2	46
260	III　皮膚・頭頸部	5	眼窩・ 外眼部・前眼部・眼球の疾患	C	眼表面・涙器の異常	⑪	角膜潰瘍			1	4	1	0	7	1	1	4	1	19
261	III　皮膚・頭頸部	5	眼窩・ 外眼部・前眼部・眼球の疾患	C	眼表面・涙器の異常	⑫	角膜の色素沈着		Kayser-Fleischer輪	0	1	4	0	0					0
262	III　皮膚・頭頸部	5	眼窩・ 外眼部・前眼部・眼球の疾患	C	眼表面・涙器の異常	⑬	強膜炎			1	3	1	0	0					4
263	III　皮膚・頭頸部	5	眼窩・ 外眼部・前眼部・眼球の疾患	D	眼組織の異常	①	白内障		眼内レンズ挿入術	4	2	0	0	17	1	5	9	2	955
264	III　皮膚・頭頸部	5	眼窩・ 外眼部・前眼部・眼球の疾患	D	眼組織の異常	②	水晶体偏位・脱臼			0	1	5	0	2	1		1		0
265	III　皮膚・頭頸部	5	眼窩・ 外眼部・前眼部・眼球の疾患	D	眼組織の異常	③	緑内障			5	1	0	0	18	4	5	8	1	1082
265.5	III　皮膚・頭頸部	6	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患			KW	ぶどう膜炎			0	0	0	0	6	1	2	3		0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
266	III　皮膚・頭頸部	6	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患	A	ぶどう膜炎	①	前部ぶどう膜炎<虹彩炎、虹彩毛様体炎>			1	4	1	0	0					虹彩毛様体炎34
267	III　皮膚・頭頸部	6	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患	A	ぶどう膜炎	②	後部ぶどう膜炎<脈絡膜炎、網脈絡膜炎>			1	4	1	0	0					4
268	III　皮膚・頭頸部	6	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患	A	ぶどう膜炎	③	Vogt-小柳-原田病			0	2	4	0	3		2	1		0
269	III　皮膚・頭頸部	6	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患	A	ぶどう膜炎	④	Behçet病	1361		3	2	1	0	7	2	1	3	1	9
270	III　皮膚・頭頸部	6	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患	A	ぶどう膜炎	⑤	サルコイドーシス	427, 1360		2	3	1	0	8	1	4	3		16
271	III　皮膚・頭頸部	6	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患	B	汎ぶどう膜炎	①	眼内炎			0	2	3	0	1			1		2
272	III　皮膚・頭頸部	6	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患	B	汎ぶどう膜炎	②	全眼球炎			0	2	3	0	0					0
273	III　皮膚・頭頸部	6	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患	C	網膜の異常	①	網膜静脈閉塞症			0	4	1	0	5	2	1	1	1	80
274	III　皮膚・頭頸部	6	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患	C	網膜の異常	②	網膜動脈閉塞症			0	4	1	0	2	1	1			3
275	III　皮膚・頭頸部	6	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患	C	網膜の異常	③	糖尿病網膜症	1265		3	2	0	0	23	7	6	7	3	108
276	III　皮膚・頭頸部	6	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患	C	網膜の異常	④	網膜色素変性			0	4	2	0	7	1	3	3		0
277	III　皮膚・頭頸部	6	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患	C	網膜の異常	⑤	中心性漿液性脈絡網膜症			0	0	6	0	2	1		1		0
278	III　皮膚・頭頸部	6	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患	C	網膜の異常	⑥	加齢黄斑変性			0	4	2	0	8	2	1	3	2	196
279	III　皮膚・頭頸部	6	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患	C	網膜の異常	⑦	網膜剝離			3	3	0	0	10		4	4	2	35
280	III　皮膚・頭頸部	6	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患	C	網膜の異常	⑧	未熟〔児〕網膜症	69		1	3	2	0	1				1	1
281	III　皮膚・頭頸部	6	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患	C	網膜の異常	⑨	変性近視			0	3	1	1	0					0
282	III　皮膚・頭頸部	6	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患	C	網膜の異常	⑩	黄斑円孔、網膜上膜<網膜前膜>			0	2	4	0	2			1	1	0
283	III　皮膚・頭頸部	6	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患	D	硝子体の異常	①	硝子体混濁			0	3	2	0	1			1		8
284	III　皮膚・頭頸部	6	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患	D	硝子体の異常	②	硝子体出血			0	4	1	0	7	4	1	1	1	7
285	III　皮膚・頭頸部	6	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患	E	眼内腫瘍	①	脈絡膜腫瘍			0	0	3	3	0					0
286	III　皮膚・頭頸部	6	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患	E	眼内腫瘍	②	網膜芽細胞腫			0	1	5	0	1			1		0
287	III　皮膚・頭頸部	7	外耳・中耳疾患	A	外耳道の異常	①	急性化膿性限局性外耳炎<耳せつ>			2	3	1	0	0					39
288	III　皮膚・頭頸部	7	外耳・中耳疾患	A	外耳道の異常	②	外耳道異物			4	0	1	0	0					30
289	III　皮膚・頭頸部	7	外耳・中耳疾患	A	外耳道の異常	③	耳垢栓塞			2	3	1	0	0					14
290	III　皮膚・頭頸部	7	外耳・中耳疾患	A	外耳道の異常	④	耳性帯状疱疹<Ramsay Hunt症候群>			5	0	1	0	8	2	3	2	1	0
291	III　皮膚・頭頸部	7	外耳・中耳疾患	A	外耳道の異常	⑤	外耳腫瘍			0	1	3	2	0					2
292	III　皮膚・頭頸部	7	外耳・中耳疾患	A	外耳道の異常	⑥	悪性外耳道炎			0	0	4	1	0					0
293	III　皮膚・頭頸部	7	外耳・中耳疾患	B	鼓膜の異常	①	鼓膜炎			0	0	5	0	0					0
294	III　皮膚・頭頸部	7	外耳・中耳疾患	C	中耳の異常	①	急性中耳炎			4	2	0	0	8	2	2	2	2	99
295	III　皮膚・頭頸部	7	外耳・中耳疾患	C	中耳の異常	②	滲出性中耳炎		鼓膜チューブ挿入術	4	1	1	0	5	1	1	2	1	3
296	III　皮膚・頭頸部	7	外耳・中耳疾患	C	中耳の異常	③	慢性穿孔性<化膿性>中耳炎		鼓室形成術	0	3	2	0	1				1	8

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
297	III　皮膚・頭頸部	7	外耳・中耳疾患	C	中耳の異常	④	好酸球性中耳炎			0	0	6	0	0					0
298	III　皮膚・頭頸部	7	外耳・中耳疾患	C	中耳の異常	⑤	真珠腫性中耳炎		乳突洞削開術	0	2	4	0	4	1	1	1	1	14
299	III　皮膚・頭頸部	7	外耳・中耳疾患	C	中耳の異常	⑥	耳硬化症			0	1	5	0	2	1		1		0
300	III　皮膚・頭頸部	7	外耳・中耳疾患	C	中耳の異常	⑦	耳管機能不全			0	3	3	0	0					49
301	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	A	内耳の異常	①	内耳炎			0	3	3	0	0					0
301.5	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	A	内耳の異常	KW	難聴			0	0	0	0	19	9	4	5	1	0
302	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	A	内耳の異常	②	音響外傷			1	3	2	0	1			1		0
303	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	A	内耳の異常	③	騒音性難聴	1517		5	1	0	0	16	5	1	9	1	1
304	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	A	内耳の異常	④	薬剤性難聴			4	1	1	0	0					0
305	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	A	内耳の異常	⑤	老人性難聴			4	0	1	0	3	1		1	1	4
306	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	A	内耳の異常	⑥	乳幼児の難聴		人工内耳埋込み術	2	3	1	0	2		1		1	0
307	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	A	内耳の異常	⑦	ウイルス性難聴			1	1	4	0	1			1		0
308	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	A	内耳の異常	⑧	突発性難聴			4	1	1	0	4		2	2		23
309	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	A	内耳の異常	⑨	遺伝性難聴		若年発症型両側性感音難聴	1	2	2	1	1	1				0
310	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	A	内耳の異常	⑩	外リンパ瘻			0	0	6	0	2			1	1	0
311	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	A	内耳の異常	⑪	機能性難聴			1	2	3	0	1			1		49
312	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	B	前庭の異常	①	Ménière病		遅発性内リンパ水腫	4	1	1	0	1			1		59
312.5	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	B	前庭の異常	KW	めまい			0	0	0	0	15	2	1	9	3	0
313	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	B	前庭の異常	②	良性発作性頭位めまい症			5	1	0	0	15	2	6	6	1	19
314	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	B	前庭の異常	③	前庭神経炎			4	0	1	0	2	1	1			0
315	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	B	前庭の異常	④	薬剤性平衡障害			2	2	1	0	0					0
316	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	B	前庭の異常	⑤	動揺病	1518		3	2	1	0	0					0
317	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	C	その他の神経の異常	①	顔面神経麻痺		Bell麻痺	5	0	1	0	15	3	7	4	1	11
318	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	C	その他の神経の異常	②	軟口蓋麻痺			0	2	3	0	0					0
319	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	C	その他の神経の異常	③	舌下神経麻痺			0	3	2	0	0					0
320	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	C	その他の神経の異常	④	三叉神経痛	1052		3	2	1	0	0					11
321	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	C	その他の神経の異常	⑤	小脳橋角部腫瘍		聴神経腫瘍	1	3	1	0	7	1	1	5		1
322	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	C	その他の神経の異常	⑥	舌咽神経麻痺、舌咽神経痛			0	3	2	0	0					0
323	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	C	その他の神経の異常	⑦	反回神経麻痺	476		2	3	1	0	11	4	3	3	1	2
324	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	C	その他の神経の異常	⑧	頸静脈孔症候群			0	2	3	0	0					0
325	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	C	その他の神経の異常	⑨	顔面けいれん、眼瞼けいれん			1	3	1	0	0					顔面けいれん6、眼瞼けいれん3

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
326	III　皮膚・頭頸部	8	内耳・神経疾患	C	その他の神経の異常	⑩	Horner症候群	1071		3	2	1	0	10	5	4		1	0
326.5	III　皮膚・頭頸部	9	鼻腔・副鼻腔・喉頭疾	A	鼻・副鼻腔の異常	KW	慢性副鼻腔炎			0	0	0	0	3	1		2		0
327	III　皮膚・頭頸部	9	鼻腔・副鼻腔・喉頭疾患	A	鼻・副鼻腔の異常	①	鼻せつ			3	0	2	0	0					0
328	III　皮膚・頭頸部	9	鼻腔・副鼻腔・喉頭疾患	A	鼻・副鼻腔の異常	②	鼻炎			4	1	1	0	0					671
329	III　皮膚・頭頸部	9	鼻腔・副鼻腔・喉頭疾患	A	鼻・副鼻腔の異常	③	副鼻腔炎		好酸球性副鼻腔炎	5	1	0	0	8	2	1	4	1	409
330	III　皮膚・頭頸部	9	鼻腔・副鼻腔・喉頭疾患	A	鼻・副鼻腔の異常	④	歯性上顎洞炎			2	1	2	0	2		1		1	2
331	III　皮膚・頭頸部	9	鼻腔・副鼻腔・喉頭疾患	A	鼻・副鼻腔の異常	⑤	副鼻腔真菌症			0	2	2	1	0					0
332	III　皮膚・頭頸部	9	鼻腔・副鼻腔・喉頭疾患	A	鼻・副鼻腔の異常	⑥	術後副鼻腔嚢胞			0	2	2	1	1	1				0
333	III　皮膚・頭頸部	9	鼻腔・副鼻腔・喉頭疾患	A	鼻・副鼻腔の異常	⑦	上顎洞癌			0	3	3	0	4	1	1		2	2
334	III　皮膚・頭頸部	9	鼻腔・副鼻腔・喉頭疾患	B	喉頭の異常	①	感冒〈かぜ症候群〉	397		5	0	1	0	8	1	1	5	1	213
335	III　皮膚・頭頸部	9	鼻腔・副鼻腔・喉頭疾患	B	喉頭の異常	②	クループ症候群			3	2	1	0	4	1		3		0
336	III　皮膚・頭頸部	9	鼻腔・副鼻腔・喉頭疾患	B	喉頭の異常	③	急性喉頭蓋炎			4	1	1	0	12	1	6	3	2	1
337	III　皮膚・頭頸部	9	鼻腔・副鼻腔・喉頭疾患	B	喉頭の異常	④	急性喉頭炎			4	1	1	0	1	1				14
338	III　皮膚・頭頸部	9	鼻腔・副鼻腔・喉頭疾患	B	喉頭の異常	⑤	急性声門下喉頭炎		仮性クループ	1	4	1	0	1		1			0
339	III　皮膚・頭頸部	9	鼻腔・副鼻腔・喉頭疾患	B	喉頭の異常	⑥	慢性喉頭炎			0	2	4	0	0					26
340	III　皮膚・頭頸部	9	鼻腔・副鼻腔・喉頭疾患	B	喉頭の異常	⑦	声帯ポリープ、声帯結節			0	4	1	0	0					2
341	III　皮膚・頭頸部	9	鼻腔・副鼻腔・喉頭疾患	B	喉頭の異常	⑧	喉頭癌			3	2	1	0	3	1	2			12
342	III　皮膚・頭頸部	9	鼻腔・副鼻腔・喉頭疾患	B	喉頭の異常	⑨	喉頭乳頭腫			0	0	4	2	1		1			0
343	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	A	口腔の異常	①	口角炎、舌炎			4	0	1	0	0					舌炎4
344	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	A	口腔の異常	②	アフタ性口内炎			5	0	1	0	0					12
345	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	A	口腔の異常	③	急性ヘルペス性口内炎			4	1	1	0	0					0
346	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	A	口腔の異常	④	ヘルパンギーナ			4	1	1	0	0					0
347	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	A	口腔の異常	⑤	鵞口瘡			2	3	1	0	0					5
348	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	A	口腔の異常	⑥	白斑〈板〉症			1	3	1	0	3	2	1			5
349	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	A	口腔の異常	⑦	口腔・口唇の癌、舌癌			0	3	2	0	0					14
350	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	B	顎骨の異常	①	顎骨腫瘍			0	1	5	0	0					0
351	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	B	顎骨の異常	②	顎関節症			3	0	2	0	0					15
352	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	C	咽頭の異常	①	咽頭炎			4	1	1	0	1			1		440
353	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	C	咽頭の異常	②	咽後膿瘍			1	4	1	0	0					1
354	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	C	咽頭の異常	③	口蓋扁桃肥大症、咽頭扁桃〈アデノイド〉増殖症			3	2	1	0	4	3		1		4
355	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	C	咽頭の異常	④	急性扁桃炎			5	0	1	0	2		1		1	35

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
356	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	C	咽頭の異常	⑤	扁桃周囲炎・膿瘍			4	1	1	0	6	1	2	2	1	3
357	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	C	咽頭の異常	⑥	慢性扁桃炎			2	3	1	0	0					4
358	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	C	咽頭の異常	⑦	若年性血管線維腫			0	0	5	0	5	2		3		0
359	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	C	咽頭の異常	⑧	悪性リンパ腫	465, 615, 779, 986, 433		1	4	1	0	14	5	4	3	2	0
360	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	C	咽頭の異常	⑨	上咽頭癌			0	4	1	0	5	1	1	2	1	2
361	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	C	咽頭の異常	⑩	中咽頭癌			0	4	1	0	5	1	1	3		5
362	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	C	咽頭の異常	⑪	下咽頭癌			0	4	1	0	4		1	2	1	6
363	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	D	唾液腺の異常	①	唾液腺炎			2	3	1	0	0					4
364	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	D	唾液腺の異常	②	唾石症			2	1	2	0	1				1	1
365	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	D	唾液腺の異常	③	唾液腺良性腫瘍		多形腺腫、Walthin腫瘍	1	2	2	0	1			1		1
366	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	D	唾液腺の異常	④	唾液腺癌			0	2	3	0	0					3
367	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	E	頸部の異常	①	頸部リンパ節炎		頸部リンパ節結核	3	1	2	0	7	4		3		1
368	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	E	頸部の異常	②	頸部膿瘍			2	2	1	0	0					0
369	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	E	頸部の異常	③	先天性頸嚢胞・瘻		正中頸嚢胞、側頸嚢胞、下咽頭梨状陥凹瘻	0	1	5	0	4	1	1		2	0
370	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	E	頸部の異常	④	リンパ管腫	170		0	3	3	0	2	2				12
371	III　皮膚・頭頸部	10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	E	頸部の異常	⑤	リンパ節転移			4	1	1	0	2		2			2
372	III　皮膚・頭頸部	11	損傷、奇形	A	物理・化学的外傷	①	熱傷	1528		6	0	0	0	14	3	2	6	3	15
373	III　皮膚・頭頸部	11	損傷、奇形	A	物理・化学的外傷	②	凍傷			4	1	1	0	0					0
374	III　皮膚・頭頸部	11	損傷、奇形	A	物理・化学的外傷	③	電撃傷			3	2	1	0	0					0
375	III　皮膚・頭頸部	11	損傷、奇形	A	物理・化学的外傷	④	褥瘡			4	2	0	0	13	3	3	4	3	117
376	III　皮膚・頭頸部	11	損傷、奇形	A	物理・化学的外傷	⑤	角・結膜化学損傷		角・結膜アルカリ・酸損傷	3	3	0	0	4	1		2	1	0
377	III　皮膚・頭頸部	11	損傷、奇形	A	物理・化学的外傷	⑥	光線性眼障害		紫外線、赤外線、電離放射線、レーザー光線、可視光線	0	4	2	0	0					0
378	III　皮膚・頭頸部	11	損傷、奇形	B	眼の外傷	①	鈍的眼外傷			0	5	1	0	1		1			0
379	III　皮膚・頭頸部	11	損傷、奇形	B	眼の外傷	②	鋭的眼外傷			0	4	2	0	0					0
380	III　皮膚・頭頸部	11	損傷、奇形	B	眼の外傷	③	異物			5	0	1	0	0					8
381	III　皮膚・頭頸部	11	損傷、奇形	C	耳の損傷	①	耳介血腫			0	1	5	0	0					0
382	III　皮膚・頭頸部	11	損傷、奇形	C	耳の損傷	②	鼓膜損傷		外傷性耳小骨離断	0	3	3	0	1	1				3
383	III　皮膚・頭頸部	11	損傷、奇形	D	顔面の骨折	①	側頭骨骨折			1	4	1	0	4	2	1	1		0
384	III　皮膚・頭頸部	11	損傷、奇形	D	顔面の骨折	②	鼻骨骨折			1	4	1	0	0					1
385	III　皮膚・頭頸部	11	損傷、奇形	D	顔面の骨折	③	顔面骨折		Le　Fort型骨折、下顎骨骨折、頬骨骨折、上顎骨骨折	1	4	1	0	7		6		1	2
386	III　皮膚・頭頸部	11	損傷、奇形	D	顔面の骨折	④	前頭骨骨折			1	4	1	0	0					0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
387	III　皮膚・頭頸部	11	損傷、奇形	D	顔面の骨折	⑤	吹き抜け骨折			2	3	1	0	9	2	2	4	1	1
388	III　皮膚・頭頸部	11	損傷、奇形	D	顔面の骨折	⑥	視神経損傷、視神経管骨折			1	3	1	0	2		1	1		0
389	III　皮膚・頭頸部	11	損傷、奇形	E	喉頭損傷	中	喉頭損傷			0	4	1	0	2	1		1		0
390	III　皮膚・頭頸部	11	損傷、奇形	F	皮膚・頭頸部の先天異常	①	耳介奇形			0	1	4	1	0					2
391	III　皮膚・頭頸部	11	損傷、奇形	F	皮膚・頭頸部の先天異常	②	先天性耳瘻孔			0	0	4	2	1	1				0
392	III　皮膚・頭頸部	11	損傷、奇形	F	皮膚・頭頸部の先天異常	③	外耳道閉鎖症		Treacher　Collins症候群	0	0	5	1	0					0
393	III　皮膚・頭頸部	11	損傷、奇形	F	皮膚・頭頸部の先天異常	④	中耳奇形			0	1	2	3	0					0
394	III　皮膚・頭頸部	11	損傷、奇形	F	皮膚・頭頸部の先天異常	⑤	内耳奇形			0	1	1	4	0					0
395	III　皮膚・頭頸部	11	損傷、奇形	F	皮膚・頭頸部の先天異常	⑥	眼の先天異常		無眼球、ぶどう膜欠損、白子症、Peters異常	0	0	2	4	0					0
396	III　皮膚・頭頸部	11	損傷、奇形	G	唇・口蓋の先天異常	①	唇裂、口蓋裂			1	1	4	0	2			2		唇裂3，口蓋裂4
397	IV　呼吸・胸壁	1	感染性呼吸器疾患	A	気道感染症	①	感冒<かぜ症候群>、上気道炎	334		6	0	0	0	8	1	1	5	1	96
398	IV　呼吸・胸壁	1	感染性呼吸器疾患	A	気道感染症	②	気管支炎、細気管支炎			6	0	0	0	2		1	1		気管支炎405、細気管支炎2
398.5	IV　呼吸・胸壁	1	感染性呼吸器疾患	B	肺実質感染症	KW	肺炎			0	0	0	0	24	4	5	9	6	0
399	IV　呼吸・胸壁	1	感染性呼吸器疾患	B	肺実質感染症	①	市中肺炎		細菌、非定型病原体	6	0	0	0	8	1	4	1	2	68
400	IV　呼吸・胸壁	1	感染性呼吸器疾患	B	肺実質感染症	②	院内肺炎		耐性菌、日和見感染症<opportunistic　infection>	6	0	0	0	10	3	3	4		0
401	IV　呼吸・胸壁	1	感染性呼吸器疾患	B	肺実質感染症	③	医療・介護関連肺炎		嚥下性肺疾患	5	0	0	0	18	1	2	10	5	30
402	IV　呼吸・胸壁	1	感染性呼吸器疾患	B	肺真菌症	①	アスペルギルス症、クリプトコックス症、カンジダ症、ニューモシスチス肺炎	1455		4	2	0	0	17	4	3	8	2	アスペルギルス症4、クリプトコックス症1
403	IV　呼吸・胸壁	1	感染性呼吸器疾患	D	抗酸菌症	①	肺結核症			4	2	0	0	15	5	3	4	3	15
404	IV　呼吸・胸壁	1	感染性呼吸器疾患	D	抗酸菌症	②	非結核性<非定型>抗酸菌症	1451, 219	M. avium M. intracellulare M. kansasii	3	2	1	0	5	1	1	2	1	33
405	IV　呼吸・胸壁	1	感染性呼吸器疾患	E	ウイルス	①	インフルエンザ、サイトメガロウイルス肺炎	1385		6	0	0	0	16	3	6	5	2	インフルエンザ8、サイトメガロウイルス肺炎
406	IV　呼吸・胸壁	1	感染性呼吸器疾患	F	寄生虫症	①	吸虫症、線虫症	1464		0	1	5	0	1			1		0
407	IV　呼吸・胸壁	1	感染性呼吸器疾患	G	胸膜・縦隔の感染症	①	胸膜炎		細菌性、結核性	3	2	1	0	5	4	1			3
408	IV　呼吸・胸壁	1	感染性呼吸器疾患	G	胸膜・縦隔の感染症	②	膿胸			0	5	1	0	7	2	1	2	2	3
409	IV　呼吸・胸壁	1	感染性呼吸器疾患	G	胸膜・縦隔の感染症	③	縦隔炎		降下性縦隔炎	0	2	4	0	4	1		2	1	0
410	IV　呼吸・胸壁	2	気管・気管支・肺の形態・機能異常、外傷	A	気管・気管支の異常	①	気管支拡張症		Kartagener症候群	4	2	0	0	3	1		2		16
411	IV　呼吸・胸壁	2	気管・気管支・肺の形態・機能異常、外傷	A	気管・気管支の異常	②	びまん性汎細気管支炎			5	0	0	0	6	3	1	1	1	0
412	IV　呼吸・胸壁	2	気管・気管支・肺の形態・機能異常、外傷	A	気管・気管支の異常	③	閉塞性細気管支炎			4	1	0	0	0					0
413	IV　呼吸・胸壁	2	気管・気管支・肺の形態・機能異常、外傷	A	気管・気管支の異常	④	気管・気管支の狭窄・閉塞			1	4	1	0	0					0
414	IV　呼吸・胸壁	2	気管・気管支・肺の形態・機能異常、外傷	A	気管・気管支の異常	⑤	気道異物			4	1	1	0	5	1		2	2	0
415	IV　呼吸・胸壁	2	気管・気管支・肺の形態・機能異常、外傷	B	肺の異常	①	気腫性嚢胞<ブラ、ブレブ>			2	2	1	0	0					1
416	IV　呼吸・胸壁	2	気管・気管支・肺の形態・機能異常、外傷	B	肺の異常	②	無気肺			2	3	1	0	7	1	1	4	1	0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
417	IV　呼吸・胸壁	2	気管・気管支・肺の形態・機能異常、外傷	B	肺の異常	③	肺形成不全			0	1	5	0	0					0
418	IV　呼吸・胸壁	2	気管・気管支・肺の形態・機能異常、外傷	B	肺の異常	④	肺分画症			0	1	5	0	1		1			0
419	IV　呼吸・胸壁	2	気管・気管支・肺の形態・機能異常、外傷	C	気管支・肺の異常	①	慢性閉塞性肺疾患<COPD>		慢性気管支炎、肺気腫	5	0	0	0	32	6	7	11	8	92
420	IV　呼吸・胸壁	2	気管・気管支・肺の形態・機能異常、外傷	D	外傷	①	気管・気管支損傷			0	3	3	0	0					0
421	IV　呼吸・胸壁	2	気管・気管支・肺の形態・機能異常、外傷	D	外傷	②	肺損傷			0	3	3	0	0					0
422	IV　呼吸・胸壁	3	免疫学的機序が考えられる肺疾患	A	アレルギー性疾患	①	気管支喘息、咳喘息	1330		6	0	0	0	53	18	12	15	8	1116
423	IV　呼吸・胸壁	3	免疫学的機序が考えられる肺疾患	A	アレルギー性疾患	②	好酸球性肺炎		急性、慢性	2	2	1	0	3		1	1	1	2
424	IV　呼吸・胸壁	3	免疫学的機序が考えられる肺疾患	A	アレルギー性疾患	③	アレルギー性気管支肺アスペルギルス症	1332		2	3	1	0	5	1	1	2	1	4
425	IV　呼吸・胸壁	3	免疫学的機序が考えられる肺疾患	A	アレルギー性疾患	④	過敏性肺炎	1333, 1508		2	4	0	0	9	4	1	3	1	1
426	IV　呼吸・胸壁	3	免疫学的機序が考えられる肺疾患	B	全身性疾患に伴う肺病変	①	膠原病および類縁疾患に伴う肺病変			1	2	3	0	0					1
427	IV　呼吸・胸壁	3	免疫学的機序が考えられる肺疾患	B	全身性疾患に伴う肺病変	②	サルコイドーシス	270, 1360		4	1	1	0	8	1	4	3		16
428	IV　呼吸・胸壁	3	免疫学的機序が考えられる肺疾患	B	全身性疾患に伴う肺病変	③	顕微鏡的多発血管炎[microscopic polyangiitis<MPA>]	795, 1341	ANCA関連血管炎	1	3	1	0	21		2	11	8	0
429	IV　呼吸・胸壁	3	免疫学的機序が考えられる肺疾患	B	全身性疾患に伴う肺病変	④	多発血管炎性肉芽腫症<Wegener肉芽腫症>	796, 1342	ANCA関連血管炎	1	3	1	0	3		2	1		0
430	IV　呼吸・胸壁	3	免疫学的機序が考えられる肺疾患	B	全身性疾患に伴う肺病変	⑤	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症<Churg-Strauss症候群>	1343		1	3	1	0	5	2	1	2		2
431	IV　呼吸・胸壁	3	免疫学的機序が考えられる肺疾患	B	全身性疾患に伴う肺病変	⑥	Langerhans細胞組織球症			0	2	3	0	0					0
432	IV　呼吸・胸壁	3	免疫学的機序が考えられる肺疾患	B	全身性疾患に伴う肺病変	⑦	アミロイドーシス	1363		1	2	3	0	0					3
433	IV　呼吸・胸壁	3	免疫学的機序が考えられる肺疾患	B	全身性疾患に伴う肺病変	⑧	悪性リンパ腫、白血病	359, 465, 615, 779, 986		1	4	1	0	14	5	4	3	2	悪性リンパ腫62、白血病31
433.5	IV　呼吸・胸壁	4	実質性・間質性肺障害	A	特発性間質性肺炎<IIPs>	KW	特発性間質性肺炎			0	0	0	0	4	1	1	1	1	0
434	IV　呼吸・胸壁	4	実質性・間質性肺障害	A	特発性間質性肺炎<IIPs>	①	特発性肺線維症<IPF>			3	3	0	0	22	5	4	6	7	17
435	IV　呼吸・胸壁	4	実質性・間質性肺障害	A	特発性間質性肺炎<IIPs>	②	非特異性間質性肺炎<NSIP>			0	3	2	0	0					40
436	IV　呼吸・胸壁	4	実質性・間質性肺障害	A	特発性間質性肺炎<IIPs>	③	特発性器質化肺炎<COP>			0	4	1	0	0					0
437	IV　呼吸・胸壁	4	実質性・間質性肺障害	B	IIPs以外の原因不明疾患	①	肺リンパ脈管筋腫症<LAM>			0	2	3	0	6	2	3		1	0
438	IV　呼吸・胸壁	4	実質性・間質性肺障害	B	IIPs以外の原因不明疾患	②	炎症性腫瘤			0	0	5	1	0					24
439	IV　呼吸・胸壁	4	実質性・間質性肺障害	C	医原性肺疾患及び化学物質による肺障害	①	薬剤性肺障害		分子標的薬	0	4	1	0	0					0
440	IV　呼吸・胸壁	4	実質性・間質性肺障害	C	医原性肺疾患及び化学物質による肺障害	②	化学薬品、重金属などによる肺障害			0	3	2	0	0					0
441	IV　呼吸・胸壁	4	実質性・間質性肺障害	C	医原性肺疾患及び化学物質による肺障害	③	酸素中毒			0	1	4	0	0					0
442	IV　呼吸・胸壁	4	実質性・間質性肺障害	C	医原性肺疾患及び化学物質による肺障害	④	パラコート中毒			0	2	3	0	0					0
443	IV　呼吸・胸壁	4	実質性・間質性肺障害	C	医原性肺疾患及び化学物質による肺障害	⑤	放射線肺炎			2	3	1	0	3			2	1	1
444	IV　呼吸・胸壁	4	実質性・間質性肺障害	D	急性呼吸不全	①	急性呼吸窮迫症候群<ARDS>			4	2	0	0	26	1	5	13	7	0
445	IV　呼吸・胸壁	4	実質性・間質性肺障害	E	じん肺症	①	珪肺<silicosis>			1	2	2	0	0					0
446	IV　呼吸・胸壁	4	実質性・間質性肺障害	E	じん肺症	②	石綿肺<asbestosis>			1	4	1	0	5	1	2	2		1

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
447	IV　呼吸・胸壁	4	実質性・間質性肺障害	F	先天異常・代謝異常に基づく疾患	①	肺胞微石症			0	1	4	0	0					0
448	IV　呼吸・胸壁	4	実質性・間質性肺障害	F	先天異常・代謝異常に基づく疾患	②	肺胞タンパク症			0	1	5	0	0					0
449	IV　呼吸・胸壁	5	肺循環異常	A	肺水腫	①	心原性肺水腫			4	0	1	0	6	4	1	1		0
450	IV　呼吸・胸壁	5	肺循環異常	A	肺水腫	②	透過性亢進型肺水腫			0	1	5	0	0					0
451	IV　呼吸・胸壁	5	肺循環異常	B	肺血栓塞栓症	①	急性肺血栓塞栓症			4	0	1	0	23	6	3	8	6	10
452	IV　呼吸・胸壁	5	肺循環異常	B	肺血栓塞栓症	②	慢性肺血栓塞栓症			1	3	2	0	2			2		0
452.5	IV　呼吸・胸壁	5	肺循環異常	C	肺高血圧症	KW	肺高血圧症			0	0	0	0	7	2		5		0
453	IV　呼吸・胸壁	5	肺循環異常	C	肺高血圧症	①	肺動脈性肺高血圧症		特発性、遺伝性、続発性	1	4	0	0	6		1	5		2
454	IV　呼吸・胸壁	5	肺循環異常	C	肺高血圧症	②	左心系疾患に伴う肺高血圧症			3	3	0	0	0					0
455	IV　呼吸・胸壁	5	肺循環異常	C	肺高血圧症	③	肺疾患あるいは低酸素血症に続発する肺高血圧症			0	5	0	0	0					5
456	IV　呼吸・胸壁	5	肺循環異常	D	肺性心	中	肺性心			4	1	1	0	0					10
457	IV　呼吸・胸壁	5	肺循環異常	E	肺動静脈瘻	中	肺動静脈瘻			0	3	3	0	1		1			0
458	IV　呼吸・胸壁	6	気管支・肺・胸膜・縦隔の腫瘍	A	肺悪性腫瘍	①	肺癌		腺癌、扁平上皮癌、小細胞癌、大細胞神経内分泌癌、カルチノイド、大細胞癌	5	1	0	0	65	11	18	23	13	167
459	IV　呼吸・胸壁	6	気管支・肺・胸膜・縦隔の腫瘍	A	肺悪性腫瘍	②	転移性肺腫瘍			3	3	0	0	0					10
460	IV　呼吸・胸壁	6	気管支・肺・胸膜・縦隔の腫瘍	B	他の気管支・肺腫瘍	①	良性肺腫瘍		過誤腫、硬化性血管腫	0	3	2	0	0					1
461	IV　呼吸・胸壁	6	気管支・肺・胸膜・縦隔の腫瘍	B	他の気管支・肺腫瘍	②	気管・気管支腫瘍			1	2	2	0	0					2
461.5	IV　呼吸・胸壁	6	気管支・肺・胸膜・縦	C	縦隔腫瘍	KW	縦隔腫瘍			0	0	0	0	10	3	1	5	1	3
462	IV　呼吸・胸壁	6	気管支・肺・胸膜・縦隔の腫瘍	C	縦隔腫瘍	①	胸腺腫瘍		重症筋無力症	2	2	2	0	9	2	2	2	3	0
463	IV　呼吸・胸壁	6	気管支・肺・胸膜・縦隔の腫瘍	C	縦隔腫瘍	②	神経原性腫瘍			0	2	3	0	0					0
464	IV　呼吸・胸壁	6	気管支・肺・胸膜・縦隔の腫瘍	C	縦隔腫瘍	③	胚細胞腫瘍	897, 985		0	2	3	0	4	1		3		0
465	IV　呼吸・胸壁	6	気管支・肺・胸膜・縦隔の腫瘍	C	縦隔腫瘍	④	悪性リンパ腫	359, 615, 779, 986, 433		3	3	0	0	14	5	4	3	2	0
466	IV　呼吸・胸壁	6	気管支・肺・胸膜・縦隔の腫瘍	C	縦隔腫瘍	⑤	嚢胞性腫瘍			1	1	3	1	0					0
467	IV　呼吸・胸壁	6	気管支・肺・胸膜・縦隔の腫瘍	D	胸膜腫瘍	①	胸膜中皮腫		胸膜プラーク	2	2	2	0	17	2	1	9	5	2
468	IV　呼吸・胸壁	6	気管支・肺・胸膜・縦隔の腫瘍	E	癌性胸膜炎	中	癌性胸膜炎			3	2	1	0	3	1	1	1		0
469	IV　呼吸・胸壁	6	気管支・肺・胸膜・縦隔の腫瘍	F	癌性リンパ管症	中	癌性リンパ管症			3	1	2	0	1	1				0
470	IV　呼吸・胸壁	7	胸膜・縦隔・横隔膜・胸郭の形態（他）	A	胸膜	①	気胸、緊張性気胸			6	0	0	0	36	8	11	11	6	気胸6、緊張性気胸0
471	IV　呼吸・胸壁	7	胸膜・縦隔・横隔膜・胸郭の形態（他）	A	胸膜	②	血胸			1	3	2	0	0					0
472	IV　呼吸・胸壁	7	胸膜・縦隔・横隔膜・胸郭の形態（他）	A	胸膜	③	乳び胸			1	2	3	0	3			1	2	0
473	IV　呼吸・胸壁	7	胸膜・縦隔・横隔膜・胸郭の形態（他）	B	縦隔	①	縦隔気腫、皮下気腫			2	4	0	0	1			1		0
474	IV　呼吸・胸壁	7	胸膜・縦隔・横隔膜・胸郭の形態（他）	B	縦隔	②	気管食道瘻、食道気管瘻			0	2	4	0	2		2			0
475	IV　呼吸・胸壁	7	胸膜・縦隔・横隔膜・胸郭の形態（他）	B	縦隔	③	上大静脈症候群			3	3	0	0	6	2	2	2		0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
476	IV　呼吸・胸壁	7	胸膜・縦隔・横隔膜・胸郭の形態（他）	B	縦隔	④	反回神経麻痺	323	嗄声	4	0	1	0	11	4	3	3	1	0
477	IV　呼吸・胸壁	7	胸膜・縦隔・横隔膜・胸郭の形態（他）	C	胸壁、横隔膜	①	肋骨骨折		flail　chest	4	0	1	0	2			1	1	27
478	IV　呼吸・胸壁	7	胸膜・縦隔・横隔膜・胸郭の形態（他）	C	胸壁、横隔膜	②	胸郭変形		漏斗胸	1	3	1	0	2		1	1		0
479	IV　呼吸・胸壁	7	胸膜・縦隔・横隔膜・胸郭の形態（他）	C	胸壁、横隔膜	③	横隔神経麻痺			1	2	2	0	1		1			0
480	IV　呼吸・胸壁	7	胸膜・縦隔・横隔膜・胸郭の形態（他）	C	胸壁、横隔膜	④	横隔膜ヘルニア	705		1	3	2	0	7	1	2	4		4
481	IV　呼吸・胸壁	7	胸膜・縦隔・横隔膜・胸郭の形態（他）	C	胸壁、横隔膜	⑤	横隔膜弛緩症	704		0	0	2	4	0					0
482	IV　呼吸・胸壁	8	呼吸調節異常	A	異常呼吸	①	睡眠時無呼吸症候群	555	中枢性、閉塞性	5	0	1	0	14	3	2	7	2	228
483	IV　呼吸・胸壁	8	呼吸調節異常	A	異常呼吸	②	過換気症候群			6	0	0	0	6	1	3	2		0
484	IV　呼吸・胸壁	8	呼吸調節異常	A	異常呼吸	③	肺胞低換気症候群		原発性、肥満	0	4	2	0	0					0
484.5	V　心臓・脈管	1	不整脈			KW	不整脈			0	0	0	0	11	2	4	1	4	0
485	V　心臓・脈管	1	不整脈	A	上室〔性〕頻脈性不整脈	①	上室期外収縮			5	0	0	0	0					0
486	V　心臓・脈管	1	不整脈	A	上室〔性〕頻脈性不整脈	②	発作性上室頻拍		カテーテルアブレーション	5	0	0	0	8	2	1	1	4	0
487	V　心臓・脈管	1	不整脈	A	上室〔性〕頻脈性不整脈	③	WPW症候群			2	3	0	0	6	1	1	2	2	0
488	V　心臓・脈管	1	不整脈	A	上室〔性〕頻脈性不整脈	④	心房粗動			5	0	0	0	0					231
489	V　心臓・脈管	1	不整脈	A	上室〔性〕頻脈性不整脈	⑤	心房細動		カテーテルアブレーション、Maze手術	5	0	0	0	29	4	4	15	6	361
490	V　心臓・脈管	1	不整脈	B	心室〔性〕頻脈性不整脈	①	心室期外収縮			5	0	0	0	3		2		1	0
491	V　心臓・脈管	1	不整脈	B	心室〔性〕頻脈性不整脈	②	心室頻拍		植込み型除細動器	5	0	0	0	4		1	2	1	0
492	V　心臓・脈管	1	不整脈	B	心室〔性〕頻脈性不整脈	③	心室細動			5	0	0	0	9	5	1	2	1	2
492.5	V　心臓・脈管	1	不整脈	C	徐脈性不整脈	KW	徐脈性不整脈、徐脈性心房細動			0	0	0	0	12	2	1	9		0
493	V　心臓・脈管	1	不整脈	C	徐脈性不整脈	①	洞不全症候群		ペースメーカ	5	0	0	0	1	1				25
494	V　心臓・脈管	1	不整脈	C	徐脈性不整脈	②	房室ブロック			5	0	0	0	10	3	2	4	1	22
494.5	V　心臓・脈管	1	不整脈	D	心臓〔性〕突然死をきた	KW	突然死			0	0	0	0	7	4	1	1	1	0
495	V　心臓・脈管	1	不整脈	D	心臓〔性〕突然死をきたす症候群	①	QT延長症候群		torsades　de　pointes	2	3	0	0	14	1	4	6	3	0
496	V　心臓・脈管	1	不整脈	D	心臓〔性〕突然死をきたす症候群	②	Brugada症候群			3	3	0	0	3	2			1	0
496.5	V　心臓・脈管	2	心不全			KW	心不全			0	0	0	0	34	4	10	15	5	0
497	V　心臓・脈管	2	心不全	A	心不全	①	左心不全			5	0	0	0	4	1	2	1		336
498	V　心臓・脈管	2	心不全	A	心不全	②	右心不全		肺高血圧症	5	0	0	0	7	2	3	1	1	7
499	V　心臓・脈管	2	心不全	A	心不全	③	急性心不全		慢性心不全の急性増悪	5	0	0	0	10	2		5	3	0
500	V　心臓・脈管	2	心不全	A	心不全	④	慢性心不全			5	0	0	0	4	1	2	1		0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
500.5	V　心臓・脈管					KW	ショック、出血性ショック、循環血液量減少性ショック、低容量性ショック、敗血症性ショック			0	0	0	0	66	8	21	25	12	0
501	V　心臓・脈管	2	心不全	B	心原性ショック	中	心原性ショック			5	0	0	0	7	1	2	2	2	0
501.5	V　心臓・脈管	3	先天性心疾患			KW	先天性心疾患			0	0	0	0	13	4	4	4	1	0
502	V　心臓・脈管	3	先天性心疾患	A	左右短絡疾患	①	心房中隔欠損症			3	2	1	0	5		1	2	2	7
503	V　心臓・脈管	3	先天性心疾患	A	左右短絡疾患	②	心室中隔欠損症			3	2	1	0	6	1	1	3	1	7
504	V　心臓・脈管	3	先天性心疾患	A	左右短絡疾患	③	房室中隔欠損症<心内膜床欠損症>			0	1	5	0	1			1		1
505	V　心臓・脈管	3	先天性心疾患	A	左右短絡疾患	④	動脈管開存症			2	3	1	0	7	2	2	2	1	2
506	V　心臓・脈管	3	先天性心疾患	B	右左短絡疾患	①	肺動脈閉鎖症		純型肺動脈閉鎖	0	1	5	0	3	1	1	1		1
507	V　心臓・脈管	3	先天性心疾患	B	右左短絡疾患	②	Fallot四徴症		Blalock-Taussig短絡手術	1	4	1	0	9	2	2	4	1	3
508	V　心臓・脈管	3	先天性心疾患	B	右左短絡疾患	③	三尖弁閉鎖症		Fontan手術	0	4	2	0	1	1				0
509	V　心臓・脈管	3	先天性心疾患	C	その他の複雑心奇形	①	Ebstein奇形			0	4	1	1	1			1		0
510	V　心臓・脈管	3	先天性心疾患	C	その他の複雑心奇形	②	完全大血管転位症		Rastelli手術、Jatene手術	0	4	1	1	1				1	0
511	V　心臓・脈管	3	先天性心疾患	C	その他の複雑心奇形	③	修正大血管転位症			0	2	3	1	0					0
512	V　心臓・脈管	3	先天性心疾患	C	その他の複雑心奇形	④	両大血管右室起始症			0	2	3	1	0					1
513	V　心臓・脈管	3	先天性心疾患	C	その他の複雑心奇形	⑤	大動脈縮窄症、大動脈離断症			0	3	2	1	2			1	1	1
514	V　心臓・脈管	3	先天性心疾患	C	その他の複雑心奇形	⑥	総肺静脈還流異常症			0	3	2	1	0					0
515	V　心臓・脈管	3	先天性心疾患	C	その他の複雑心奇形	⑦	部分肺静脈還流異常症		Scimitar症候群	0	2	2	2	0					0
516	V　心臓・脈管	3	先天性心疾患	C	その他の複雑心奇形	⑧	単心房、単心室		内臓心房錯位、無脾症、多脾症、Fontan手術	0	1	3	2	0					0
517	V　心臓・脈管	3	先天性心疾患	C	その他の複雑心奇形	⑨	総動脈幹症			0	2	2	2	0					0
518	V　心臓・脈管	4	弁膜症	A	僧帽弁疾患	①	僧帽弁狭窄症			5	1	0	0	7	4	1	2		3
519	V　心臓・脈管	4	弁膜症	A	僧帽弁疾患	②	僧帽弁閉鎖不全症		僧帽弁逸脱症候群	5	1	0	0	18	3	6	5	4	21
520	V　心臓・脈管	4	弁膜症	B	大動脈弁疾患	①	大動脈弁狭窄症			5	1	0	0	16	1	3	8	4	27
521	V　心臓・脈管	4	弁膜症	B	大動脈弁疾患	②	大動脈弁閉鎖不全症			5	1	0	0	13	6	1	3	3	12
522	V　心臓・脈管	4	弁膜症	C	その他	①	三尖弁閉鎖不全症			5	1	0	0	0					3
523	V　心臓・脈管	4	弁膜症	C	その他	②	連合弁膜症			2	3	1	0	0					1
524	V　心臓・脈管	4	弁膜症	C	その他	③	感染性心内膜炎			4	1	1	0	17	3	4	6	4	1
525	V　心臓・脈管	4	弁膜症	C	その他	④	リウマチ性心炎			0	1	5	0	0					0
525.5	V　心臓・脈管	5	虚血性心疾患	A	狭心症	KW	狭心症、虚血性心疾患			0	0	0	0	18	3	1	8	6	0
526	V　心臓・脈管	5	虚血性心疾患	A	狭心症	①	労作性狭心症		冠動脈バイパス術、経皮的冠動脈インターベンション	5	0	0	0	17	4	5	5	3	60

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
527	V　心臓・脈管	5	虚血性心疾患	A	狭心症	②	冠攣縮性狭心症			5	0	0	0	5	2	2	1		36
528	V　心臓・脈管	5	虚血性心疾患	B	急性冠症候群	①	急性心筋梗塞(ST上昇型・非ST上昇型心筋梗塞）、不安定狭心症		心筋梗塞後合併症、経皮的冠動脈インターベンション、冠動脈バイパス術	5	0	0	0	67	11	11	25	20	急性心筋梗塞35、不安定狭心症41
529	V　心臓・脈管	5	虚血性心疾患	B	急性冠症候群	②	心臓〔性〕突然死			4	1	0	0	0					0
530	V　心臓・脈管	5	虚血性心疾患	C	陳旧性心筋梗塞	中	陳旧性心筋梗塞		心室瘤	4	0	1	0	9	1		8		113
531	V　心臓・脈管	5	虚血性心疾患	D	無痛性虚血性心疾患	中	無痛性虚血性心疾患			3	1	2	0	0					4
532	V　心臓・脈管	5	虚血性心疾患	E	川崎病	中	川崎病	1383	冠動脈瘤	4	1	1	0	8	1	2	3	2	7
533	V　心臓・脈管	6	心筋・心膜疾患、心臓腫瘍、外傷	A	心筋炎	①	ウイルス性心筋炎			3	3	0	0	7			4	3	0
534	V　心臓・脈管	6	心筋・心膜疾患、心臓腫瘍、外傷	B	特発性心筋症	①	肥大型心筋症		心臓〔性〕突然死	4	1	1	0	7	1	3		3	17
535	V　心臓・脈管	6	心筋・心膜疾患、心臓腫瘍、外傷	B	特発性心筋症	②	拡張型心筋症		心臓移植	4	1	1	0	9	2	2	5		21
536	V　心臓・脈管	6	心筋・心膜疾患、心臓腫瘍、外傷	B	特発性心筋症	③	拘束型心筋症			2	3	1	0	0					0
537	V　心臓・脈管	6	心筋・心膜疾患、心臓腫瘍、外傷	C	二次性心筋疾患	①	心アミロイドーシス	546		1	4	1	0	6			5	1	0
538	V　心臓・脈管	6	心筋・心膜疾患、心臓腫瘍、外傷	C	二次性心筋疾患	②	心サルコイドーシス	537		1	3	1	0	6			5	1	0
539	V　心臓・脈管	6	心筋・心膜疾患、心臓腫瘍、外傷	C	二次性心筋疾患	③	アルコール性心筋症			0	4	1	0	0					0
540	V　心臓・脈管	6	心筋・心膜疾患、心臓腫瘍、外傷	C	二次性心筋疾患	④	虚血性心筋症			0	4	1	0	1			1		0
541	V　心臓・脈管	6	心筋・心膜疾患、心臓腫瘍、外傷	C	二次性心筋疾患	⑤	筋ジストロフィー			0	1	4	1	0					6
542	V　心臓・脈管	6	心筋・心膜疾患、心臓腫瘍、外傷	D	心膜疾患	①	急性心膜炎			4	0	1	0	8	1	1	4	2	0
543	V　心臓・脈管	6	心筋・心膜疾患、心臓腫瘍、外傷	D	心膜疾患	②	Dressler症候群			0	2	4	0	0					2
544	V　心臓・脈管	6	心筋・心膜疾患、心臓腫瘍、外傷	D	心膜疾患	③	心嚢液貯留			2	2	2	0	1		1			0
545	V　心臓・脈管	6	心筋・心膜疾患、心臓腫瘍、外傷	D	心膜疾患	④	収縮性心膜炎			1	3	2	0	3		1		2	0
546	V　心臓・脈管	6	心筋・心膜疾患、心臓腫瘍、外傷	E	心タンポナーデ	中	心タンポナーデ			4	0	1	0	18	4	5	5	4	0
547	V　心臓・脈管	6	心筋・心膜疾患、心臓腫瘍、外傷	F	心臓腫瘍	①	粘液腫			1	2	3	0	3			3		0
548	V　心臓・脈管	6	心筋・心膜疾患、心臓腫瘍、外傷	F	心臓腫瘍	②	転移性腫瘍			1	0	4	1	2			2		0
549	V　心臓・脈管	6	心筋・心膜疾患、心臓腫瘍、外傷	G	外傷	①	心臓外傷			0	0	4	2	0					0
550	V　心臓・脈管	6	心筋・心膜疾患、心臓腫瘍、外傷	G	外傷	②	血管損傷			0	0	4	2	0					0
551	V　心臓・脈管	7	血圧異常	A	本態性高血圧	中	本態性高血圧			5	0	1	0	37	10	6	15	6	0
551.5	V　心臓・脈管	7	血圧異常	B	二次性高血圧	KW	二次性高血圧			0	0	0	0	3			2	1	0
552	V　心臓・脈管	7	血圧異常	B	二次性高血圧	①	腎実質性高血圧症			3	2	0	0	0					4
553	V　心臓・脈管	7	血圧異常	B	二次性高血圧	②	腎血管性高血圧症	803		3	2	0	0	7	1	5	1		1
554	V　心臓・脈管	7	血圧異常	B	二次性高血圧	③	内分泌性高血圧症		アルドステロン過剰症、Cushing症候群、褐色細胞腫、先端巨大症、甲状腺機能亢進症	3	2	0	0	9	1	1	5	2	1
555	V　心臓・脈管	7	血圧異常	B	二次性高血圧	④	睡眠時無呼吸症候群	482		4	0	1	0	14	3	2	7	2	228
556	V　心臓・脈管	7	血圧異常	C	高血圧緊急症	中	高血圧緊急症			4	0	1	0	0					0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
557	V　心臓・脈管	7	血圧異常	D	起立性低血圧	中	起立性低血圧		Shy-Drager症候群	3	2	1	0	10	5	1	1	3	10
558	V　心臓・脈管	8	脈管疾患	A	大動脈疾患	①	胸部大動脈瘤	560を参照		5	0	0	0	4	1	1		2	9
559	V　心臓・脈管	8	脈管疾患	A	大動脈疾患	②	腹部大動脈瘤		Leriche症候群	5	0	0	0	3	1	1		1	15
560	V　心臓・脈管	8	脈管疾患	A	大動脈疾患	③	胸腹部大動脈瘤	558を参照		5	0	0	0	0					1
561	V　心臓・脈管	8	脈管疾患	A	大動脈疾患	④	大動脈解離		DeBakey分類、Stanford分類	5	0	0	0	34	3	6	15	10	18
562	V　心臓・脈管	8	脈管疾患	A	大動脈疾患	⑤	高安動脈炎<大動脈炎症候群>	1340		2	3	0	0	2		1	1		3
563	V　心臓・脈管	8	脈管疾患	A	大動脈疾患	⑥	Marfan症候群	1294	大動脈弁輪拡張症、Bentall手術	0	5	1	0	16	6	3	6	1	0
564	V　心臓・脈管	8	脈管疾患	B	末梢動脈疾患	①	閉塞性動脈硬化症			3	2	0	0	9	3		5	1	0
565	V　心臓・脈管	8	脈管疾患	B	末梢動脈疾患	②	Buerger病			1	4	1	0	1	1				5
566	V　心臓・脈管	8	脈管疾患	B	末梢動脈疾患	③	Raynaud症候群			2	2	1	0	5	1	2	1	1	0
567	V　心臓・脈管	8	脈管疾患	B	末梢動脈疾患	④	急性動脈閉塞症		挫滅<圧挫>症候群<crush syndrome>	5	1	0	0	2				2	0
568	V　心臓・脈管	8	脈管疾患	C	静脈疾患	①	深部静脈血栓症[deep vein thrombosis<DVT>]		肺血栓塞栓症	3	1	1	0	20	4	1	9	6	0
569	V　心臓・脈管	8	脈管疾患	C	静脈疾患	②	Budd-Chiari症候群	636		0	2	3	0	0					0
570	V　心臓・脈管	8	脈管疾患	D	リンパ管疾患	①	リンパ浮腫			2	2	1	0	0					4
571	VI　消化器	1	食道疾患	A	機能異常	①	食道アカラシア			0	5	1	0	4	1	1	1	1	2
572	VI　消化器	1	食道疾患	B	炎症、感染症	①	胃食道逆流症<GERD>		Barrett上皮、Barrett食道	5	1	0	0	18	2	7	6	3	313
573	VI　消化器	1	食道疾患	B	炎症、感染症	②	逆流性食道炎、非びらん性胃食道逆流症<NERD>			5	0	0	0	0					4
574	VI　消化器	1	食道疾患	C	腫瘍	①	食道癌			6	0	0	0	16	3	4	6	3	0
575	VI　消化器	1	食道疾患	D	血管病変	①	食道静脈瘤		胃静脈瘤	4	2	0	0	12	4	4	3	1	2
576	VI　消化器	1	食道疾患	E	損傷、外傷	①	Mallory-Weiss症候群			3	1	1	0	4		1	2	1	1
577	VI　消化器	1	食道疾患	E	損傷、外傷	②	食道穿孔・破裂		Boerrhaave症候群	0	3	3	0	3	2		1		0
578	VI　消化器	2	胃・十二指腸疾患	A	形態異常	①	上腸間膜動脈性十二指腸閉塞症<上腸間膜動脈症候群>			2	3	1	0	0					0
579	VI　消化器	2	胃・十二指腸疾患	B	機能異常	①	機能性ディスペプシア<FD>			5	0	1	0	3			2	1	10
580	VI　消化器	2	胃・十二指腸疾患	B	機能異常	②	胃切除後症候群		ダンピング症候群	4	2	0	0	10	1	3	5	1	0
581	VI　消化器	2	胃・十二指腸疾患	C	炎症、感染症	①	急性胃炎、急性胃粘膜病変			5	0	0	0	0					25
582	VI　消化器	2	胃・十二指腸疾患	C	炎症、感染症	②	慢性胃炎		萎縮性胃炎、自己免疫性胃炎(A型胃炎)	5	0	0	0	2		1	1		527
582.5	VI　消化器					KW	消化管出血			0	0	0	0	26	8	3	9	6	0
583	VI　消化器	2	胃・十二指腸疾患	C	炎症、感染症	③	消化性潰瘍(胃潰瘍、十二指腸潰瘍)			5	0	0	0	27	8	3	14	2	225
584	VI　消化器	2	胃・十二指腸疾患	C	炎症、感染症	④	ヘリコバクター・ピロリ感染症	1426		6	0	0	0	11	2	1	5	3	0
585	VI　消化器	2	胃・十二指腸疾患	C	炎症、感染症	⑤	胃アニサキス症			3	1	1	0	1				1	0
586	VI　消化器	2	胃・十二指腸疾患	D	腫瘍	①	胃ポリープ		胃底腺ポリープ、過形成性ポリープ	3	1	1	0	8			4	4	17

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
587	VI　消化器	2	胃・十二指腸疾患	D	腫瘍	②	胃腺腫			0	3	3	0	3	1		2		0
588	VI　消化器	2	胃・十二指腸疾患	D	腫瘍	③	胃癌		スキルス型胃癌	6	0	0	0	29	3	10	10	6	195
589	VI　消化器	2	胃・十二指腸疾患	D	腫瘍	④	十二指腸腫瘍		十二指腸腺腫・癌、十二指腸乳頭部腫瘍	1	3	2	0	3		1	1	1	14
590	VI　消化器	3	小腸・結腸疾患	A	機能異常	①	吸収不良症候群		短腸症候群	2	3	1	0	5	1	2		2	0
591	VI　消化器	3	小腸・結腸疾患	A	機能異常	②	便秘症			4	2	0	0	3			2	1	5
592	VI　消化器	3	小腸・結腸疾患	A	機能異常	③	過敏性腸症候群			6	0	0	0	6	2	1	3		59
593	VI　消化器	3	小腸・結腸疾患	B	炎症、感染症	①	感染性腸炎		感染性胃腸炎、感染性大腸炎	6	0	0	0	12	5		6	1	22
594	VI　消化器	3	小腸・結腸疾患	B	炎症、感染症	②	虫垂炎		McBurney圧痛点、Lanz圧痛点	6	0	0	0	14	3		6	5	6
595	VI　消化器	3	小腸・結腸疾患	B	炎症、感染症	③	薬物性腸炎		偽膜性腸炎、出血性腸炎	3	1	2	0	12	2	1	8	1	0
596	VI　消化器	3	小腸・結腸疾患	B	炎症、感染症	④	放射線性腸炎			1	2	3	0	0					1
597	VI　消化器	3	小腸・結腸疾患	B	炎症、感染症	⑤	Crohn病			4	2	0	0	14	6	3	5		23
598	VI　消化器	3	小腸・結腸疾患	B	炎症、感染症	⑥	潰瘍性大腸炎			4	2	0	0	12	3	4	4	1	90
599	VI　消化器	3	小腸・結腸疾患	B	炎症、感染症	⑦	腸結核			0	1	5	0	1	1				0
600	VI　消化器	3	小腸・結腸疾患	C	腫瘍	①	小腸癌			0	1	1	4	0					5
601	VI　消化器	3	小腸・結腸疾患	C	腫瘍	②	大腸ポリープ、大腸腺腫			3	1	1	0	4		1	3		114
602	VI　消化器	3	小腸・結腸疾患	C	腫瘍	③	結腸癌			6	0	0	0	32	7	6	12	7	196
603	VI　消化器	3	小腸・結腸疾患	D	血管病変	①	虚血性大腸炎			4	1	1	0	16	3	4	7	2	6
604	VI　消化器	3	小腸・結腸疾患	D	血管病変	②	血管形成異常<angiodysplasia>			0	0	5	0	0					0
605	VI　消化器	4	直腸・肛門疾患	A	形態異常	①	直腸脱			0	3	2	0	2		2			3
606	VI　消化器	4	直腸・肛門疾患	B	炎症、感染症	①	肛門周囲膿瘍、痔瘻			5	1	0	0	7	3	1	1	2	13
607	VI　消化器	4	直腸・肛門疾患	C	腫瘍	①	直腸癌			6	0	0	0	0					93
608	VI　消化器	4	直腸・肛門疾患	C	腫瘍	②	肛門癌、肛門管癌			0	4	2	0	1		1			1
609	VI　消化器	4	直腸・肛門疾患	D	血管病変	①	痔核			4	2	0	0	5	2	1	1	1	95
610	VI　消化器	4	直腸・肛門疾患	E	損傷、外傷	①	裂肛			2	3	1	0	1			1		9
611	VI　消化器	5	消化管共通疾患	A	炎症、感染症	①	抗血小板薬による粘膜障害			0	3	2	0	0					0
612	VI　消化器	5	消化管共通疾患	A	炎症、感染症	②	消化管アレルギー、好酸球性胃腸炎、好酸球性食道炎			0	3	2	1	0					0
613	VI　消化器	5	消化管共通疾患	A	炎症、感染症	③	消化管Behçet			1	2	3	0	0					0
614	VI　消化器	5	消化管共通疾患	B	腫瘍	①	消化管神経内分泌腫瘍		消化管カルチノイド[Neuroendocrine tumor <NET>]	0	1	5	0	0					0
615	VI　消化器	5	消化管共通疾患	B	腫瘍	②	悪性リンパ腫	359, 465, 779, 986, 433	粘膜関連リンパ組織<MALT>リンパ腫	1	4	1	0	14	5	4	3	2	0
616	VI　消化器	5	消化管共通疾患	B	腫瘍	③	消化管粘膜下腫瘍<SMT>		gastrointestinal stromal tumor<GIST>、筋腫、脂肪腫、血管腫	1	4	1	0	10	3	3	2	2	0
617	VI　消化器	5	消化管共通疾患	B	腫瘍	④	消化管ポリポーシス		家族性腺腫性ポリポーシス<FAP>、Turcot症候群、Peutz-Jeghers症候群、Gardner症候群	0	3	2	0	1			1		0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
618	VI　消化器	5	消化管共通疾患	C	代謝性疾患	①	消化管アミロイドーシス			1	1	4	0	0					0
619	VI　消化器	5	消化管共通疾患	D	形態異常	①	食道憩室、胃憩室、十二指腸憩室、Meckel憩室、大腸憩室		憩室炎、憩室出血	3	1	1	0	14	2	3	8	1	17
620	VI　消化器	5	消化管共通疾患	E	血管性病変	①	虚血性小腸炎・大腸炎		胃前庭部毛細血管拡張症<GAVE>	4	0	1	0	0					0
621	VI　消化器	6	肝疾患	A	形態異常	①	肝嚢胞			1	2	3	0	4			4		0
622	VI　消化器	6	肝疾患	B	炎症、感染症	①	急性肝炎		A型肝炎、B型肝炎、C型肝炎、D型肝炎、E型肝炎	6	0	0	0	21	4	7	5	5	12
623	VI　消化器	6	肝疾患	B	炎症、感染症	②	劇症肝炎		B型肝炎ウイルスの再活性化	4	1	1	0	4	1	1	1	1	0
624	VI　消化器	6	肝疾患	B	炎症、感染症	③	慢性肝炎		B型肝炎、C型肝炎	5	1	0	0	9	3	2	4		208
625	VI　消化器	6	肝疾患	B	炎症、感染症	④	肝硬変		特発性細菌性腹膜炎	6	0	0	0	37	10	16	7	4	69
626	VI　消化器	6	肝疾患	B	炎症、感染症	⑤	原発性胆汁性肝硬変<原発性胆汁性胆管炎>		肝内胆汁うっ滞	2	2	1	0	10	5	1	2	2	18
627	VI　消化器	6	肝疾患	B	炎症、感染症	⑥	自己免疫性肝炎			1	2	3	0	1			1		15
628	VI　消化器	6	肝疾患	B	炎症、感染症	⑦	薬物性肝障害		細胞障害型、胆汁うっ滞型	2	2	1	0	0					1
629	VI　消化器	6	肝疾患	B	炎症、感染症	⑧	肝膿瘍		細菌性・アメーバ性肝膿瘍	1	5	0	0	8		1	6	1	2
630	VI　消化器	6	肝疾患	B	炎症、感染症	⑨	寄生虫性肝疾患		肝包虫症、日本住血吸虫症	0	3	2	0	0					0
631	VI　消化器	6	肝疾患	C	腫瘍	①	肝血管腫			1	4	1	0	2		1	1		0
632	VI　消化器	6	肝疾患	C	腫瘍	②	肝細胞癌			6	0	0	0	28	6	7	11	4	51
633	VI　消化器	6	肝疾患	C	腫瘍	③	肝内胆管癌			4	0	1	0	3		2	1		4
634	VI　消化器	6	肝疾患	C	腫瘍	④	転移性肝癌			5	1	0	0	6	1	1	2	2	0
635	VI　消化器	6	肝疾患	D	血管病変	①	門脈圧亢進症		特発性門脈圧亢進症、肝外門脈閉塞症	5	0	1	0	3		1	1	1	1
636	VI　消化器	6	肝疾患	D	血管病変	②	Budd-Chiari症候群	569		0	3	3	0	0					0
637	VI　消化器	6	肝疾患	E	代謝性疾患	①	ビリルビン代謝の異常		Gilbert症候群、Dubin-Johnson症候群、Rotor症候群	3	2	1	0	9	1		7	1	0
638	VI　消化器	6	肝疾患	E	代謝性疾患	②	脂肪肝		非アルコール性脂肪性肝疾患<NAFLD>、非アルコール性脂肪性肝炎<NASH>	4	1	1	0	14	4	4	5	1	24
639	VI　消化器	6	肝疾患	E	代謝性疾患	③	アルコール性肝障害		アルコール性肝炎	3	2	1	0	7	2	1	2	2	37
640	VI　消化器	6	肝疾患	E	代謝性疾患	④	ヘモクロマトーシス	1290		0	1	5	0	0					1
641	VI　消化器	6	肝疾患	E	代謝性疾患	⑤	Wilson病	1291		0	1	5	0	3	1	1	1		0
642	VI　消化器	7	胆道疾患	A	形態異常	①	先天性胆道拡張症			0	1	5	0	5	2		2	1	0
643	VI　消化器	7	胆道疾患	A	形態異常	②	膵・胆管合流異常症			0	1	5	0	0					0
644	VI　消化器	7	胆道疾患	B	炎症、感染症	①	胆嚢炎			4	1	0	0	11	2	2	6	1	16
645	VI　消化器	7	胆道疾患	B	炎症、感染症	②	胆管炎		Charcot 3徴、Reynolds 5徴、急性閉塞性化膿性胆管炎	5	0	0	0	11	2	3	3	3	28
646	VI　消化器	7	胆道疾患	B	炎症、感染症	③	原発性硬化性胆管炎			0	1	5	0	2	1			1	0
647	VI　消化器	7	胆道疾患	C	腫瘍	①	胆嚢ポリープ			3	2	1	0	4	2	1	1		0
648	VI　消化器	7	胆道疾患	C	腫瘍	②	胆嚢腺筋腫症			1	4	1	0	1	1				0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
649	VI　消化器	7	胆道疾患	C	腫瘍	③	胆嚢癌、胆管癌			3	1	1	0	22	1	3	11	7	胆嚢癌4、胆管癌0
650	VI　消化器	7	胆道疾患	D	代謝性疾患	①	胆石症			5	0	0	0	23	6	5	8	4	41
651	VI　消化器	8	膵疾患	A	炎症、感染症	①	急性膵炎		重症急性膵炎、被包化膵臓壊死<WON>、仮性嚢胞	6	0	0	0	18	7	2	4	5	8
652	VI　消化器	8	膵疾患	A	炎症、感染症	②	慢性膵炎・膵石症			4	1	0	0	5	1	2	1	1	慢性膵炎31・膵石症0
653	VI　消化器	8	膵疾患	A	炎症、感染症	③	自己免疫性膵炎			1	4	1	0	3		2		1	0
653.5	VI　消化器	8	膵疾患	B	腫瘍	KW	膵腫瘍			0	0	0	0	3	2		1		0
654	VI　消化器	8	膵疾患	B	腫瘍	①	膵嚢胞性腫瘍		膵管内乳頭粘液性腫瘍<IPMN>、粘液性嚢胞腫瘍<MCN>	1	2	2	0	17	3	4	5	5	11
655	VI　消化器	8	膵疾患	B	腫瘍	②	膵神経内分泌腫瘍	1255	インスリノーマ、グルカゴノーマ、ガストリノーマ<Zollinger-Ellison症候群>	0	3	3	0	8	3	3	1	1	1
656	VI　消化器	8	膵疾患	B	腫瘍	③	膵癌			5	1	0	0	11	3	3	2	3	51
657	VI　消化器	9	横 隔膜 ・腹 膜・腹壁疾患	A	形態異常	①	食道裂孔ヘルニア			3	2	1	0	1	1				0
658	VI　消化器	9	横 隔膜 ・腹 膜・腹壁疾患	A	形態異常	②	鼠径ヘルニア	707を参照		4	1	1	0	12	2	4	4	2	21
659	VI　消化器	9	横 隔膜 ・腹 膜・腹壁疾患	A	形態異常	③	大腿ヘルニア			2	2	1	0	4	1	1	1	1	0
660	VI　消化器	9	横 隔膜 ・腹 膜・腹壁疾患	A	形態異常	④	閉鎖孔ヘルニア			1	5	0	0	6		2	4		0
661	VI　消化器	9	横 隔膜 ・腹 膜・腹壁疾患	A	形態異常	⑤	腹壁瘢痕ヘルニア			1	5	0	0	2		1	1		0
662	VI　消化器	9	横 隔膜 ・腹 膜・腹壁疾患	B	炎症、感染症	①	細菌性腹膜炎			2	2	1	0	0					1
663	VI　消化器	9	横 隔膜 ・腹 膜・腹壁疾患	B	炎症、感染症	②	横隔膜下・Douglas窩膿瘍			2	1	3	0	0					0
664	VI　消化器	9	横 隔膜 ・腹 膜・腹壁疾患	C	腫瘍	①	癌性腹膜炎			5	0	1	0	1			1		0
665	VI　消化器	9	横 隔膜 ・腹 膜・腹壁疾患	C	腫瘍	②	腹膜中皮腫			0	1	4	0	0					0
666	VI　消化器	9	横 隔膜 ・腹 膜・腹壁疾患	C	腫瘍	③	腹膜偽粘液腫	907		0	0	4	2	2		1	1		0
667	VI　消化器	9	横 隔膜 ・腹 膜・腹壁疾患	C	腫瘍	④	後腹膜腫瘍			0	2	3	0	0					2
667.5	VI　消化器	10	急性腹症			KW	腸閉塞、急性腹症			0	0	0	0	32	7	5	12	8	0
668	VI　消化器	10	急性腹症	A	形態異常	①	単純性イレウス			5	0	0	0	6	2	3	1		1
669	VI　消化器	10	急性腹症	A	形態異常	②	腸管軸捻転症			5	0	1	0	5	1	1	1	2	0
670	VI　消化器	10	急性腹症	B	機能異常	①	麻痺性イレウス			3	1	1	0	2			1	1	1
671	VI　消化器	10	急性腹症	C	炎症、感染症	①	急性腹膜炎			3	2	0	0	4	2		2		2
672	VI　消化器	10	急性腹症	D	血管病変	①	腸間膜動脈閉塞症、非閉塞性腸管虚血症<NOMI>			5	0	1	0	4		1	3		0
673	VI　消化器	10	急性腹症	D	血管病変	②	腸間膜静脈血栓症			1	2	3	0	1			1		0
674	VI　消化器	10	急性腹症	D	血管病変	③	嵌頓ヘルニア			4	2	0	0	5	2	1	1	1	0
675	VI　消化器	10	急性腹症	D	血管病変	④	絞扼性イレウス			3	2	1	0	7		2	5		11
676	VI　消化器	10	急性腹症	E	損傷、外傷	①	消化管穿孔			4	1	1	0	4	1		2	1	5
677	VI　消化器	11	損傷、異物	A	外傷	①	腹部外傷			3	2	1	0	8	5	3			0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
678	VI　消化器	11	損傷、異物	B	損傷	①	消化管損傷			2	2	2	0	0					0
679	VI　消化器	11	損傷、異物	B	損傷	②	肝損傷			3	2	1	0	6	3	2		1	0
680	VI　消化器	11	損傷、異物	B	損傷	③	胆道損傷			0	3	1	1	0					0
681	VI　消化器	11	損傷、異物	B	損傷	④	膵損傷			0	3	2	0	0					0
682	VI　消化器	11	損傷、異物	B	損傷	⑤	脾損傷			1	2	3	0	0					0
683	VI　消化器	11	損傷、異物	B	損傷	⑥	横隔膜損傷			0	2	4	0	0					0
684	VI　消化器	11	損傷、異物	C	異物	①	消化管異物		食道異物	5	0	1	0	4	2		1	1	0
685	VI　消化器	12	その他の重要な小児領域の疾患	A	食道の異常	①	先天性食道閉鎖症		Gross分類	0	3	3	0	1	1				1
686	VI　消化器	12	その他の重要な小児領域の疾患	B	胃・十二指腸の異常	①	肥厚性幽門狭窄症		Ramstedt手術	3	1	2	0	6	1	1	3	1	0
687	VI　消化器	12	その他の重要な小児領域の疾患	B	胃・十二指腸の異常	②	新生児胃穿孔・破裂			0	1	4	1	0					0
688	VI　消化器	12	その他の重要な小児領域の疾患	B	胃・十二指腸の異常	③	先天性十二指腸閉鎖・狭窄症		ダブルバブルサイン	0	1	4	1	3		2	1		0
689	VI　消化器	12	その他の重要な小児領域の疾患	C	小腸・結腸の異常	①	先天性小腸狭窄・閉鎖症			0	1	4	1	1	1				0
690	VI　消化器	12	その他の重要な小児領域の疾患	C	小腸・結腸の異常	②	胎便性腹膜炎			0	1	5	0	0					0
691	VI　消化器	12	その他の重要な小児領域の疾患	C	小腸・結腸の異常	③	腸回転異常症		中腸軸捻転	0	1	5	0	3		1	2		2
692	VI　消化器	12	その他の重要な小児領域の疾患	C	小腸・結腸の異常	④	Hirschsprung病<先天性巨大結腸症、腸管無神経節症>			0	2	4	0	3		2	1		1
693	VI　消化器	12	その他の重要な小児領域の疾患	C	小腸・結腸の異常	⑤	乳児下痢症			2	4	0	0	4	1		3		0
694	VI　消化器	12	その他の重要な小児領域の疾患	C	小腸・結腸の異常	⑥	新生児壊死性腸炎			0	1	5	0	0					0
695	VI　消化器	12	その他の重要な小児領域の疾患	C	小腸・結腸の異常	⑦	腸重積症		カニ爪陰影欠損、target sign	4	2	0	0	6	3	1	2		0
696	VI　消化器	12	その他の重要な小児領域の疾患	D	直腸・肛門の異常	①	鎖肛			0	1	5	0	3			3		0
697	VI　消化器	12	その他の重要な小児領域の疾患	E	肝の異常	①	新生児肝炎			0	3	3	0	1			1		0
698	VI　消化器	12	その他の重要な小児領域の疾患	E	肝の異常	②	体質性黄疸	1289	Crigler-Najjar症候群	4	0	2	0	3			2	1	0
699	VI　消化器	12	その他の重要な小児領域の疾患	E	肝の異常	③	肝芽腫		α-フェトプロテイン<AFP>	0	1	5	0	1	1				0
700	VI　消化器	12	その他の重要な小児領域の疾患	F	胆道の異常	①	胆道閉鎖症		肝門部空腸吻合術	1	3	2	0	4	1	1	2		2
701	VI　消化器	12	その他の重要な小児領域の疾患	G	横隔膜・腹壁疾患	①	尿膜管遺残			0	3	3	0	0					0
702	VI　消化器	12	その他の重要な小児領域の疾患	G	横隔膜・腹壁疾患	②	臍帯ヘルニア			0	2	4	0	3			2	1	0
703	VI　消化器	12	その他の重要な小児領域の疾患	G	横隔膜・腹壁疾患	③	腹壁破裂			0	1	4	1	0					0
704	VI　消化器	12	その他の重要な小児領域の疾患	G	横隔膜・腹壁疾患	④	横隔膜弛緩症	481		0	0	3	2	0					0
705	VI　消化器	12	その他の重要な小児領域の疾患	G	横隔膜・腹壁疾患	⑤	横隔膜ヘルニア	480	Bochdalekヘルニア	0	3	3	0	7	1	2	4		4
706	VI　消化器	12	その他の重要な小児領域の疾患	G	横隔膜・腹壁疾患	⑥	臍ヘルニア			1	4	1	0	2	1		1		4
707	VI　消化器	12	その他の重要な小児領域の疾患	G	横隔膜・腹壁疾患	⑦	鼠径ヘルニア	658を参照		3	3	0	0	0					21
708	VI　消化器	12	その他の重要な小児領域の疾患	G	横隔膜・腹壁疾患	⑧	精巣水瘤			1	3	2	0	1			1		4

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
708.5	VII　血液	1	赤血球系疾患			KW	貧血			0	0	0	0	23	3	5	11	4	0
709	VII　血液	1	赤血球系疾患	A	鉄代謝障害	①	鉄欠乏性貧血			6	0	0	0	11	2	5	2	2	103
710	VII　血液	1	赤血球系疾患	A	鉄代謝障害	②	鉄過剰症		ヘモクロマトーシス、ヘモジデローシス	0	1	5	0	0					1
710.5	VII　血液	1	赤血球系疾患	B	巨赤芽球性貧血	KW	巨赤芽球性貧血、大球性貧血			0	0	0	0	11	1	2	7	1	0
711	VII　血液	1	赤血球系疾患	B	巨赤芽球性貧血	①	ビタミンB_{12}欠乏性貧血	1027	悪性貧血	4	1	1	0	13		1	6	6	3
712	VII　血液	1	赤血球系疾患	B	巨赤芽球性貧血	②	葉酸欠乏性貧血			2	2	2	0	1			1		2
712.5	VII　血液	1	赤血球系疾患	C	溶血性貧血	KW	溶血性貧血			0	0	0	0	11	1	5	5		0
713	VII　血液	1	赤血球系疾患	C	溶血性貧血	①	自己免疫性溶血性貧血			2	4	0	0	6	2	1	2	1	3
714	VII　血液	1	赤血球系疾患	C	溶血性貧血	②	冷式抗体による溶血性貧血		寒冷凝集素症、発作性寒冷血色素尿症	0	3	3	0	2	1			1	0
715	VII　血液	1	赤血球系疾患	C	溶血性貧血	③	遺伝性球状赤血球症	773		1	2	3	0	5	3	1	1		0
716	VII　血液	1	赤血球系疾患	C	溶血性貧血	④	赤血球破砕症候群			2	2	1	0	0					0
717	VII　血液	1	赤血球系疾患	C	溶血性貧血	⑤	薬剤誘発免疫性溶血性貧血			1	3	1	0	0					0
718	VII　血液	1	赤血球系疾患	D	造血不全症	①	発作性夜間ヘモグロビン尿症		GPIアンカータンパク	1	3	2	0	5		1	3	1	1
719	VII　血液	1	赤血球系疾患	D	造血不全症	②	再生不良性貧血		Fanconi貧血	3	3	0	0	10	1	2	6	1	1
720	VII　血液	1	赤血球系疾患	D	造血不全症	③	赤芽球癆		Diamond-Blackfan症候群	0	2	4	0	2			2		0
721	VII　血液	1	赤血球系疾患	D	造血不全症	④	骨髄異形成症候群<MDS>		後天性鉄芽球性貧血	1	5	0	0	8	2	2	4		14
721.5	VII　血液	1	赤血球系疾患	E	二次性貧血	KW	二次性貧血			0	0	0	0	5	1	2	1	1	0
722	VII　血液	1	赤血球系疾患	E	二次性貧血	①	慢性疾患に伴う貧血<ACD>			3	0	2	0	0					0
723	VII　血液	1	赤血球系疾患	E	二次性貧血	②	腎性貧血、内分泌異常による貧血	831		3	1	2	0	2		2			0
724	VII　血液	1	赤血球系疾患	F	出血性貧血	中	出血性貧血			4	1	1	0	0					0
725	VII　血液	1	赤血球系疾患	G	メトヘモグロビン血症	中	メトヘモグロビン血症			1	1	4	0	0					0
726	VII　血液	1	赤血球系疾患	H	二次性赤血球増加症	中	二次性赤血球増加症		エリスロポエチン産生過剰	0	1	5	0	1			1		3
727	VII　血液	2	白血球系疾患とその他の骨髄性疾患	A	無顆粒球症	①	薬剤性無顆粒球症			3	2	1	0	2		1	1		0
728	VII　血液	2	白血球系疾患とその他の骨髄性疾患	B	好中球機能異常症	①	慢性肉芽腫症	1375		0	2	4	0	5	1		4		0
729	VII　血液	2	白血球系疾患とその他の骨髄性疾患	B	好中球機能異常症	②	Chédiak-Higashi症候群	1374		0	0	5	1	0					0
729.5	VII　血液	2	白血球系疾患とその他の骨髄性疾患			KW	急性白血病			0	0	0	0	4	1	1	1	1	0
730	VII　血液	2	白血球系疾患とその他の骨髄性疾患	C	骨髄系腫瘍	①	急性骨髄性白血病		二次性白血病<治療関連白血病>	5	1	0	0	9		4	2	3	0
731	VII　血液	2	白血球系疾患とその他の骨髄性疾患	C	骨髄系腫瘍	②	慢性骨髄性白血病		Philadelphia染色体、BCR-ABL融合遺伝子	4	2	0	0	13	1	4	5	3	12
732	VII　血液	2	白血球系疾患とその他の骨髄性疾患	C	骨髄系腫瘍	③	原発性骨髄線維症			2	2	2	0	5	1	1	2	1	0
733	VII　血液	2	白血球系疾患とその他の骨髄性疾患	C	骨髄系腫瘍	④	本態性血小板血症			0	2	4	0	3	1	1		1	0
734	VII　血液	2	白血球系疾患とその他の骨髄性疾患	C	骨髄系腫瘍	⑤	真性赤血球増加症		JAK2遺伝子変異	0	3	3	0	6	1	1	4		3

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
735	VII　血液	2	白血球系疾患とその他の骨髄性疾患	C	骨髄系腫瘍	⑥	慢性好酸球性白血病		好酸球増多症候群<HES>	1	2	2	1	0					0
736	VII　血液	2	白血球系疾患とその他の骨髄性疾患	D	類白血病反応	中	類白血病反応			0	3	3	0	0					0
737	VII　血液	3	リンパ系疾患	A	急性リンパ性白血病	中	急性リンパ性白血病			5	1	0	0	11	3	3	2	3	5
738	VII　血液	3	リンパ系疾患	B	Hodgkinリンパ腫	中	Hodgkinリンパ腫		Hodgkin細胞、Reed-Sternberg細胞	3	3	0	0	4	2		1	1	2
739	VII　血液	3	リンパ系疾患	C	成熟B細胞性腫瘍	①	慢性リンパ性白血病			3	2	1	0	2			1	1	2
740	VII　血液	3	リンパ系疾患	C	成熟B細胞性腫瘍	②	濾胞性リンパ腫			1	3	1	0	4			4		9
741	VII　血液	3	リンパ系疾患	C	成熟B細胞性腫瘍	③	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫			1	3	1	0	2			1	1	15
742	VII　血液	3	リンパ系疾患	C	成熟B細胞性腫瘍	④	Burkittリンパ腫			0	2	3	0	0					0
743	VII　血液	3	リンパ系疾患	C	成熟B細胞性腫瘍	⑤	粘膜関連リンパ組織<MALT>リンパ腫			0	4	1	0	0					3
744	VII　血液	3	リンパ系疾患	C	成熟B細胞性腫瘍	⑥	hairy cell leukemia			0	2	3	1	0					0
745	VII　血液	3	リンパ系疾患	C	成熟B細胞性腫瘍	⑦	多発性骨髄腫		Mタンパク、Bence　Jonesタンパク、続発性アミロイドーシス	3	3	0	0	18	1	4	7	6	25
746	VII　血液	3	リンパ系疾患	C	成熟B細胞性腫瘍	⑧	マクログロブリン血症		Waldenstrom、過粘稠度症候群<hyperviscosity症候群>	1	3	1	0	3		1	2		3
747	VII　血液	3	リンパ系疾患	C	成熟B細胞性腫瘍	⑨	意義不明の単クローン性免疫グロブリン血症[monoclonal gammopathy of undetermined			0	3	2	0	3		1	1	1	1
748	VII　血液	3	リンパ系疾患	D	成熟T細胞・NK細胞腫瘍	①	成人T細胞白血病			3	2	1	0	5	2		2	1	2
749	VII　血液	3	リンパ系疾患	D	成熟T細胞・NK細胞腫瘍	②	末梢T細胞性リンパ腫			1	3	2	0	0					1
750	VII　血液	3	リンパ系疾患	D	成熟T細胞・NK細胞腫瘍	③	菌状息肉症	187		0	0	5	0	1			1		2
751	VII　血液	3	リンパ系疾患	D	成熟T細胞・NK細胞腫瘍	④	Sézary症候群	188		0	0	5	0	0					0
752	VII　血液	3	リンパ系疾患	E	組織球および樹状細胞腫瘍	①	Langerhans細胞由来腫瘍			0	0	5	1	0					0
753	VII　血液	3	リンパ系疾患	F	血球貪食症候群<hemophagocytic syndrome>	①	血球貪食性リンパ組織球症[Hemophagocytic lymphohistiocytosis<HLH>]			1	0	4	0	7	2	1	3	1	0
754	VII　血液	3	リンパ系疾患	G	伝染性単核〔球〕症	中	伝染性単核〔球〕症		Epstein-Barr<EB>ウイルス感染症	4	1	1	0	16	5	3	4	4	1
754.5	VII　血液	4	出血性疾患と血栓傾向			KW	出血傾向、凝固異常、血小板減少			0	0	0	0	21	7	6	4	4	0
755	VII　血液	4	出血性疾患と血栓傾向	A	血小板の異常	①	免疫性血小板減少性紫斑病<ITP>	22	ヘリコバクター・ピロリ感染症	4	1	1	0	10	2	3	2	3	14
756	VII　血液	4	出血性疾患と血栓傾向	A	血小板の異常	②	二次性血小板減少症		脾機能亢進症、薬剤性	2	3	1	0	0					0
757	VII　血液	4	出血性疾患と血栓傾向	A	血小板の異常	③	血栓性血小板減少性紫斑病<TTP>		ADAMTS-13	3	1	1	0	6	1	2		3	0
758	VII　血液	4	出血性疾患と血栓傾向	A	血小板の異常	④	溶血性尿毒症症候群<HUS>	829	Vero毒素	3	2	1	0	9	3	3	1	2	0
759	VII　血液	4	出血性疾患と血栓傾向	A	血小板の異常	⑤	後天性血小板機能異常症			0	2	2	2	0					0
760	VII　血液	4	出血性疾患と血栓傾向	B	凝固因子の異常	①	血友病		第Ⅷ因子、第Ⅸ因子	3	2	1	0	5	2	1	2		2
761	VII　血液	4	出血性疾患と血栓傾向	B	凝固因子の異常	②	von Willebrand病			0	5	1	0	1	1				0
762	VII　血液	4	出血性疾患と血栓傾向	B	凝固因子の異常	③	循環抗凝固因子による出血傾向（後天性血友病、後天性von Willebrand病）			0	3	1	1	0					0
763	VII　血液	4	出血性疾患と血栓傾向	B	凝固因子の異常	④	播種性血管内凝固<DIC>	35を参照		6	0	0	0	13	2	3	3	5	1
764	VII　血液	4	出血性疾患と血栓傾向	B	凝固因子の異常	⑤	ビタミンK欠乏症	65, 776		2	3	1	0	8	5		2	1	0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
765	VII　血液	4	出血性疾患と血栓傾向	C	血管の異常による出血傾向	①	IgA血管炎<Schönlein-Henoch紫斑病>	1345		5	1	0	0	9	2	4	2	1	5
766	VII　血液	4	出血性疾患と血栓傾向	C	血管の異常による出血傾向	②	単純性紫斑			2	2	1	0	0					0
767	VII　血液	4	出血性疾患と血栓傾向	C	血管の異常による出血傾向	③	老人性紫斑			2	2	1	0	1		1			0
768	VII　血液	4	出血性疾患と血栓傾向	C	血管の異常による出血傾向	④	遺伝性出血性末梢血管拡張症<Osler病>			0	2	3	0	1	1				0
768.5	VII　血液	4	出血性疾患と血栓傾向	D	血栓性疾患	KW	血栓傾向			0	0	0	0	3	1		2		0
769	VII　血液	4	出血性疾患と血栓傾向	D	血栓性疾患	①	先天性血栓形成傾向		プロテインC・プロテイン S・アンチトロンビン欠乏症	0	1	5	0	0					0
770	VII　血液	4	出血性疾患と血栓傾向	D	血栓性疾患	②	後天性血栓形成傾向		抗リン脂質抗体症候群、血栓性血小板減少性紫斑病<TTP>、溶血性尿毒症症候群<HUS>	0	4	2	0	0					2
771	VII　血液	5	その他の重要な小児領域の疾患	A	小児血液疾患	①	異常ヘモグロビン症			0	1	4	0	0					0
772	VII　血液	5	その他の重要な小児領域の疾患	A	小児血液疾患	②	サラセミア			0	3	3	0	1				1	0
773	VII　血液	5	その他の重要な小児領域の疾患	A	小児血液疾患	③	遺伝性球状赤血球症	715		1	1	4	0	5	3	1	1		0
774	VII　血液	5	その他の重要な小児領域の疾患	A	小児血液疾患	④	赤血球酵素異常症			0	1	4	1	0					0
775	VII　血液	5	その他の重要な小児領域の疾患	A	小児血液疾患	⑤	先天性血小板機能異常症		血小板無力症、Bernard-Soulier症候群	0	2	3	1	0					0
776	VII　血液	5	その他の重要な小児領域の疾患	A	小児血液疾患	⑥	ビタミンK欠乏症	65, 764		3	1	2	0	8	5		2	1	0
777	VII　血液	5	その他の重要な小児領域の疾患	A	小児血液疾患	⑦	新生児出血性疾患			0	3	3	0	0					1
778	VII　血液	5	その他の重要な小児領域の疾患	B	小児造血器腫瘍	①	白血病			4	2	0	0	0					31
779	VII　血液	5	その他の重要な小児領域の疾患	B	小児造血器腫瘍	②	悪性リンパ腫	359, 465, 615, 986, 433		2	4	0	0	14	5	4	3	2	68
780	VIII　泌尿生殖	1	糸球体病変	A	糸球体腎炎	①	急性糸球体腎炎			6	0	0	0	6	3	2	1		0
781	VIII　泌尿生殖	1	糸球体病変	A	糸球体腎炎	②	急速進行性糸球体腎炎症候群		Goodpasture症候群、ANCA関連血管炎	5	1	0	0	7	1	1	3	2	0
782	VIII　泌尿生殖	1	糸球体病変	A	糸球体腎炎	③	慢性糸球体腎炎		IgA腎症	5	1	0	0	18	6	4	5	3	1
782.5	VIII　泌尿生殖	1	糸球体病変	B	原発性ネフローゼ症候群	KW	ネフローゼ症候群			0	0	0	0	18	3	7	5	3	0
783	VIII　泌尿生殖	1	糸球体病変	B	原発性ネフローゼ症候群	①	微小変化群		先天性ネフローゼ症候群	5	1	0	0	6		1	3	2	2
784	VIII　泌尿生殖	1	糸球体病変	B	原発性ネフローゼ症候群	②	巣状分節性糸球体硬化症			3	3	0	0	1			1		0
785	VIII　泌尿生殖	1	糸球体病変	B	原発性ネフローゼ症候群	③	膜性腎症			3	3	0	0	9	2	3	3	1	4
786	VIII　泌尿生殖	1	糸球体病変	B	原発性ネフローゼ症候群	④	膜性増殖性糸球体腎炎			3	3	0	0	5	2	1	2		0
787	VIII　泌尿生殖	1	糸球体病変	C	全身疾患に伴う腎疾患	①	糖尿病腎症	1266		5	0	0	0	18	4	4	6	4	344
788	VIII　泌尿生殖	1	糸球体病変	C	全身疾患に伴う腎疾患	②	アミロイド腎症			1	1	4	0	0					0
789	VIII　泌尿生殖	1	糸球体病変	C	全身疾患に伴う腎疾患	③	二次性膜性腎症			0	1	5	0	0					0
790	VIII　泌尿生殖	1	糸球体病変	C	全身疾患に伴う腎疾患	④	紫斑病性腎炎			1	0	4	0	0					0
791	VIII　泌尿生殖	1	糸球体病変	D	膠原病に伴う腎病変	①	全身性エリテマトーデス<SLE>	1334		2	4	0	0	28	6	3	15	4	40
792	VIII　泌尿生殖	1	糸球体病変	D	膠原病に伴う腎病変	②	全身性強皮症	1335		1	4	1	0	11	2		3	6	0
793	VIII　泌尿生殖	1	糸球体病変	D	膠原病に伴う腎病変	③	関節リウマチ	1121, 1338		3	3	0	0	37	4	9	10	14	370

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
794	VIII　泌尿生殖	1	糸球体病変	D	膠原病に伴う腎病変	④	結節性多発動脈炎	1337		2	2	2	0	1			1		3
795	VIII　泌尿生殖	1	糸球体病変	D	膠原病に伴う腎病変	⑤	顕微鏡的多発血管炎	1341, 428		1	3	2	0	21		2	11	8	4
796	VIII　泌尿生殖	1	糸球体病変	D	膠原病に伴う腎病変	⑥	多発血管炎性肉芽腫症<Wegener肉芽腫症>	429, 1342	ANCA関連血管炎	1	4	1	0	3		2	1		2
797	VIII　泌尿生殖	1	糸球体病変	E	無症候性血尿・タンパク尿症候群	①	無症候性血尿			3	1	1	0	1				1	0
798	VIII　泌尿生殖	1	糸球体病変	E	無症候性血尿・タンパク尿症候群	②	無症候性タンパク尿			3	1	1	0	0					0
799	VIII　泌尿生殖	1	糸球体病変	F	遺伝性腎炎	①	Alport症候群			0	1	4	1	0					0
800	VIII　泌尿生殖	1	糸球体病変	F	遺伝性腎炎	②	基底膜菲薄化症候群<良性家族性血尿>			0	2	2	2	0					0
801	VIII　泌尿生殖	1	糸球体病変	F	遺伝性腎炎	③	Fabry病			0	1	5	0	0					0
802	VIII　泌尿生殖	2	血管・尿細管・間質病変	A	腎血管疾患	①	高血圧性腎硬化症			4	0	1	0	0					0
803	VIII　泌尿生殖	2	血管・尿細管・間質病変	A	腎血管疾患	②	腎血管性高血圧症	553		4	1	0	0	7	1	5	1		1
804	VIII　泌尿生殖	2	血管・尿細管・間質病変	A	腎血管疾患	③	悪性腎硬化症、悪性高血圧症			3	2	0	0	2			1	1	0
805	VIII　泌尿生殖	2	血管・尿細管・間質病変	A	腎血管疾患	④	腎梗塞			2	2	1	0	2	1		1		0
806	VIII　泌尿生殖	2	血管・尿細管・間質病変	A	腎血管疾患	⑤	腎静脈血栓症			0	0	5	0	0					0
807	VIII　泌尿生殖	2	血管・尿細管・間質病変	A	腎血管疾患	⑥	腎皮質壊死			0	1	2	3	0					0
808	VIII　泌尿生殖	2	血管・尿細管・間質病変	A	腎血管疾患	⑦	コレステロール塞栓症			0	0	6	0	4	1	1	1	1	0
809	VIII　泌尿生殖	2	血管・尿細管・間質病変	B	尿細管間質疾患	①	急性尿細管壊死	827		3	2	1	0	1			1		0
810	VIII　泌尿生殖	2	血管・尿細管・間質病変	B	尿細管間質疾患	②	骨髄腫腎			0	3	3	0	1			1		0
811	VIII　泌尿生殖	2	血管・尿細管・間質病変	B	尿細管間質疾患	③	尿酸腎症<痛風腎>			0	4	2	0	0					0
812	VIII　泌尿生殖	2	血管・尿細管・間質病変	B	尿細管間質疾患	④	急性間質性腎炎		薬剤性	1	2	2	0	3		1	2		6
813	VIII　泌尿生殖	2	血管・尿細管・間質病変	B	尿細管間質疾患	⑤	慢性間質性腎炎			0	2	3	0	0					0
814	VIII　泌尿生殖	2	血管・尿細管・間質病変	B	尿細管間質疾患	⑥	Sjögren症候群	1357		1	3	1	0	8		2	4	2	32
815	VIII　泌尿生殖	2	血管・尿細管・間質病変	B	尿細管間質疾患	⑦	中毒性腎障害			0	3	3	0	0					0
816	VIII　泌尿生殖	2	血管・尿細管・間質病変	C	尿細管機能異常	①	腎性尿崩症			0	4	2	0	2			2		0
817	VIII　泌尿生殖	2	血管・尿細管・間質病変	C	尿細管機能異常	②	Fanconi症候群			0	2	4	0	5			3	2	0
818	VIII　泌尿生殖	2	血管・尿細管・間質病変	C	尿細管機能異常	③	尿細管性アシドーシス			2	4	0	0	2			2		0
819	VIII　泌尿生殖	2	血管・尿細管・間質病変	C	尿細管機能異常	④	シスチン尿症			0	2	2	2	0					0
820	VIII　泌尿生殖	2	血管・尿細管・間質病変	C	尿細管機能異常	⑤	家族性低リン血症性くる病			0	2	1	3	0					1
821	VIII　泌尿生殖	2	血管・尿細管・間質病変	C	尿細管機能異常	⑥	Bartter症候群			0	3	2	0	3		1	2		0
822	VIII　泌尿生殖	2	血管・尿細管・間質病変	C	尿細管機能異常	⑦	Gitelman症候群			0	2	1	2	3	1	2			0
823	VIII　泌尿生殖	2	血管・尿細管・間質病変	C	尿細管機能異常	⑧	Liddle症候群			0	2	2	1	0					0
824	VIII　泌尿生殖	2	血管・尿細管・間質病変	C	尿細管機能異常	⑨	特発性尿細管性タンパク尿<Dent病>			0	0	4	1	0					0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
825	VIII　泌尿生殖	2	血管・尿細管・間質病変	C	尿細管機能異常	⑩	家族性低尿酸血症			0	0	1	5	0					0
826	VIII　泌尿生殖	3	腎機能の障害による異常	A	急性腎障害<AKI>	①	急性腎不全（腎前性・腎性・腎後性）			3	0	2	0	33	8	6	9	10	3
827	VIII　泌尿生殖	3	腎機能の障害による異常	A	急性腎障害<AKI>	②	急性尿細管壊死	809		2	2	1	0	1			1		0
828	VIII　泌尿生殖	3	腎機能の障害による異常	A	急性腎障害<AKI>	③	横紋筋融解症			4	0	1	0	9	2	3	3	1	0
829	VIII　泌尿生殖	3	腎機能の障害による異常	A	急性腎障害<AKI>	④	溶血性尿毒症症候群<HUS>	758		4	1	1	0	9	3	3	1	2	0
830	VIII　泌尿生殖	3	腎機能の障害による異常	B	慢性腎臓病<CKD>	中	慢性腎臓病<CKD>		心腎連関	5	0	0	0	12	1		6	5	397
831	VIII　泌尿生殖	3	腎機能の障害による異常	C	慢性腎不全	①	腎性貧血	723		4	0	1	0	2		2			0
832	VIII　泌尿生殖	3	腎機能の障害による異常	C	慢性腎不全	②	ミネラル骨代謝異常<CKD-MBD>		腎性骨異栄養症<ROD>	0	3	2	0	0					0
833	VIII　泌尿生殖	3	腎機能の障害による異常	D	長期透析患者の合併症	①	透析アミロイドーシス			0	3	1	1	0					0
834	VIII　泌尿生殖	3	腎機能の障害による異常	E	水・電解質の異常	①	脱水と浮腫			4	0	1	0	42	5	12	18	7	11
835	VIII　泌尿生殖	3	腎機能の障害による異常	E	水・電解質の異常	②	ナトリウム代謝異常			3	1	1	0	15	5	4	5	1	2
836	VIII　泌尿生殖	3	腎機能の障害による異常	E	水・電解質の異常	③	カリウム代謝異常			4	0	1	0	26	6	6	10	4	6
837	VIII　泌尿生殖	3	腎機能の障害による異常	E	水・電解質の異常	④	カルシウム代謝異常			3	1	1	0	23	1	5	14	3	0
838	VIII　泌尿生殖	3	腎機能の障害による異常	E	水・電解質の異常	⑤	リン代謝異常			0	4	2	0	4			3	1	0
839	VIII　泌尿生殖	3	腎機能の障害による異常	E	水・電解質の異常	⑥	マグネシウム代謝異常			0	3	3	0	0					0
840	VIII　泌尿生殖	3	腎機能の障害による異常	F	酸塩基平衡の異常	①	アシドーシス			4	0	1	0	10	5	2	3		4
841	VIII　泌尿生殖	3	腎機能の障害による異常	F	酸塩基平衡の異常	②	アルカローシス			4	0	1	0	1			1		0
842	VIII　泌尿生殖	4	腎・尿路結石と尿路閉塞性疾患	A	結石症	①	腎結石、尿管結石		サンゴ状結石、エックス線陰性結石	5	0	0	0	12	2	3	5	2	腎結石22、尿管結石39
843	VIII　泌尿生殖	4	腎・尿路結石と尿路閉塞性疾患	A	結石症	②	膀胱結石、尿道結石			6	0	0	0	3		1	1	1	膀胱結石4、尿道結石0
844	VIII　泌尿生殖	4	腎・尿路結石と尿路閉塞性疾患	B	尿路閉塞性疾患	①	上部尿路閉塞性疾患		水腎症	5	0	1	0	12	1	4	4	3	10
845	VIII　泌尿生殖	4	腎・尿路結石と尿路閉塞性疾患	B	尿路閉塞性疾患	②	下部尿路閉塞性疾患			4	1	1	0	0					0
846	VIII　泌尿生殖	4	腎・尿路結石と尿路閉塞性疾患	C	その他の異常	①	神経因性膀胱			3	1	1	0	4	3		1		78
847	VIII　泌尿生殖	4	腎・尿路結石と尿路閉塞性疾患	C	その他の異常	②	膀胱尿管逆流症			2	2	1	0	4	2	1		1	1
848	VIII　泌尿生殖	5	腎・尿路・生殖器の炎症	A	腎・尿路の炎症	①	急性腎盂腎炎			6	0	0	0	14	1	5	5	3	0
849	VIII　泌尿生殖	5	腎・尿路・生殖器の炎症	A	腎・尿路の炎症	②	慢性腎盂腎炎			2	1	1	2	3				3	0
850	VIII　泌尿生殖	5	腎・尿路・生殖器の炎症	A	腎・尿路の炎症	③	腎膿瘍			1	4	1	0	0					0
851	VIII　泌尿生殖	5	腎・尿路・生殖器の炎症	A	腎・尿路の炎症	④	腎乳頭壊死			1	1	3	1	0					0
852	VIII　泌尿生殖	5	腎・尿路・生殖器の炎症	A	腎・尿路の炎症	⑤	膀胱炎		間質性膀胱炎	6	0	0	0	0					54
853	VIII　泌尿生殖	5	腎・尿路・生殖器の炎症	A	腎・尿路の炎症	⑥	尿道炎			4	0	1	0	6	3	2	1		6
854	VIII　泌尿生殖	5	腎・尿路・生殖器の炎症	B	男性生殖器の炎症	①	前立腺炎			4	0	1	0	8	5	2		1	16
855	VIII　泌尿生殖	5	腎・尿路・生殖器の炎症	B	男性生殖器の炎症	②	精巣上体炎			1	3	2	0	0					2

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
856	VIII　泌尿生殖	5	腎・尿路・生殖器の炎症	B	男性生殖器の炎症	③	精巣炎			0	4	2	0	2	2				2
857	VIII　泌尿生殖	5	腎・尿路・生殖器の炎症	B	男性生殖器の炎症	④	亀頭包皮炎			0	3	3	0	0					3
858	VIII　泌尿生殖	5	腎・尿路・生殖器の炎症	C	女性生殖器の炎症	①	外陰炎			1	3	2	0	2		2			1
859	VIII　泌尿生殖	5	腎・尿路・生殖器の炎症	C	女性生殖器の炎症	②	Bartholin腺嚢腫、Bartholin腺炎		Bartholin腺膿瘍	0	3	2	0	0					0
860	VIII　泌尿生殖	5	腎・尿路・生殖器の炎症	C	女性生殖器の炎症	③	腟炎		細菌性腟症、外陰腟カンジダ症、トリコモナス腟炎	3	2	1	0	5		2	2	1	45
861	VIII　泌尿生殖	5	腎・尿路・生殖器の炎症	C	女性生殖器の炎症	④	骨盤内炎症性疾患<PID>			4	2	0	0	6	3		1	2	1
862	VIII　泌尿生殖	5	腎・尿路・生殖器の炎症	C	女性生殖器の炎症	⑤	子宮頸管炎			1	3	1	0	1			1		0
863	VIII　泌尿生殖	5	腎・尿路・生殖器の炎症	C	女性生殖器の炎症	⑥	子宮内膜炎・筋層炎			2	4	0	0	1			1		0
864	VIII　泌尿生殖	5	腎・尿路・生殖器の炎症	C	女性生殖器の炎症	⑦	卵管留膿症・腫			0	3	2	0	0					0
865	VIII　泌尿生殖	5	腎・尿路・生殖器の炎症	C	女性生殖器の炎症	⑧	子宮留膿症・腫			0	4	2	0	0					0
865.5	VIII　泌尿生殖	5	腎・尿路・生殖器の炎	D	性感染症　<STD、STI>	KW	性感染症			0	0	0	0	12	4	2	5	1	0
866	VIII　泌尿生殖	5	腎・尿路・生殖器の炎症	D	性感染症　<STD、STI>	①	淋菌性尿道炎			3	1	1	0	0					0
867	VIII　泌尿生殖	5	腎・尿路・生殖器の炎症	D	性感染症　<STD、STI>	②	非淋菌性尿道炎		クラミジア性尿道炎	3	1	1	0	4	1		2	1	10
868	VIII　泌尿生殖	5	腎・尿路・生殖器の炎症	D	性感染症　<STD、STI>	③	性器ヘルペス			4	2	0	0	2		2			0
869	VIII　泌尿生殖	5	腎・尿路・生殖器の炎症	D	性感染症　<STD、STI>	④	尖圭コンジローマ			1	4	1	0	4	1	1	1	1	0
870	VIII　泌尿生殖	6	腎・尿路・男性生殖器の腫瘍	A	腎・上部尿路腫瘍	①	腎細胞癌			4	1	0	0	9	1		5	3	26
871	VIII　泌尿生殖	6	腎・尿路・男性生殖器の腫瘍	A	腎・上部尿路腫瘍	②	Wilms腫瘍			0	1	5	0	0					0
872	VIII　泌尿生殖	6	腎・尿路・男性生殖器の腫瘍	A	腎・上部尿路腫瘍	③	腎盂・尿管癌			1	1	4	0	4	1	1	1	1	腎盂癌6・尿管癌0
873	VIII　泌尿生殖	6	腎・尿路・男性生殖器の腫瘍	B	下部尿路腫瘍	①	膀胱癌		上皮内癌	3	2	0	0	13	2	2	7	2	75
874	VIII　泌尿生殖	6	腎・尿路・男性生殖器の腫瘍	B	下部尿路腫瘍	②	尿膜管癌			0	1	3	2	0					0
875	VIII　泌尿生殖	6	腎・尿路・男性生殖器の腫瘍	B	下部尿路腫瘍	③	尿道癌			0	1	5	0	0					0
876	VIII　泌尿生殖	6	腎・尿路・男性生殖器の腫瘍	B	下部尿路腫瘍	④	尿道カルンクル			0	2	3	0	0					0
877	VIII　泌尿生殖	6	腎・尿路・男性生殖器の腫瘍	C	男性生殖器腫瘍	①	前立腺肥大症			5	1	0	0	22	5	7	6	4	473
878	VIII　泌尿生殖	6	腎・尿路・男性生殖器の腫瘍	C	男性生殖器腫瘍	②	前立腺癌			4	2	0	0	21	4	6	8	3	197
879	VIII　泌尿生殖	6	腎・尿路・男性生殖器の腫瘍	C	男性生殖器腫瘍	③	セミノーマ<精上皮腫>			2	2	2	0	9	3	1	4	1	3
880	VIII　泌尿生殖	6	腎・尿路・男性生殖器の腫瘍	C	男性生殖器腫瘍	④	非セミノーマ			0	3	1	1	0					0
881	VIII　泌尿生殖	6	腎・尿路・男性生殖器の腫瘍	C	男性生殖器腫瘍	⑤	陰茎癌			0	3	2	0	1			1		1
882	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	A	外陰の腫瘍	①	Bowen病	181		0	2	2	1	6	2	1	2	1	0
883	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	A	外陰の腫瘍	②	外陰Paget病			0	2	4	0	1				1	2
884	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	A	外陰の腫瘍	③	外陰癌			0	3	2	0	0					2
885	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	B	子宮頸部の類腫瘍・腫瘍	①	子宮頸管ポリープ			0	3	2	0	0					6

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
886	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	B	子宮頸部の類腫瘍・腫瘍	②	異形成<子宮頸部上皮内腫瘍>			1	1	4	0	2	1		1		54
887	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	B	子宮頸部の類腫瘍・腫瘍	③	子宮頸癌			5	1	0	0	11	1	3	5	2	25
888	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	C	子宮体部の類腫瘍・腫瘍	①	子宮内膜ポリープ			0	2	3	1	0					7
889	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	C	子宮体部の類腫瘍・腫瘍	②	子宮内膜増殖症			2	2	2	0	2	1			1	8
890	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	C	子宮体部の類腫瘍・腫瘍	③	子宮内膜異型増殖症			0	2	2	2	0					0
891	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	C	子宮体部の類腫瘍・腫瘍	④	子宮体癌<子宮内膜癌>			4	2	0	0	21	5	5	8	3	4
892	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	C	子宮体部の類腫瘍・腫瘍	⑤	子宮筋腫			5	1	0	0	7	1		5	1	116
893	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	C	子宮体部の類腫瘍・腫瘍	⑥	子宮肉腫			0	2	2	1	0					0
893.5	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・	D	卵巣腫瘍	KW	卵巣腫瘍			0	0	0	0	7	4	1	2		0
894	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	D	卵巣腫瘍	①	機能性卵巣嚢胞			1	2	3	0	1			1		0
895	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	D	卵巣腫瘍	②	表層上皮性・間質性腫瘍			0	1	4	0	1				1	0
896	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	D	卵巣腫瘍	③	性索間質性腫瘍			0	1	4	0	1			1		0
897	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	D	卵巣腫瘍	④	胚細胞腫瘍	464, 985		0	1	4	0	4	1		3		0
898	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	D	卵巣腫瘍	⑤	卵巣･卵管･腹膜癌			1	3	2	0	6	1	1	3	1	26
899	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	D	卵巣腫瘍	⑥	二次性<転移性>腫瘍			0	3	1	1	1			1		0
900	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	D	卵巣腫瘍	⑦	茎捻転			3	1	1	0	2			1	1	0
901	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	E	子宮内膜症、子宮腺筋症	①	子宮内膜症		子宮内膜症性嚢胞<卵巣チョコレート嚢胞>	5	0	1	0	1				1	68
902	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	E	子宮内膜症、子宮腺筋症	②	子宮腺筋症			1	5	0	0	5	1	1	3		0
903	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	F	絨毛性疾患	①	胞状奇胎	4		0	3	3	0	4		2	1	1	1
904	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	F	絨毛性疾患	②	存続絨毛症			0	1	5	0	1			1		0
905	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	F	絨毛性疾患	③	絨毛癌			1	1	4	0	1			1		0
906	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	G	その他の婦人科腫瘍	①	腟癌			0	3	2	0	0					1
907	VIII　泌尿生殖	7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	G	その他の婦人科腫瘍	②	腹膜偽粘液腫	666		0	2	4	0	2		1	1		0
907.5	VIII　泌尿生殖	8	月経異常、不妊、不育	A	無月経	KW	続発性無月経、，無月経、月経異常			0	0	0	0	24	8	10	4	2	0
908	VIII　泌尿生殖	8	月経異常、不妊、不育	A	無月経	①	視床下部性無月経		神経性食思<欲>不振症<拒食症>	3	2	1	0	5		3	2		8
909	VIII　泌尿生殖	8	月経異常、不妊、不育	A	無月経	②	下垂体性無月経			1	3	2	0	0					8
910	VIII　泌尿生殖	8	月経異常、不妊、不育	A	無月経	③	卵巣性無月経			0	4	2	0	1			1		8
911	VIII　泌尿生殖	8	月経異常、不妊、不育	A	無月経	④	子宮性無月経			0	4	2	0	1			1		12
912	VIII　泌尿生殖	8	月経異常、不妊、不育	B	月経周期と量の異常	①	希発月経			2	2	1	0	0					2
913	VIII　泌尿生殖	8	月経異常、不妊、不育	B	月経周期と量の異常	②	過多月経			2	2	1	0	4	1		2	1	19
914	VIII　泌尿生殖	8	月経異常、不妊、不育	B	月経周期と量の異常	③	過少月経			2	2	1	0	0					0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
915	VIII　泌尿生殖	8	月経異常、不妊、不育	C	月経困難症	①	機能性月経困難症			2	4	0	0	8	2	1	3	2	88
916	VIII　泌尿生殖	8	月経異常、不妊、不育	C	月経困難症	②	器質性月経困難症			1	4	1	0	1		1			85
917	VIII　泌尿生殖	8	月経異常、不妊、不育	D	その他の月経異常	①	無排卵			0	3	2	0	0					22
918	VIII　泌尿生殖	8	月経異常、不妊、不育	D	その他の月経異常	②	黄体機能不全			0	3	2	0	1			1		0
919	VIII　泌尿生殖	8	月経異常、不妊、不育	D	その他の月経異常	③	高プロラクチン血症、乳汁漏出症	1222		0	4	1	0	12	4	2	4	2	4
920	VIII　泌尿生殖	8	月経異常、不妊、不育	D	その他の月経異常	④	多嚢胞性卵巣症候群<PCOS>	1252		1	3	1	0	8	4	1	2	1	3
921	VIII　泌尿生殖	8	月経異常、不妊、不育	D	その他の月経異常	⑤	月経前症候群			3	1	2	0	0					5
922	VIII　泌尿生殖	8	月経異常、不妊、不育	D	その他の月経異常	⑥	早発閉経			0	2	4	0	2		1	1		0
923	VIII　泌尿生殖	8	月経異常、不妊、不育	D	その他の月経異常	⑦	機能性子宮出血			2	2	2	0	2			1	1	2
923.5	VIII　泌尿生殖	8	月経異常、不妊、不育	E	不妊、不育	KW	不妊症			0	0	0	0	14	3	2	5	4	0
924	VIII　泌尿生殖	8	月経異常、不妊、不育	E	不妊、不育	①	女性不妊症		生殖補助技術<ART>、卵巣過剰刺激症候群	1	3	1	0	3	2	1			201
925	VIII　泌尿生殖	8	月経異常、不妊、不育	E	不妊、不育	②	男性不妊症		精液検査	1	3	1	0	3		1	2		10
926	VIII　泌尿生殖	8	月経異常、不妊、不育	E	不妊、不育	③	不育症	6	抗リン脂質抗体症候群	0	1	4	0	4	1		2	1	0
927	VIII　泌尿生殖	8	月経異常、不妊、不育	F	避妊	中	避妊		経口避妊薬、緊急避妊	4	1	1	0	0					0
928	VIII　泌尿生殖	9	更年期・閉経後障害	A	更年期障害	中	更年期障害		ホルモン補充療法	3	2	0	0	9	1	2	4	2	124
929	VIII　泌尿生殖	9	更年期・閉経後障害	B	閉経後障害	①	萎縮性膣炎			1	2	3	0	0					22
930	VIII　泌尿生殖	9	更年期・閉経後障害	B	閉経後障害	②	骨粗鬆症	1094, 1239		4	0	1	0	21	4	7	6	4	0
931	VIII　泌尿生殖	9	更年期・閉経後障害	B	閉経後障害	③	脂質異常症			4	0	1	0	0					0
932	VIII　泌尿生殖	9	更年期・閉経後障害	B	閉経後障害	④	動脈硬化			4	0	1	0	0					0
933	VIII　泌尿生殖	9	更年期・閉経後障害	B	閉経後障害	⑤	冠動脈疾患			4	0	1	0	0					0
934	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	A	腎・尿路の形態異常	①	単純性腎嚢胞			1	1	4	0	1		1			0
935	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	A	腎・尿路の形態異常	②	嚢胞腎			1	2	3	0	9	1		8		5
936	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	A	腎・尿路の形態異常	③	海綿腎			0	0	3	3	0					0
937	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	A	腎・尿路の形態異常	④	馬蹄腎			0	2	4	0	0					0
938	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	A	腎・尿路の形態異常	⑤	重複腎盂尿管			0	2	4	0	0					0
939	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	A	腎・尿路の形態異常	⑥	異所性尿管開口			0	1	3	2	1				1	0
940	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	A	腎・尿路の形態異常	⑦	尿管瘤			0	1	3	2	0					0
941	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	A	腎・尿路の形態異常	⑧	膀胱憩室			0	0	5	0	0					0
942	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	A	腎・尿路の形態異常	⑨	膀胱瘤			0	2	4	0	3		1	1	1	2
943	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	B	男性生殖器の形態異常	①	尿道下裂			0	2	4	0	1				1	0
944	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	B	男性生殖器の形態異常	②	包茎			0	4	2	0	1			1		3

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
945	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	B	男性生殖器の形態異常	③	停留精巣			0	5	1	0	6	2	3	1		3
946	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	B	男性生殖器の形態異常	④	精巣・精索水瘤			0	3	2	0	3	1		1	1	19
947	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	B	男性生殖器の形態異常	⑤	精索静脈瘤			0	2	3	0	1			1		0
948	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	B	男性生殖器の形態異常	⑥	精巣捻転症			3	2	1	0	3	1		1	1	19
949	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	C	女性生殖器の形態異常	①	子宮の奇形			0	1	4	0	1			1		0
950	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	C	女性生殖器の形態異常	②	子宮の位置異常			0	1	4	1	0					0
951	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	C	女性生殖器の形態異常	③	腟脱、子宮脱		直腸瘤	0	4	2	0	3	1	1	1		29
952	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	D	尿路・生殖器の機能異常	①	夜尿症<夜間遺尿症>			2	2	2	0	2			1	1	0
953	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	D	尿路・生殖器の機能異常	②	過活動膀胱			3	1	1	0	3	1	1	1		77
954	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	D	尿路・生殖器の機能異常	③	腹圧性尿失禁			4	1	1	0	7	1	3	2	1	3
955	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	D	尿路・生殖器の機能異常	④	勃起障害			1	3	1	0	3	2		1		0
956	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	D	尿路・生殖器の機能異常	⑤	持続勃起症			0	0	5	0	0					0
957	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	E	尿路・生殖器の損傷	①	腎・尿路損傷			1	3	2	0	6		2	4		0
958	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	E	尿路・生殖器の損傷	②	陰茎折症			0	2	4	0	2				2	0
959	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	E	尿路・生殖器の損傷	③	精巣損傷			0	2	3	1	0					0
960	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	E	尿路・生殖器の損傷	④	尿路・性器異物			0	2	4	0	0					0
961	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	E	尿路・生殖器の損傷	⑤	女性性器損傷			0	2	4	0	0					0
962	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	E	尿路・生殖器の損傷	⑥	尿管腟瘻			0	2	3	0	0					0
963	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	E	尿路・生殖器の損傷	⑦	膀胱腟瘻			0	2	2	1	0					0
964	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	E	尿路・生殖器の損傷	⑧	直腸腟瘻、膀胱腸瘻			0	2	2	1	0					直腸腟瘻0、膀胱腸瘻1
965	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	E	尿路・生殖器の損傷	⑨	月経瘻			0	0	5	1	0					0
966	VIII　泌尿生殖	10	その他の尿路・生殖器異常	E	尿路・生殖器の損傷	⑩	子宮腔癒着｛症｝<Asherman症候群>			0	0	5	0	1			1		0
966.5	IX　神経・運動器	1	脳血管障害			KW	脳血管障害			0	0	0	0	13	4	4	3	2	0
967	IX　神経・運動器	1	脳血管障害	A	脳内出血	①	高血圧性脳出血			3	2	0	0	19	1	6	8	4	74
968	IX　神経・運動器	1	脳血管障害	A	脳内出血	②	アミロイドアンギオパチー			1	2	3	0	4			1	3	0
969	IX　神経・運動器	1	脳血管障害	B	くも膜下出血	①	脳動脈瘤、解離性脳動脈瘤		脳血管攣縮、正常圧水頭症	3	2	0	0	29	12	6	9	2	63
970	IX　神経・運動器	1	脳血管障害	C	脳梗塞	①	心原性脳塞栓症		無症候性脳梗塞、Wallenberg症候群、 Weber症候群、tissue plasminogen activator<t-PA>	5	0	0	0	16	3	2	7	4	22
970.5	IX　神経・運動器	1	脳血管障害	C	脳梗塞	KW	脳梗塞、脳塞栓、脳卒中			0	0	0	0	12		4	6	2	0
971	IX　神経・運動器	1	脳血管障害	C	脳梗塞	②	アテローム血栓性脳梗塞			5	0	0	0	0					34
972	IX　神経・運動器	1	脳血管障害	C	脳梗塞	③	ラクナ梗塞			5	0	0	0	0					436
973	IX　神経・運動器	1	脳血管障害	C	脳梗塞	④	一過性脳虚血発作			5	0	0	0	8	1	1	6		12

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
974	IX　神経・運動器	1	脳血管障害	C	脳梗塞	⑤	脳動脈狭窄・閉塞			5	1	0	0	4	1		3		47
975	IX　神経・運動器	1	脳血管障害	D	その他の血管性障害	①	脳動静脈奇形			1	3	2	0	2	1		1		1
976	IX　神経・運動器	1	脳血管障害	D	その他の血管性障害	②	静脈洞血栓症			1	3	2	0	0					0
977	IX　神経・運動器	1	脳血管障害	D	その他の血管性障害	③	脳動脈解離			5	0	1	0	0					6
978	IX　神経・運動器	1	脳血管障害	D	その他の血管性障害	④	硬膜動静脈瘻		内頸動脈海綿静脈洞瘻	1	1	4	0	4	1	1		2	0
979	IX　神経・運動器	1	脳血管障害	D	その他の血管性障害	⑤	もやもや病			1	4	1	0	4	1	1	1	1	8
980	IX　神経・運動器	1	脳血管障害	E	脳卒中後遺症	①	偽性球麻痺		脳卒中後の急性期・回復期・維持期リハビリテーション	2	3	1	0	2				2	321
981	IX　神経・運動器	1	脳血管障害	E	脳卒中後遺症	②	半側空間無視			0	1	5	0	0					
982	IX　神経・運動器	1	脳血管障害	E	脳卒中後遺症	③	廃用性萎縮			4	0	1	0	0					
983	IX　神経・運動器	1	脳血管障害	E	脳卒中後遺症	④	脳血管性認知症	84		3	3	0	0	1	1				
983.5	IX　神経・運動器	2	脳腫瘍			KW	脳腫瘍			0	0	0	0	31	9	9	8	5	0
984	IX　神経・運動器	2	脳腫瘍	A	脳実質内腫瘍	①	神経膠腫			0	3	2	0	2			2		0
985	IX　神経・運動器	2	脳腫瘍	A	脳実質内腫瘍	②	胚細胞腫瘍	464, 897		0	3	2	0	4	1		3		0
986	IX　神経・運動器	2	脳腫瘍	A	脳実質内腫瘍	③	悪性リンパ腫	359, 465, 615, 779, 433		0	3	2	0	14	5	4	3	2	0
987	IX　神経・運動器	2	脳腫瘍	A	脳実質内腫瘍	④	血管芽腫			0	0	6	0	1		1			0
988	IX　神経・運動器	2	脳腫瘍	B	脳実質外腫瘍	①	髄膜腫	72を参照		1	4	1	0	10	3	3	4		8
989	IX　神経・運動器	2	脳腫瘍	B	脳実質外腫瘍	②	下垂体腺腫	1227を参照		1	3	1	0	0					4
990	IX　神経・運動器	2	脳腫瘍	B	脳実質外腫瘍	③	神経鞘腫	1146		0	4	1	0	2			1	1	1
991	IX　神経・運動器	2	脳腫瘍	B	脳実質外腫瘍	④	頭蓋咽頭腫			0	4	1	0	1	1				0
992	IX　神経・運動器	2	脳腫瘍	C	転移性脳腫瘍	①	転移性脳腫瘍			3	2	1	0	0					5
993	IX　神経・運動器	2	脳腫瘍	C	転移性脳腫瘍	②	髄膜癌腫症<癌性髄膜炎>			0	5	1	0	0					0
994	IX　神経・運動器	2	脳腫瘍	D	頭蓋骨腫瘍	①	頭蓋骨転移			0	2	2	1	0					0
995	IX　神経・運動器	3	神経・運動器の感染性・炎症性疾患	A	ウイルス感染症	①	脳炎		単純ヘルペス脳炎	6	0	0	0	3	3				5
995.5	IX　神経・運動器	3	神経・運動器の感染性・炎症性疾患			KW	髄膜炎			0	0	0	0	13	4	6	2	1	0
996	IX　神経・運動器	3	神経・運動器の感染性・炎症性疾患	A	ウイルス感染症	②	髄膜炎			6	0	0	0	1			1		1
997	IX　神経・運動器	3	神経・運動器の感染性・炎症性疾患	A	ウイルス感染症	③	亜急性硬化性全脳炎<SSPE>	1214		0	3	3	0	1	1				0
998	IX　神経・運動器	3	神経・運動器の感染性・炎症性疾患	A	ウイルス感染症	④	進行性多巣性白質脳症			0	2	3	0	1			1		0
999	IX　神経・運動器	3	神経・運動器の感染性・炎症性疾患	A	ウイルス感染症	⑤	AIDS認知症<HIV脳症>			0	2	3	0	0					0
1000	IX　神経・運動器	3	神経・運動器の感染性・炎症性疾患	A	ウイルス感染症	⑥	HTLV-Ⅰ関連脊髄症<HAM>			0	2	4	0	0					0
1001	IX　神経・運動器	3	神経・運動器の感染性・炎症性疾患	A	プリオン病	①	Creutzfeldt-Jakob病			0	3	2	0	9	3	1	5		0
1002	IX　神経・運動器	3	神経・運動器の感染性・炎症性疾患	C	静脈洞感染症	中	静脈洞感染症			0	0	5	1	0					0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
1003	IX　神経・運動器	3	神経・運動器の感染性・炎症性疾患	D	細菌・真菌感染症	①	細菌性髄膜炎			5	1	0	0	12	1	4	6	1	0
1004	IX　神経・運動器	3	神経・運動器の感染性・炎症性疾患	D	細菌・真菌感染症	②	真菌性髄膜炎			0	5	1	0	0					0
1005	IX　神経・運動器	3	神経・運動器の感染性・炎症性疾患	D	細菌・真菌感染症	③	結核性髄膜炎			2	3	1	0	0					0
1006	IX　神経・運動器	3	神経・運動器の感染性・炎症性疾患	D	細菌・真菌感染症	④	脳膿瘍			2	2	1	0	3	1	2			2
1007	IX　神経・運動器	3	神経・運動器の感染性・炎症性疾患	E	急性脳炎、急性脳症	①	急性散在性脳脊髄炎		インフルエンザ脳症	0	4	2	0	2	1	1			0
1008	IX　神経・運動器	3	神経・運動器の感染性・炎症性疾患	E	急性脳炎、急性脳症	②	Reye脳症			0	3	2	0	1	1				0
1009	IX　神経・運動器	3	神経・運動器の感染性・炎症性疾患	E	急性脳炎、急性脳症	③	急性小脳性失調症			0	4	2	0	0					0
1010	IX　神経・運動器	3	神経・運動器の感染性・炎症性疾患	F	骨・関節感染症	①	化膿性脊椎炎		椎間板炎、椎体炎	1	3	1	0	0					5
1011	IX　神経・運動器	3	神経・運動器の感染性・炎症性疾患	F	骨・関節感染症	②	結核性骨関節炎		結核性脊椎炎<脊椎カリエス>、結核性関節炎	0	2	3	0	1			1		0
1012	IX　神経・運動器	3	神経・運動器の感染性・炎症性疾患	F	骨・関節感染症	③	化膿性骨髄炎		Brodie骨膿瘍	1	3	1	0	1				1	6
1013	IX　神経・運動器	3	神経・運動器の感染性・炎症性疾患	F	骨・関節感染症	④	化膿性関節炎		乳児化膿性股関節炎	2	3	1	0	1		1			3
1014	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	A	認知症	①	Alzheimer型認知症	83		5	0	0	0	16	2	2	10	2	561
1015	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	A	認知症	②	Lewy小体型認知症	85		5	0	0	0	11		3	5	3	109
1016	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	A	認知症	③	前頭側頭型認知症	86	Pick病	4	1	0	0	9	2	1	5	1	
1017	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	B	Parkinson病と類縁疾患	①	Parkinson病		ジスキネジア	5	0	0	0	12	2	5	5		162
1018	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	B	Parkinson病と類縁疾患	②	Parkinson症候群			4	0	1	0	4	1	2	1		3
1019	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	B	Parkinson病と類縁疾患	③	進行性核上性麻痺			0	4	1	0	2		1	1		5
1020	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	B	Parkinson病と類縁疾患	④	大脳皮質基底核変性症			0	3	2	0	0					3
1021	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	B	Parkinson病と類縁疾患	⑤	本態性振戦			2	3	1	0	1		1			13
1022	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	C	Parkinson病と類縁疾患	①	Huntington病			0	2	3	0	2			2		1
1023	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	C	Parkinson病と類縁疾患	②	小舞踏病			0	3	2	1	0					0
1024	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	C	Parkinson病と類縁疾患	③	捻転ジストニア			0	3	2	0	0					1
1025	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	C	Parkinson病と類縁疾患	④	痙性斜頸			0	3	3	0	0					1
1026	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	C	Parkinson病と類縁疾患	⑤	書痙			0	2	3	0	1				1	0
1027	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	D	代謝性疾患	①	ビタミンB_1欠乏症	711	亜急性連合性脊髄変性症	3	1	1	0	13		1	6	6	3
1028	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	D	代謝性疾患	②	Wernicke脳症			2	3	1	0	7	2	4	1		1
1029	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	D	代謝性疾患	③	ミトコンドリア脳筋症		MELAS、MERRF、Kearns-Sayre症候群、Leigh脳症	0	3	3	0	4	2	1	1		1
1030	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	E	白質変性症	①	副腎白質ジストロフィー			0	2	4	0	0					0
1031	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	E	白質変性症	②	異染性白質ジストロフィー			0	1	5	0	0					0
1031.5	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱	F	脊髄小脳変性 症、多系統萎縮症、痙性対麻痺	KW	脊髄小脳変性症、痙性対麻痺			0	0	0	0	5			3	2	0
1032	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	F	脊髄小脳変性 症、多系統萎縮症、痙性対麻痺	①	Machado-Joseph病			0	0	4	2	1			1		0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
1033	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	F	脊髄小脳変性 症、多系統萎縮症、痙性対麻痺	②	Shy-Drager症候群			0	3	2	0	0					2
1034	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	F	脊髄小脳変性 症、多系統萎縮症、痙性対麻痺	③	オリーブ橋小脳萎縮症			0	2	3	0	0					0
1035	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	F	脊髄小脳変性 症、多系統萎縮症、痙性対麻痺	④	線条体黒質変性症			0	1	5	0	1	1				0
1036	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	G	運動ニューロン疾患	①	筋萎縮性側索硬化症<ALS>			2	3	1	0	10	3	1	3	3	10
1037	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	G	運動ニューロン疾患	②	脊髄性筋萎縮症	1203	Werdnig-Hoffmann病、球脊髄性筋萎縮症	0	3	2	0	7	2		4	1	2
1038	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	H	脱髄疾患	①	多発性硬化症			0	5	1	0	12	1	3	4	4	8
1039	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	H	脱髄疾患	②	視神経脊髄炎			0	4	1	0	3			2	1	2
1040	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	I	中毒性疾患	①	一酸化炭素中毒<CO中毒>			4	1	1	0	6	1	1	3	1	0
1041	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	I	中毒性疾患	②	低酸素脳症			2	2	1	0	0					0
1042	IX　神経・運動器	4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	I	中毒性疾患	③	悪性症候群			3	1	1	0	4		3	1		0
1043	IX　神経・運動器	5	末梢神経・神経筋接合部・筋疾患	A	末梢神経の炎症性・遺伝性・代謝性疾患	①	Guillain-Barré症候群、慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー			2	4	0	0	9	1	1	6	1	27
1044	IX　神経・運動器	5	末梢神経・神経筋接合部・筋疾患	A	末梢神経の炎症性・遺伝性・代謝性疾患	②	多発ニューロパチー			3	1	2	0	1				1	0
1045	IX　神経・運動器	5	末梢神経・神経筋接合部・筋疾患	A	末梢神経の炎症性・遺伝性・代謝性疾患	③	遺伝性運動感覚性ニューロパチー		charcot-Marie-Tooth病	0	2	3	0	0					1
1046	IX　神経・運動器	5	末梢神経・神経筋接合部・筋疾患	A	末梢神経の炎症性・遺伝性・代謝性疾患	④	アミロイドニューロパチー			0	2	3	0	0					0
1047	IX　神経・運動器	5	末梢神経・神経筋接合部・筋疾患	A	末梢神経の炎症性・遺伝性・代謝性疾患	⑤	腫瘍随伴性多発ニューロパチー			0	3	2	0	0					0
1048	IX　神経・運動器	5	末梢神経・神経筋接合部・筋疾患	A	末梢神経の炎症性・遺伝性・代謝性疾患	⑥	単ニューロパチー		Bell麻痺	1	3	1	0	1			1		12
1049	IX　神経・運動器	5	末梢神経・神経筋接合部・筋疾患	A	末梢神経の炎症性・遺伝性・代謝性疾患	⑦	多発単ニューロパチー			1	3	1	0	0					0
1049.5	IX　神経・運動器	5	末梢神経・神経筋接合	B	末梢神経の絞扼性疾患	KW	絞扼性末梢神経障害			0	0	0	0	3	2	1			0
1050	IX　神経・運動器	5	末梢神経・神経筋接合部・筋疾患	B	末梢神経の絞扼性疾患	①	手根管症候群		Tinel徴候	5	1	0	0	6	2	1	2	1	18
1051	IX　神経・運動器	5	末梢神経・神経筋接合部・筋疾患	B	末梢神経の絞扼性疾患	②	肘部管症候群			3	3	0	0	2			1	1	0
1052	IX　神経・運動器	5	末梢神経・神経筋接合部・筋疾患	C	神経痛	①	三叉神経痛	320		4	1	1	0	0					11
1053	IX　神経・運動器	5	末梢神経・神経筋接合部・筋疾患	C	神経痛	②	Tolosa-Hunt症候群			1	1	4	0	0					0
1054	IX　神経・運動器	5	末梢神経・神経筋接合部・筋疾患	C	神経痛	③	坐骨神経痛			3	1	1	0	0					23
1055	IX　神経・運動器	5	末梢神経・神経筋接合部・筋疾患	D	神経筋接合部・筋疾患	①	重症筋無力症			3	1	1	0	11	3	3	2	3	11
1056	IX　神経・運動器	5	末梢神経・神経筋接合部・筋疾患	D	神経筋接合部・筋疾患	②	Lambert-Eaton症候群			2	2	1	0	1				1	0
1057	IX　神経・運動器	5	末梢神経・神経筋接合部・筋疾患	D	神経筋接合部・筋疾患	③	進行性筋ジストロフィー		Duchenne型、Becker型、肢帯型、顔面肩甲上腕型	1	5	0	0	10	5	1	2	2	6
1058	IX　神経・運動器	5	末梢神経・神経筋接合部・筋疾患	D	神経筋接合部・筋疾患	④	筋強直性ジストロフィー			2	3	1	0	5		1	1	3	3
1059	IX　神経・運動器	5	末梢神経・神経筋接合部・筋疾患	D	神経筋接合部・筋疾患	⑤	内分泌・代謝性ミオパチー			0	3	2	0	0					0
1060	IX　神経・運動器	5	末梢神経・神経筋接合部・筋疾患	D	神経筋接合部・筋疾患	⑥	多発性筋炎			2	2	2	0	0					7
1061	IX　神経・運動器	5	末梢神経・神経筋接合部・筋疾患	D	神経筋接合部・筋疾患	⑦	周期性四肢麻痺			2	3	1	0	6		3	1	2	1
1061.5	IX　神経・運動器	7	発作性・機能 性・自律神経系疾患			KW	てんかん			0	0	0	0	12	8	1	3		0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
1062	IX　神経・運動器	6	発作性・機能 性・自律神経系疾患	A	全般てんかん	①	強直間代発作			3	2	1	0	0					1
1063	IX　神経・運動器	6	発作性・機能 性・自律神経系疾患	B	局在関連性<焦点性、部分性>てんかん	①	単純部分発作		側頭葉てんかん、前頭葉てんかん	3	3	0	0	3	2		1		0
1064	IX　神経・運動器	6	発作性・機能 性・自律神経系疾患	B	局在関連性<焦点性、部分性>てんかん	②	複雑部分発作			3	3	0	0	5	2		1	2	6
1064.5	IX　神経・運動器	6	発作性・機能 性・自律	C	慢性頭痛	KW	頭痛			0	0	0	0	16	1	5	7	3	0
1065	IX　神経・運動器	6	発作性・機能 性・自律神経系疾患	C	慢性頭痛	①	片頭痛			5	1	0	0	8	3	4	1		88
1066	IX　神経・運動器	6	発作性・機能 性・自律神経系疾患	C	慢性頭痛	②	緊張型頭痛			5	1	0	0	4			4		18
1067	IX　神経・運動器	6	発作性・機能 性・自律神経系疾患	C	慢性頭痛	③	群発頭痛			3	1	1	0	2			1	1	1
1068	IX　神経・運動器	6	発作性・機能 性・自律神経系疾患	D	その他	①	むずむず脚症候群	118		3	1	2	0	5		2	1	2	0
1069	IX　神経・運動器	6	発作性・機能 性・自律神経系疾患	D	その他	②	筋けいれん			1	2	3	0	0					3
1070	IX　神経・運動器	6	発作性・機能 性・自律神経系疾患	D	その他	③	てんかん重積状態			3	2	0	0	0					1
1071	IX　神経・運動器	6	発作性・機能 性・自律神経系疾患	D	その他	④	Horner症候群	326		4	1	1	0	10	5	4		1	0
1072	IX　神経・運動器	7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	A	脊椎・脊髄疾患	①	斜頸		筋性斜頸	0	4	2	0	0					0
1073	IX　神経・運動器	7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	A	脊椎・脊髄疾患	②	Klippel-Feil症候群			0	1	3	1	0					0
1074	IX　神経・運動器	7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	A	脊椎・脊髄疾患	③	側弯症			1	4	1	0	2	1			1	17
1075	IX　神経・運動器	7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	A	脊椎・脊髄疾患	④	後弯症<円背>			0	3	3	0	0					2
1076	IX　神経・運動器	7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	A	脊椎・脊髄疾患	⑤	平背			0	1	4	0	0					0
1077	IX　神経・運動器	7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	A	脊椎・脊髄疾患	⑥	椎間板ヘルニア			5	1	0	0	3	2	1			213
1078	IX　神経・運動器	7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	A	脊椎・脊髄疾患	⑦	変形性脊椎症			4	1	0	0	1				1	1
1079	IX　神経・運動器	7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	A	脊椎・脊髄疾患	⑧	脊髄症、神経根症			3	3	0	0	3		1	2		87
1080	IX　神経・運動器	7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	A	脊椎・脊髄疾患	⑨	脊柱靱帯骨化症		後縦靱帯骨化症、黄色靱帯骨化症	1	3	1	0	2		1	1		0
1081	IX　神経・運動器	7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	A	脊椎・脊髄疾患	⑩	脊柱管狭窄症			3	3	0	0	6	2	3	1		654
1082	IX　神経・運動器	7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	A	脊椎・脊髄疾患	⑪	脊椎分離症			1	4	1	0	0					22
1083	IX　神経・運動器	7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	A	脊椎・脊髄疾患	⑫	脊椎すべり症			3	3	0	0	0					91
1084	IX　神経・運動器	7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	A	脊椎・脊髄疾患	⑬	腰痛症		急性腰痛症	5	0	1	0	11	5	2	1	3	1
1085	IX　神経・運動器	7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	A	脊椎・脊髄疾患	⑭	強直性脊椎炎	1350		1	2	2	0	2				2	1
1086	IX　神経・運動器	7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	A	脊椎・脊髄疾患	⑮	脊椎腫瘍			0	2	4	0	4		1	1	2	0
1087	IX　神経・運動器	7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	A	脊椎・脊髄疾患	⑯	脊髄腫瘍			0	4	1	0	1			1		2
1088	IX　神経・運動器	7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	A	脊椎・脊髄疾患	⑰	脊髄血管障害			0	4	1	0	0					0
1089	IX　神経・運動器	7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	B	骨系統疾患	①	軟骨無形成症			0	1	5	0	0					0
1090	IX　神経・運動器	7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	B	骨系統疾患	②	骨形成不全症			0	0	6	0	2			2		1
1091	IX　神経・運動器	7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	B	骨系統疾患	③	脊椎骨端異形成症			0	0	5	0	0					0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目　小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
1092	IX　神経・運動器	7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	B	骨系統疾患　④	大理石骨病			0	0	4	1	0					0
1093	IX　神経・運動器	7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	B	骨系統疾患　⑤	先天性多発性関節拘縮症			0	0	4	1	0					0
1094	IX　神経・運動器	7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	C	代謝性骨疾患　①	骨粗鬆症	930, 1239		5	1	0	0	21	4	7	6	4	630
1095	IX　神経・運動器	7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	C	代謝性骨疾患　②	くる病、骨軟化症	1240		2	2	2	0	5	1	1	1	2	くる病1、骨軟化症0
1096	IX　神経・運動器	7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	C	代謝性骨疾患　③	骨Paget病			0	3	2	0	0					0
1097	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	A	肩関節の疾患　①	反復性脱臼			1	2	2	0	1		1			4
1098	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	A	肩関節の疾患　②	胸郭出口症候群			4	0	1	0	0					0
1099	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	A	肩関節の疾患　③	肩関節周囲炎			3	1	1	0	2	1	1			279
1100	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	A	肩関節の疾患　④	腱板断裂			4	0	2	0	0					0
1101	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	B	肘関節の疾患　①	肘内障			4	0	2	0	2		1		1	1
1102	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	B	肘関節の疾患　②	上腕骨外側上顆炎		テニス肘	1	3	2	0	0					19
1103	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	B	肘関節の疾患　③	外反肘、内反肘			1	3	2	0	0					0
1104	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	C	手の疾患　①	強剛母指			0	2	4	0	0					0
1105	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	C	手の疾患　②	多指症、合指症			0	1	4	1	1				1	0
1106	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	C	手の疾患　③	Dupuytren拘縮			0	4	2	0	0					1
1107	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	D	股関節の疾患　①	発育性股関節形成不全<先天性股関節脱臼>			1	2	3	0	6		1	5		2
1108	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	D	股関節の疾患　②	大腿骨頭すべり症			0	2	4	0	2			1	1	0
1109	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	D	股関節の疾患　③	Perthes病			0	3	3	0	1		1			0
1110	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	D	股関節の疾患　④	特発性大腿骨頭壊死症			2	3	1	0	4	2		1	1	0
1111	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	D	股関節の疾患　⑤	変形性股関節症		Trendelenburg徴候	3	2	0	0	7		3	1	3	83
1112	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	E	膝関節の疾患　①	Osgood-Schlatter病			1	3	2	0	0					0
1113	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	E	膝関節の疾患　②	半月板障害			2	3	1	0	2	1	1			9
1114	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	E	膝関節の疾患　③	膝蓋軟骨軟化症			0	4	2	0	0					0
1115	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	E	膝関節の疾患　④	変形性膝関節症			3	2	0	0	1				1	1264
1116	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	E	膝関節の疾患　⑤	外反膝、内反膝、反張膝			1	4	1	0	0					0
1117	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	F	下腿・足の疾患　①	先天性下腿偽関節			0	1	4	0	0					0
1118	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	F	下腿・足の疾患　②	内反足			1	3	1	0	1		1			0
1119	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	F	下腿・足の疾患　③	外反母趾			2	2	2	0	0					8
1120	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	G	骨壊死　①	Kienböck病、膝関節壊死			0	0	6	0	2		2			0
1121	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	H	滑膜炎、関節炎　①	関節リウマチ	793, 1338		5	0	1	0	37	4	9	10	14	370
1122	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	H	滑膜炎、関節炎　②	痛風、偽痛風	1286		5	0	1	0	10	1	2	5	2	272

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
1123	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	H	滑膜炎、関節炎	③	滑液包炎、腱鞘炎		de　Quervain病、ばね指	3	1	1	0	8		1	5	2	滑液包炎3、腱鞘炎33
1124	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	I	関節症	①	神経病性関節症		Charcot関節	0	1	5	0	0					0
1125	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	I	関節症	②	血友病性関節症			0	1	3	2	0					1
1126	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	I	関節症	③	変形性関節症		Heberden結節	2	2	1	0	0					4
1127	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	J	四肢軟部病変	①	腱付着部炎			2	1	3	0	0					0
1128	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	J	四肢軟部病変	②	異所性骨化			0	3	3	0	0					0
1129	IX　神経・運動器	8	上下肢運動器疾患、非感染疾患（他）	J	四肢軟部病変	③	ガングリオン			2	1	2	0	0					6
1129.5	IX　神経・運動器	9	骨・軟部腫瘍と類似疾患			KW	原発性骨腫瘍			0	0	0	0	4	1	3			0
1130	IX　神経・運動器	9	骨・軟部腫瘍と類似疾患	A	原発性良性骨腫瘍	①	骨軟骨腫		多発性軟骨性外骨腫	0	3	2	0	1	1				0
1131	IX　神経・運動器	9	骨・軟部腫瘍と類似疾患	A	原発性良性骨腫瘍	②	内軟骨腫			0	3	2	0	0					0
1132	IX　神経・運動器	9	骨・軟部腫瘍と類似疾患	A	原発性良性骨腫瘍	③	類骨骨腫			0	2	3	0	1		1			0
1133	IX　神経・運動器	9	骨・軟部腫瘍と類似疾患	A	原発性良性骨腫瘍	④	骨巨細胞腫			0	2	4	0	2		2			0
1134	IX　神経・運動器	9	骨・軟部腫瘍と類似疾患	B	原発性悪性骨腫瘍	①	骨肉腫			1	4	1	0	2	1		1		0
1135	IX　神経・運動器	9	骨・軟部腫瘍と類似疾患	B	原発性悪性骨腫瘍	②	軟骨肉腫			0	4	1	0	0					0
1136	IX　神経・運動器	9	骨・軟部腫瘍と類似疾患	B	原発性悪性骨腫瘍	③	Ewing肉腫			0	5	1	0	1		1			0
1137	IX　神経・運動器	9	骨・軟部腫瘍と類似疾患	B	原発性悪性骨腫瘍	④	骨悪性線維性組織球腫			0	1	4	1	0					0
1138	IX　神経・運動器	9	骨・軟部腫瘍と類似疾患	B	原発性悪性骨腫瘍	⑤	脊索腫			0	1	4	1	0					0
1139	IX　神経・運動器	9	骨・軟部腫瘍と類似疾患	C	転移性骨腫瘍	中	転移性骨腫瘍			1	4	1	0	12	2	4	3	3	0
1140	IX　神経・運動器	9	骨・軟部腫瘍と類似疾患	D	骨腫瘍類似疾患	①	単発性骨嚢腫			0	1	4	0	0					0
1141	IX　神経・運動器	9	骨・軟部腫瘍と類似疾患	D	骨腫瘍類似疾患	②	動脈瘤様骨嚢腫			0	0	5	0	0					0
1142	IX　神経・運動器	9	骨・軟部腫瘍と類似疾患	D	骨腫瘍類似疾患	③	線維性骨異形成			0	0	5	0	0					0
1143	IX　神経・運動器	9	骨・軟部腫瘍と類似疾患	E	良性軟部腫瘍	①	脂肪腫			0	0	6	0	0					5
1144	IX　神経・運動器	9	骨・軟部腫瘍と類似疾患	E	良性軟部腫瘍	②	血管腫			0	0	6	0	2	1		1		12
1145	IX　神経・運動器	9	骨・軟部腫瘍と類似疾患	E	良性軟部腫瘍	③	グロムス腫瘍	177		0	1	4	1	0					0
1146	IX　神経・運動器	9	骨・軟部腫瘍と類似疾患	E	良性軟部腫瘍	④	神経鞘腫	990		0	3	3	0	2			1	1	0
1147	IX　神経・運動器	9	骨・軟部腫瘍と類似疾患	E	良性軟部腫瘍	⑤	類腱腫			0	0	5	0	0					0
1148	IX　神経・運動器	9	骨・軟部腫瘍と類似疾患	F	悪性軟部腫瘍	①	脂肪肉腫			1	0	5	0	1				1	0
1149	IX　神経・運動器	9	骨・軟部腫瘍と類似疾患	F	悪性軟部腫瘍	②	悪性線維性組織球腫			0	0	5	1	0					0
1150	IX　神経・運動器	9	骨・軟部腫瘍と類似疾患	F	悪性軟部腫瘍	③	滑膜肉腫			0	0	5	1	0					0
1151	IX　神経・運動器	9	骨・軟部腫瘍と類似疾患	F	悪性軟部腫瘍	④	悪性末梢神経鞘腫			0	0	5	1	0					0
1152	IX　神経・運動器	9	骨・軟部腫瘍と類似疾患	F	悪性軟部腫瘍	⑤	平滑筋肉腫			0	2	3	0	0					0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目　小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
1152.5	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（	A	頭部外傷　KW	頭部外傷			0	0	0	0	16	5	2	6	3	0
1153	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	A	頭部外傷　①	脳挫傷		外傷性てんかん、高次脳機能障害	4	2	0	0	11		3	7	1	0
1154	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	A	頭部外傷　②	脳振盪			4	2	0	0	0					0
1155	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	A	頭部外傷　③	びまん性軸索損傷			3	3	0	0	3		1	2		0
1156	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	A	頭部外傷　④	急性硬膜外血腫			3	2	1	0	8	3	2	3		0
1157	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	A	頭部外傷　⑤	急性硬膜下血腫、慢性硬膜下血腫			3	2	1	0	12	7	2	3		25
1158	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	A	頭部外傷　⑥	脳内血腫			3	2	1	0	0					0
1159	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	A	頭部外傷　⑦	頭蓋骨骨折			3	2	1	0	2	1	1			2
1160	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	A	頭部外傷　⑧	髄液漏			0	6	0	0	2		2			1
1160.5	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（	B	脊髄損傷　KW	脊髄腫瘍			0	0	0	0	6	2	2	1	1	0
1161	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	B	脊髄損傷　①	頸髄損傷		脊椎脱臼骨折	4	1	0	0	4			3	1	13
1162	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	B	脊髄損傷　②	胸髄損傷			3	2	0	0	0					1
1163	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	B	脊髄損傷　③	腰髄損傷			3	2	0	0	0					0
1163.5	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（	C	骨折　KW	骨折			0	0	0	0	9	6	3			0
1164	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	C	骨折　①	脊椎骨折		脊椎圧迫骨折	3	2	0	0	4	1	2	1		9
1165	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	C	骨折　②	骨盤骨折			3	2	0	0	5	1	1	3		14
1166	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	C	骨折　③	四肢骨折		大腿骨近位部骨折、橈骨遠位端骨折	3	2	0	0	15	1	3	9	2	436
1167	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	C	骨折　④	開放骨折		golden period	4	1	0	0	5	1	2	2		0
1168	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	D	関節の外傷　①	捻挫<靭帯損傷>			3	1	1	0	0					28
1169	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	D	関節の外傷　②	関節内骨折			3	1	1	0	0					0
1170	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	D	関節の外傷　③	脱臼、亜脱臼			3	1	1	0	4			2	2	0
1171	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	E	四肢軟部損傷　①	末梢神経損傷		腕神経叢損傷、分娩麻痺	2	2	1	0	3	2		1		0
1172	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	E	四肢軟部損傷　②	四肢血管損傷			2	2	1	0	0					0
1173	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	E	四肢軟部損傷　③	筋断裂、腱断裂			3	1	1	0	0					0
1174	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	E	四肢軟部損傷　④	区画<コンパートメント>症候群		Volkmann拘縮	3	2	1	0	10	1	2	4	3	0
1175	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	E	四肢軟部損傷　⑤	挫滅<圧挫>症候群<crush syndrome>			3	1	1	0	6	2	2	1	1	4
1176	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	F	四肢切断　①	外傷性切断、関節離断			1	2	3	0	0					外傷性切断6、関節離断0
1176.5	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）		スポーツ外傷　KW	スポーツ外傷			0	0	0	0	6	1	2	1	2	0
1177	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	G	スポーツ外傷　①	肩関節脱臼			3	1	1	0	0					4
1178	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	G	スポーツ外傷　②	離断性骨軟骨炎			3	1	2	0	2		1	1		3
1179	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	G	スポーツ外傷　③	突き指		槌指<mallet finger>	3	2	1	0	0					0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目　小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
1180	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	G	スポーツ外傷　④	肉離れ			2	1	2	1	0					0
1181	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	G	スポーツ外傷　⑤	膝靱帯損傷			2	2	1	0	1		1			64
1182	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	G	スポーツ外傷　⑥	半月板損傷			2	3	1	0	0					9
1183	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	G	スポーツ外傷　⑦	足関節捻挫			2	3	1	0	0					28
1184	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	G	スポーツ外傷　⑧	アキレス腱断裂			2	3	1	0	1				1	7
1185	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	H	外傷の合併症　①	偽関節			0	3	3	0	0					4
1186	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	H	外傷の合併症　②	変形治癒骨折			0	2	4	0	0					2
1187	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	H	外傷の合併症　③	関節拘縮			1	3	2	0	4	2	1	1		33
1188	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	H	外傷の合併症　④	骨壊死			0	4	2	0	0					8
1189	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	H	外傷の合併症　⑤	塞栓症		脂肪塞栓症、静脈血栓塞栓症	1	4	1	0	6	3	1	2		42
1189.5	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（	I	水頭症　KW	水頭症			0	0	0	0	5		1	4		0
1190	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	H	外傷の合併症　⑥	複合性局所疼痛症候群<CRPS>			1	2	2	0	1			1		0
1191	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	I	水頭症　①	閉塞性水頭症			0	3	2	0	0					0
1192	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	I	水頭症　②	交通性水頭症			1	2	3	0	0					0
1193	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	I	水頭症　③	特発性正常圧水頭症			1	3	1	0	1		1			5
1194	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	J	先天奇形　①	頭蓋骨早期癒合症		Crouzon病	0	0	5	1	0					1
1195	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	J	先天奇形　②	二分頭蓋、脳瘤			0	1	4	1	0					3
1196	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	J	先天奇形　③	二分脊椎、髄膜瘤			0	2	4	0	3	1		2		二分脊椎3、髄膜瘤0
1197	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	J	先天奇形　④	Chiari奇形			0	1	5	0	1			1		1
1198	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	J	先天奇形　⑤	脊髄空洞症			0	2	4	0	2	1		1		1
1199	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	K	神経皮膚症候 群、母斑症　①	神経線維腫症	164	神経線維腫症１型<von Recklinghausen病>	0	2	4	0	3	2		1		2
1200	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	K	神経皮膚症候 群、母斑症　②	結節性硬化症	165		0	2	4	0	6	1		3	2	1
1201	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	K	神経皮膚症候 群、母斑症　③	Sturge-Weber症候群			0	2	4	0	1			1		0
1202	IX　神経・運動器	10	神経・運動器の外傷（他）	K	神経皮膚症候 群、母斑症　④	von Hippel-Lindau病			0	2	4	0	1		1			0
1203	IX　神経・運動器	11	その他の重要な小児領域の疾患	A	神経変性疾患　①	脊髄性筋萎縮症	1037	Werdnig-Hoffmann病	0	4	2	0	7	2		4	1	2
1204	IX　神経・運動器	11	その他の重要な小児領域の疾患	B	先天性筋疾患　①	先天性筋ジストロフィー		福山型	0	3	3	0	0					0
1205	IX　神経・運動器	11	その他の重要な小児領域の疾患	B	先天性筋疾患　②	先天性筋強直性ジストロフィー			0	3	3	0	0					0
1205.5	IX　神経・運動器	11	その他の重要な小児領域の疾		けいれん性疾患、てんか KW	けいれん、痙攣			0	0	0	0	18	6	3	4	5	0
1206	IX　神経・運動器	11	その他の重要な小児領域の疾患	C	けいれん性疾患、てんかん　①	熱性けいれん			3	3	0	0	7	3	2	1	1	4
1207	IX　神経・運動器	11	その他の重要な小児領域の疾患	C	けいれん性疾患、てんかん　②	憤怒けいれん<泣き入りひきつけ>			0	1	5	0	0					0
1208	IX　神経・運動器	11	その他の重要な小児領域の疾患	C	けいれん性疾患、てんかん　③	West症候群<点頭てんかん>			0	4	2	0	7	2	1	2	2	0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
1209	IX　神経・運動器	11	その他の重要な小児領域の疾患	C	けいれん性疾患、てんかん	④	Lennox-Gastaut症候群			0	2	4	0	1		1			0
1210	IX　神経・運動器	11	その他の重要な小児領域の疾患	C	けいれん性疾患、てんかん	⑤	欠神てんかん			0	5	1	0	1			1		0
1211	IX　神経・運動器	11	その他の重要な小児領域の疾患	C	けいれん性疾患、てんかん	⑥	中心・側頭部に棘波をもつ良性小児てんかん			0	3	2	1	1			1		0
1212	IX　神経・運動器	11	その他の重要な小児領域の疾患	D	脳・脊髄の奇形	①	小頭症			0	1	5	0	0					1
1213	IX　神経・運動器	11	その他の重要な小児領域の疾患	E	その他	①	脳性麻痺			2	4	0	0	1		1			39
1214	IX　神経・運動器	11	その他の重要な小児領域の疾患	E	その他	②	亜急性硬化性全脳炎<SSPE>	997		0	4	2	0	1	1				0
1215	IX　神経・運動器	11	その他の重要な小児領域の疾患	E	その他	③	急性乳児片麻痺、急性小児片麻痺症候群			0	1	5	0	0					0
1216	X　内分泌代謝	1	間脳・下垂体疾患	A	視床下部機能障害	①	中枢性性早熟症			0	1	4	1	0					0
1217	X　内分泌代謝	1	間脳・下垂体疾患	A	視床下部機能障害	②	低ゴナドトロピン性性腺機能低下症		Kallmann症候群、Prader-Willi症候群	0	0	5	0	5	1	1	2	1	0
1218	X　内分泌代謝	1	間脳・下垂体疾患	A	視床下部機能障害	③	中枢性摂食異常症		神経性食思<欲>不振症<拒食症>	1	2	2	1	0					14
1219	X　内分泌代謝	1	間脳・下垂体疾患	A	視床下部機能障害	④	視床下部腫瘍		頭蓋咽頭腫、胚｛細胞｝腫	0	1	4	0	1	1				1
1220	X　内分泌代謝	1	間脳・下垂体疾患	B	下垂体機能障害	①	先端巨大症			2	2	2	0	9	1	2	4	2	2
1221	X　内分泌代謝	1	間脳・下垂体疾患	B	下垂体機能障害	②	Cushing病		Nelson症候群	2	3	1	0	0					1
1222	X　内分泌代謝	1	間脳・下垂体疾患	B	下垂体機能障害	③	高プロラクチン血症	919	プロラクチノーマ	1	4	1	0	12	4	2	4	2	4
1223	X　内分泌代謝	1	間脳・下垂体疾患	B	下垂体機能障害	④	下垂体前葉機能低下症		Sheehan症候群	1	4	1	0	12	4	2	3	3	14
1224	X　内分泌代謝	1	間脳・下垂体疾患	B	下垂体機能障害	⑤	視床下部下垂体炎		自己免疫性視床下部下垂体炎<リンパ球性下垂体炎>、IgG4関連疾患	0	1	5	0	6			4	2	0
1225	X　内分泌代謝	1	間脳・下垂体疾患	B	下垂体機能障害	⑥	中枢性尿崩症			2	0	4	0	8	4	4			2
1226	X　内分泌代謝	1	間脳・下垂体疾患	B	下垂体機能障害	⑦	ADH不適合分泌症候群<SIADH>			3	2	1	0	6	2	2	1	1	0
1227	X　内分泌代謝	1	間脳・下垂体疾患	B	下垂体機能障害	⑧	下垂体腫瘍	989を参照	下垂体腺腫、ラトケ嚢胞	3	0	3	0	10	2	2	3	3	10
1228	X　内分泌代謝	2	甲状腺疾患	A	甲状腺機能障害	①	甲状腺機能亢進症	21	Basedow病<Graves病>、Plummer病	6	0	0	0	44	8	9	16	11	132
1229	X　内分泌代謝	2	甲状腺疾患	A	甲状腺機能障害	②	甲状腺機能低下症	21		6	0	0	0	44	8	9	16	11	161
1230	X　内分泌代謝	2	甲状腺疾患	B	甲状腺の炎症	①	慢性甲状腺炎<橋本病>			3	2	1	0	1	1				61
1231	X　内分泌代謝	2	甲状腺疾患	B	甲状腺の炎症	②	無痛性甲状腺炎			1	4	1	0	0					0
1232	X　内分泌代謝	2	甲状腺疾患	B	甲状腺の炎症	③	亜急性甲状腺炎			3	2	1	0	3		1	1	1	3
1233	X　内分泌代謝	2	甲状腺疾患	C	甲状腺の腫瘍	①	単純性甲状腺腫			5	1	0	0	7	4	1	2		0
1234	X　内分泌代謝	2	甲状腺疾患	C	甲状腺の腫瘍	②	腺腫様甲状腺腫			2	4	0	0	0					22
1235	X　内分泌代謝	2	甲状腺疾患	C	甲状腺の腫瘍	③	甲状腺良性腫瘍			0	3	2	0	0					3
1236	X　内分泌代謝	2	甲状腺疾患	C	甲状腺の腫瘍	④	甲状腺悪性腫瘍			0	5	1	0	8	2	2	3	1	36
1237	X　内分泌代謝	3	副甲状腺疾患、カルシウム・リン代謝異常	A	副甲状腺<上皮小体>機能障害	①	副甲状腺<上皮小体>機能亢進症			2	3	1	0	8	3	1	2	2	5
1238	X　内分泌代謝	3	副甲状腺疾患、カルシウム・リン代謝異常	A	副甲状腺<上皮小体>機能障害	②	副甲状腺<上皮小体>機能低下症			2	3	1	0	3		1	1	1	2
1239	X　内分泌代謝	3	副甲状腺疾患、カルシウム・リン代謝異常	B	カルシウム・リン代謝異常	①	骨粗鬆症	930, 1094	骨密度測定<DXA>	6	0	0	0	21	4	7	6	4	630

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
1240	X　内分泌代謝	3	副甲状腺疾患、カルシウム・リン代謝異常	B	カルシウム・リン代謝異常	②	くる病、骨軟化症	1095		0	5	1	0	5	1	1	1	2	くる病1、骨軟化症0
1241	X　内分泌代謝	3	副甲状腺疾患、カルシウム・リン代謝異常	B	カルシウム・リン代謝異常	③	悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症			2	3	1	0	1			1		0
1242	X　内分泌代謝	3	副甲状腺疾患、カルシウム・リン代謝異常	B	カルシウム・リン代謝異常	④	腫瘍性低リン血症性骨軟化症			0	1	5	0	1				1	0
1243	X　内分泌代謝	4	副腎皮質・髄質疾患	A	副腎皮質機能障害	①	Cushing症候群		副腎腺腫、副腎過形成(ACTH非依存性大結節性副腎皮質過形成<AIMAH>)	4	1	1	0	18	5	4	7	2	1
1244	X　内分泌代謝	4	副腎皮質・髄質疾患	A	副腎皮質機能障害	②	アルドステロン過剰症、原発性アルドステロン症			4	1	1	0	15	2	5	6	2	5
1245	X　内分泌代謝	4	副腎皮質・髄質疾患	A	副腎皮質機能障害	③	慢性副腎不全<Addison病>		Schmidt症候群	3	2	1	0	7	2	1	2	2	3
1246	X　内分泌代謝	4	副腎皮質・髄質疾患	A	副腎皮質機能障害	④	急性副腎不全			4	1	1	0	2		2			0
1247	X　内分泌代謝	4	副腎皮質・髄質疾患	A	副腎皮質機能障害	⑤	副腎偶発腫			0	1	4	1	0					7
1248	X　内分泌代謝	4	副腎皮質・髄質疾患	A	副腎皮質機能障害	⑥	副腎〔皮質〕癌			0	3	2	0	0					0
1249	X　内分泌代謝	4	副腎皮質・髄質疾患	B	副腎髄質機能障害	①	褐色細胞腫			4	2	0	0	11	2	3	4	2	0
1250	X　内分泌代謝	4	副腎皮質・髄質疾患	B	副腎髄質機能障害	②	神経芽腫			0	4	2	0	3	1			2	0
1250.5	X　内分泌代謝	5	その他の内分泌疾患	A	性腺機能障害	KW	性腺機能低下症			0	0	0	0	6	5	1			0
1251	X　内分泌代謝	5	その他の内分泌疾患	A	性腺機能障害	①	原発性性腺機能低下症		Klinefelter症候群、Turner症候群	1	1	4	0	4	1	1	2		0
1252	X　内分泌代謝	5	その他の内分泌疾患	A	性腺機能障害	②	多嚢胞性卵巣症候群<PCOS>	920		1	3	1	0	8	4	1	2	1	3
1253	X　内分泌代謝	5	その他の内分泌疾患	B	内分泌腫瘍	①	多発性内分泌腫瘍症		MENⅠ型・Ⅱ型	1	4	1	0	7	2	3		2	0
1254	X　内分泌代謝	5	その他の内分泌疾患	B	内分泌腫瘍	②	消化管ホルモン産生腫瘍（消化管神経内分泌腫瘍）			0	2	4	0	0					0
1255	X　内分泌代謝	5	その他の内分泌疾患	B	内分泌腫瘍	③	膵神経内分泌腫瘍	655		0	4	2	0	8	3	3	1	1	0
1256	X　内分泌代謝	5	その他の内分泌疾患	B	内分泌腫瘍	④	異所性ホルモン産生腫瘍			0	2	3	1	0					0
1257	X　内分泌代謝	5	その他の内分泌疾患	B	その他の機能障害	①	ホルモン受容体異常症			0	2	3	1	0					0
1258	X　内分泌代謝	6	糖〔質〕代謝異常	A	糖尿病	①	１型糖尿病		自己免疫性、劇症１型	6	0	0	0	14		6	4	4	82
1259	X　内分泌代謝	6	糖〔質〕代謝異常	A	糖尿病	②	２型糖尿病			6	0	0	0	13		1	8	4	2321
1260	X　内分泌代謝	6	糖〔質〕代謝異常	A	糖尿病	③	二次性糖尿病、遺伝子異常による糖尿病			1	2	3	0	1			1		0
1261	X　内分泌代謝	6	糖〔質〕代謝異常	A	糖尿病	④	妊娠糖尿病	20		2	3	1	0	10	2	3	1	4	0
1262	X　内分泌代謝	6	糖〔質〕代謝異常	B	糖尿病の高血糖緊急症（急性合併症）	①	糖尿病ケトアシドーシス<DKA>			5	0	1	0	13	4	3	3	3	3
1263	X　内分泌代謝	6	糖〔質〕代謝異常	B	糖尿病の高血糖緊急症（急性合併症）	②	高血糖高浸透圧症候群			4	0	1	0	4	1	1	1	1	0
1264	X　内分泌代謝	6	糖〔質〕代謝異常	B	糖尿病の高血糖緊急症（急性合併症）	③	乳酸アシドーシス			4	1	1	0	6	2	1	1	2	0
1265	X　内分泌代謝	6	糖〔質〕代謝異常	C	糖尿病の慢性合併症	①	糖尿病網膜症	275		2	4	0	0	23	7	6	7	3	343
1266	X　内分泌代謝	6	糖〔質〕代謝異常	C	糖尿病の慢性合併症	②	糖尿病腎症	787		5	1	0	0	18	4	4	6	4	344
1267	X　内分泌代謝	6	糖〔質〕代謝異常	C	糖尿病の慢性合併症	③	糖尿病神経障害			4	1	1	0	1			1		113
1268	X　内分泌代謝	6	糖〔質〕代謝異常	C	糖尿病の慢性合併症	④	糖尿病足病変			1	4	1	0	0					4
1269	X　内分泌代謝	6	糖〔質〕代謝異常	C	糖尿病の慢性合併症	⑤	大血管障害			1	3	1	0	0					0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目　小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
1269.5	X　内分泌代謝	6	糖〔質〕代謝異常	D	低血糖症　KW	低血糖、低血糖性昏睡			0	0	0	0	32	8	5	10	9	0
1270	X　内分泌代謝	6	糖〔質〕代謝異常	D	低血糖症　①	インスリノーマ			0	5	1	0	8		2	2	4	0
1271	X　内分泌代謝	6	糖〔質〕代謝異常	D	低血糖症　②	インスリン自己免疫症候群			0	4	1	0	3			2	1	0
1272	X　内分泌代謝	6	糖〔質〕代謝異常	D	低血糖症　③	薬剤による低血糖			1	1	4	0	0					0
1273	X　内分泌代謝	6	糖〔質〕代謝異常	D	低血糖症　④	内分泌異常による低血糖			0	3	3	0	0					0
1274	X　内分泌代謝	6	糖〔質〕代謝異常	D	低血糖症　⑤	膵外腫瘍			0	0	6	0	0					0
1275	X　内分泌代謝	6	糖〔質〕代謝異常	D	低血糖症　⑥	反応性低血糖			0	2	4	0	0					0
1276	X　内分泌代謝	6	糖〔質〕代謝異常	E	糖代謝異常　①	乳糖分解酵素障害症<乳糖不耐症>			0	5	1	0	1	1				0
1277	X　内分泌代謝	7	脂質代謝異常	A	脂質異常症　①	原発性高脂血症		家族性高コレステロール血症<FH>	6	0	0	0	11	2	1	5	3	2178
1278	X　内分泌代謝	7	脂質代謝異常	A	脂質異常症　②	二次性高脂血症			1	3	2	0	1				1	0
1279	X　内分泌代謝	7	脂質代謝異常	B	肥満症　①	単純性肥満			5	0	1	0	2	1		1		10
1280	X　内分泌代謝	7	脂質代謝異常	B	肥満症　②	症候性肥満			2	3	1	0	0					0
1281	X　内分泌代謝	7	脂質代謝異常	B	肥満症　③	メタボリックシンドローム			5	0	1	0	12	1	6	2	3	0
1282	X　内分泌代謝	8	タンパク・アミノ酸代謝異常	A	血清タンパクの異常　①	低タンパク血症			1	3	1	1	0					0
1283	X　内分泌代謝	8	タンパク・アミノ酸代謝異常	B	アミロイドーシス　①	全身性アミロイドーシス		原発性、続発性	1	4	1	0	6		1	4	1	0
1284	X　内分泌代謝	9	その他の代謝異常	A	ビタミン類の代謝異常　①	ビタミン欠乏症		ビタミンB1欠乏症（Wernicke脳症）、ナイアシン<ニコチン酸>欠乏（ペラグラ）	3	2	1	0	12	5	0	5	2	1
1285	X　内分泌代謝	9	その他の代謝異常	A	ビタミン類の代謝異常　②	ビタミン過剰症			0	2	4	0	1	1				0
1286	X　内分泌代謝	9	その他の代謝異常	B	プリン（尿酸）代謝の異常　①	痛風	1122		6	0	0	0	10	1	2	5	2	272
1287	X　内分泌代謝	9	その他の代謝異常	B	プリン（尿酸）代謝の異常　②	高尿酸血症		Lesch-Nyhan症候群	4	2	0	0	12	2	3	3	4	164
1288	X　内分泌代謝	9	その他の代謝異常	C	ポルフィリン代謝の異常　①	ポルフィリン症			1	1	4	0	0					0
1288.5	X　内分泌代謝		その他の代謝異常	D	ビリルビン代謝の異常　KW	黄疸			0	0	0	0	14	4	4	3	3	0
1289	X　内分泌代謝	9	その他の代謝異常	D	ビリルビン代謝の異常　①	体質性黄疸	698		1	3	2	0	3			2	1	0
1290	X　内分泌代謝	9	その他の代謝異常	E	金属代謝の異常　①	ヘモクロマトーシス	640		0	2	4	0	0					1
1291	X　内分泌代謝	9	その他の代謝異常	E	金属代謝の異常　②	Wilson病	641	Kayser-Fleischer輪	0	4	2	0	3	1	1	1		0
1292	X　内分泌代謝	9	その他の代謝異常	E	金属代謝の異常　③	Menkes病			0	0	2	4	1			1		0
1293	X　内分泌代謝	9	その他の代謝異常	E	金属代謝の異常　④	亜鉛欠乏症候群<腸性肢端皮膚炎>			0	1	5	0	2	1	1			3
1294	X　内分泌代謝	9	その他の代謝異常	F	コラーゲン代謝の異常　①	Marfan症候群	563		0	5	1	0	16	6	3	6	1	0
1295	X　内分泌代謝	9	その他の代謝異常	F	コラーゲン代謝の異常　②	Ehlers-Danlos症候群			0	2	4	0	0					0
1296	X　内分泌代謝	9	その他の代謝異常	G	エラスチン代謝の異常　①	弾性線維性偽性黄色腫			0	1	3	2	0					0
1297	X　内分泌代謝	10	その他の重要な小児領域の疾患	A	間脳、下垂体、甲状腺、副腎その他の疾患　①	成長ホルモン分泌不全性低身長			1	3	2	0	14	4	2	6	2	8
1298	X　内分泌代謝	10	その他の重要な小児領域の疾患	A	間脳、下垂体、甲状腺、副腎その他の疾患　②	クレチン症			1	3	2	0	4	2	1	1		2

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
1299	X　内分泌代謝	10	その他の重要な小児領域の疾患	A	間脳、下垂体、甲状腺、副腎その他の疾患	③	先天性副腎皮質過形成	80		0	3	3	0	0					0
1300	X　内分泌代謝	10	その他の重要な小児領域の疾患	A	間脳、下垂体、甲状腺、副腎その他の疾患	④	性早熟症<思春期早発症>		McCune-Albright症候群	0	3	3	0	0					2
1301	X　内分泌代謝	10	その他の重要な小児領域の疾患	B	糖｛質｝代謝異常	①	アセトン血性嘔吐症<周期性嘔吐症>			4	0	2	0	2			2		0
1302	X　内分泌代謝	10	その他の重要な小児領域の疾患	B	糖｛質｝代謝異常	②	新生児低血糖症			1	0	5	0	0					1
1303	X　内分泌代謝	10	その他の重要な小児領域の疾患	B	糖｛質｝代謝異常	③	ケトン性低血糖症			1	0	5	0	3	1	1	1		2
1304	X　内分泌代謝	10	その他の重要な小児領域の疾患	C	先天代謝異常	①	糖原病		von Gierke病、Pompe病	1	0	5	0	0					0
1305	X　内分泌代謝	10	その他の重要な小児領域の疾患	C	先天代謝異常	②	ガラクトース血症			0	0	6	0	0					0
1306	X　内分泌代謝	10	その他の重要な小児領域の疾患	C	先天代謝異常	③	リピドーシス		Tay-Sachs病、Gaucher病、Niemann-Pick病、Fabry病	0	0	6	0	1		1			2
1307	X　内分泌代謝	10	その他の重要な小児領域の疾患	C	先天代謝異常	④	ムコ多糖症		Hurler症候群、Hunter症候群	0	0	6	0	1	1				0
1308	X　内分泌代謝	10	その他の重要な小児領域の疾患	C	先天代謝異常	⑤	先天性アミノ酸代謝異常症		フェニルケトン尿症<高フェニルアラニン血症>、ホモシスチン尿症、メープルシロップ尿症	0	0	6	0	0					1
1309	X　内分泌代謝	10	その他の重要な小児領域の疾患	C	先天代謝異常	⑥	尿素サイクル異常症		オルニチントランスカルバミラーゼ欠損症	0	0	5	1	1				1	0
1310	X　内分泌代謝	10	その他の重要な小児領域の疾患	C	先天代謝異常	⑦	有機酸代謝異常症			0	0	5	1	0					0
1311	X　内分泌代謝	11	乳腺・乳房疾患	A	炎症、感染症	①	乳腺炎	37		2	3	1	0	3	1	1	1		0
1311.5	X　内分泌代謝	11	乳腺・乳房疾患	B	腫瘍	KW	乳腺腫瘍			0	0	0	0	4	1	1	2		0
1312	X　内分泌代謝	11	乳腺・乳房疾患	B	腫瘍	①	乳管内乳頭腫			0	2	4	0	3	1		2		0
1313	X　内分泌代謝	11	乳腺・乳房疾患	B	腫瘍	②	乳腺線維腺腫			0	2	4	0	5	1		2	2	0
1314	X　内分泌代謝	11	乳腺・乳房疾患	B	腫瘍	③	乳腺葉状腫瘍			0	2	4	0	2			1	1	0
1315	X　内分泌代謝	11	乳腺・乳房疾患	B	腫瘍	④	乳癌		乳管癌、小葉癌、乳房Paget病	4	1	1	0	30	4	10	11	5	232
1316	X　内分泌代謝	11	乳腺・乳房疾患	C	その他の疾患	①	乳腺症			1	3	2	0	1			1		0
1317	XI　アレ膠免疫	1	アレルギー性疾患	A	全身性	①	アナフィラキシー			6	0	0	0	29	5	14	7	3	1
1318	XI　アレ膠免疫	1	アレルギー性疾患	A	全身性	②	薬物アレルギー			5	0	1	0	1		1			0
1319	XI　アレ膠免疫	1	アレルギー性疾患	A	全身性	③	食物アレルギー		食物依存性運動誘発アナフィラキシー	5	0	1	0	12		4	7	1	0
1320	XI　アレ膠免疫	1	アレルギー性疾患	A	全身性	④	血清病			0	1	5	0	0					0
1321	XI　アレ膠免疫	1	アレルギー性疾患	A	全身性	⑤	昆虫アレルギー			0	0	5	0	0					0
1322	XI　アレ膠免疫	1	アレルギー性疾患	A	全身性	⑥	職業性アレルギー			1	4	1	0	3	3				0
1323	XI　アレ膠免疫	1	アレルギー性疾患	B	皮膚、粘膜	①	アレルギー性結膜炎			5	0	1	0	2	1			1	153
1324	XI　アレ膠免疫	1	アレルギー性疾患	B	皮膚、粘膜	②	鼻アレルギー<アレルギー性鼻炎>	1509		5	1	0	0	6	1	1	2	2	658
1325	XI　アレ膠免疫	1	アレルギー性疾患	B	皮膚、粘膜	③	花粉症		口腔アレルギー症候群	5	0	1	0	5	1	1	3		11
1326	XI　アレ膠免疫	1	アレルギー性疾患	B	皮膚、粘膜	④	蕁麻疹			5	0	1	0	1	1				0
1327	XI　アレ膠免疫	1	アレルギー性疾患	B	皮膚、粘膜	⑤	アトピー性皮膚炎	140		5	0	1	0	15	4	4	5	2	513
1328	XI　アレ膠免疫	1	アレルギー性疾患	B	皮膚、粘膜	⑥	アレルギー性接触皮膚炎	1510		4	0	1	0	0					11

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目　小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
1329	XI　アレ膠免疫	1	アレルギー性疾患	B	皮膚、粘膜　⑦	血管性浮腫	147	C1インヒビター欠損症	3	1	1	0	5	2	1	1	1	0
1330	XI　アレ膠免疫	1	アレルギー性疾患	C	呼吸器　①	気管支喘息	422	NSAIDs過敏喘息	5	0	1	0	53	18	12	15	8	1117
1331	XI　アレ膠免疫	1	アレルギー性疾患	C	呼吸器　②	好酸球性肺疾患			0	1	5	0	0					2
1332	XI　アレ膠免疫	1	アレルギー性疾患	C	呼吸器　③	アレルギー性気管支肺アスペルギルス症	424		0	4	2	0	5	1	1	2	1	4
1333	XI　アレ膠免疫	1	アレルギー性疾患	C	呼吸器　④	過敏性肺炎	425, 1508		0	6	0	0	9	4	1	3	1	1
1333.5	XI　アレ膠免疫		膠原病と類縁疾患	A	膠原病　KW	膠原病			0	0	0	0	8	2	2	4		0
1334	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	A	膠原病　①	全身性エリテマトーデス<SLE>	791		6	0	0	0	28	6	3	15	4	40
1335	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	A	膠原病　②	全身性強皮症	792		3	2	1	0	11	2		3	6	15
1336	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	A	膠原病　③	皮膚筋炎、多発性筋炎			4	1	1	0	13	4		8	1	皮膚筋炎6、多発性筋炎7
1337	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	A	膠原病　④	結節性多発動脈炎	794		4	0	2	0	1			1		3
1338	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	A	膠原病　⑤	関節リウマチ	793, 1121		6	0	0	0	37	4	9	10	14	370
1339	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	B	血管炎を主とする類縁疾患　①	巨細胞性動脈炎<側頭動脈炎>			3	2	1	0	2			1	1	2
1340	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	B	血管炎を主とする類縁疾患　②	高安動脈炎<大動脈炎症候群>	562		1	4	1	0	2		1	1		3
1341	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	B	血管炎を主とする類縁疾患　③	顕微鏡的多発血管炎	795, 428	ANCA関連血管炎	1	3	2	0	21		2	11	8	4
1342	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	B	血管炎を主とする類縁疾患　④	多発血管炎性肉芽腫症<Wegener肉芽腫症>	429, 796		1	3	2	0	3		2	1		2
1343	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	B	血管炎を主とする類縁疾患　⑤	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症<Churg-Strauss症候群>	430		1	2	3	0	5	2	1	2		2
1344	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	B	血管炎を主とする類縁疾患　⑥	皮膚白血球破砕性血管炎			0	0	5	1	0					0
1345	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	B	血管炎を主とする類縁疾患　⑦	IgA血管炎<Schönlein-Henoch紫斑病>	765		1	3	1	0	9	2	4	2	1	5
1346	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	B	血管炎を主とする類縁疾患　⑧	クリオグロブリン血症性血管炎			0	0	5	1	0					0
1347	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	B	血管炎を主とする類縁疾患　⑨	抗GBM病		Goodpasture症候群	0	2	4	0	2		2			0
1348	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	C	関節炎を主体とする類縁疾患　①	悪性関節リウマチ			0	3	2	0	1			1		0
1349	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	C	関節炎を主体とする類縁疾患　②	成人Still病			1	3	1	0	5		3	1	1	3
1350	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	C	関節炎を主体とする類縁疾患　③	強直性脊椎炎	1085		0	3	2	0	2				2	1
1351	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	C	関節炎を主体とする類縁疾患　④	反応性関節炎		Reiter症候群	1	3	1	0	0					0
1352	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	C	関節炎を主体とする類縁疾患　⑤	Felty症候群			0	0	5	1	0					0
1353	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	C	関節炎を主体とする類縁疾患　⑥	乾癬性関節炎			0	2	3	0	2		1	1		0
1354	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	C	関節炎を主体とする類縁疾患　⑦	掌蹠膿疱症性関節炎			0	2	3	0	1				1	39
1355	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	C	関節炎を主体とする類縁疾患　⑧	結晶誘発性関節炎		痛風、偽痛風	2	2	2	0	7		1	3	3	108
1356	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	D	その他の類縁疾患　①	混合性結合組織病<MCTD>			1	4	1	0	2	1		1		6
1357	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	D	その他の類縁疾患　②	Sjögren症候群	814		3	2	1	0	8		2	4	2	32
1358	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	D	その他の類縁疾患　③	抗リン脂質抗体症候群			1	4	1	0	9	5	1	2	1	0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
1359	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	D	その他の類縁疾患	④	リウマチ性多発筋痛症			4	1	1	0	5		1	1	3	24
1360	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	D	その他の類縁疾患	⑤	サルコイドーシス	270, 427		3	2	1	0	8	1	4	3		16
1361	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	D	その他の類縁疾患	⑥	Behçet病	269		3	2	1	0	7	2	1	3	1	9
1362	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	D	その他の類縁疾患	⑦	再発性多発軟骨炎			0	3	3	0	0					1
1363	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	D	その他の類縁疾患	⑧	アミロイドーシス	432		1	4	1	0	0					3
1364	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	D	その他の類縁疾患	⑨	IgG4関連疾患			1	3	2	0	0					0
1365	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	D	その他の類縁疾患	⑩	線維筋痛症			0	4	2	0	1				1	5
1366	XI　アレ膠免疫	2	膠原病と類縁疾患	D	その他の類縁疾患	⑪	慢性疲労症候群			0	3	2	0	0					9
1366.5	XI　アレ膠免疫					KW	免疫不全、原発性免疫不全			0	0	0	0	8	3	1	3	1	0
1367	XI　アレ膠免疫	3	原発性免疫不全症	A	複合型免疫不全症	①	重症複合免疫不全症			0	2	4	0	1			1		0
1368	XI　アレ膠免疫	3	原発性免疫不全症	B	抗体産生不全を主とする免疫不全症	①	無ガンマグロブリン血症			0	2	4	0	0					0
1369	XI　アレ膠免疫	3	原発性免疫不全症	B	抗体産生不全を主とする免疫不全症	②	分類不能型免疫不全症			0	1	2	3	0					0
1370	XI　アレ膠免疫	3	原発性免疫不全症	B	抗体産生不全を主とする免疫不全症	③	高IgM症候群			0	1	4	1	0					0
1371	XI　アレ膠免疫	3	原発性免疫不全症	C	他のよく定義された免疫不全症	①	Wiskott-Aldrich症候群			0	1	5	0	3	2		1		0
1372	XI　アレ膠免疫	3	原発性免疫不全症	C	他のよく定義された免疫不全症	②	毛細血管拡張性失調症<ataxia telangiectasia>			0	1	5	0	1				1	1
1373	XI　アレ膠免疫	3	原発性免疫不全症	C	他のよく定義された免疫不全症	③	胸腺低形成<DiGeorge症候群>			0	1	5	0	2	1	1			0
1374	XI　アレ膠免疫	3	原発性免疫不全症	D	免疫調節不全症	①	Chédiak-Higashi症候群	729		0	1	4	1	0					0
1375	XI　アレ膠免疫	3	原発性免疫不全症	E	食細胞機能不全症	①	慢性肉芽腫症、重症先天性好中球減少症	728		0	1	5	0	5	1		4		0
1376	XI　アレ膠免疫	3	原発性免疫不全症	F	補体欠損症	中	補体欠損症		C1インヒビター欠損症	0	2	3	1	0					0
1377	XI　アレ膠免疫	3	原発性免疫不全症	G	自己炎症性疾患	①	家族性地中海熱			0	3	3	0	0					0
1378	XI　アレ膠免疫	4	続発性免疫不全症	A	感染による免疫不全症	①	後天性免疫不全症候群<AIDS>			4	1	1	0	9	1	2	6		9
1379	XI　アレ膠免疫	4	続発性免疫不全症	B	悪性腫瘍による免疫不全症	中	悪性腫瘍による免疫不全症			3	2	1	0	0					0
1380	XI　アレ膠免疫	4	続発性免疫不全症	C	自己免疫疾患による免疫不全症	中	自己免疫疾患による免疫不全症			3	2	1	0	0					0
1381	XI　アレ膠免疫	4	続発性免疫不全症	D	医原性免疫不全症	中	医原性免疫不全症			2	2	1	0	0					0
1382	XI　アレ膠免疫	5	その他の重要な小児領域の疾患	A	膠原病と類縁疾患	①	若年性特発性関節炎<JIA>			1	3	2	0	3		2		1	3
1383	XI　アレ膠免疫	5	その他の重要な小児領域の疾患	A	膠原病と類縁疾患	②	川崎病	532		4	1	1	0	8	1	2	3	2	7
1384	XI　アレ膠免疫	5	その他の重要な小児領域の疾患	A	膠原病と類縁疾患	③	リウマチ熱		心弁膜症	0	5	1	0	2	1		1		0
1385	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症	①	インフルエンザ	405		5	1	0	0	16	3	6	5	2	8
1386	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症	②	RSウイルス感染症			3	2	1	0	3				3	5
1387	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症	③	流行性耳下腺炎<ムンプス>			4	1	1	0	4	2		1	1	2
1388	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症	④	麻疹			3	1	2	0	14	4	2	2	6	0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目　小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
1389	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症　⑤	風疹			3	3	0	0	9	1	2	6		0
1390	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症　⑥	突発性発疹			4	1	1	0	4		1	2	1	1
1391	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症　⑦	急性灰白髄炎<ポリオ>			0	1	5	0	2			1	1	3
1392	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症　⑧	コクサッキーウイルス感染症、エコー<ECHO>ウイルス感染症		ヘルパンギーナ、手足口病、急性出血性結膜炎	4	1	1	0	10	2	4	2	2	0
1393	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症　⑨	アデノウイルス感染症		咽頭結膜熱、流行性角結膜炎	3	2	1	0	13	2	5	4	2	3
1394	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症　⑩	ウイルス性下痢症			4	0	1	0	0					0
1395	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症　⑪	単純ヘルペスウイルス感染症			4	2	0	0	5	1	1	2	1	20
1396	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症　⑫	水痘・帯状疱疹			5	1	0	0	18	3	6	5	4	71
1397	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症　⑬	Epstein-Barr<EB>ウイルス感染症			2	3	1	0	4	1	1	1	1	0
1398	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症　⑭	パルボウイルスB19感染症		伝染性紅斑	3	0	3	0	6		3	1	2	0
1399	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症　⑮	サイトメガロウイルス感染症			1	3	2	0	7	3	2	2		0
1400	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症　⑯	デング熱			0	2	4	0	2			2		0
1401	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症　⑰	ジカウイルス感染症			0	1	5	0	0					0
1402	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症　⑱	エボラ出血熱			0	0	6	0	1			1		0
1403	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症　⑲	ヒトパピローマウイルス<HPV>感染症		尖圭コンジローマ、尋常性疣贅、結膜乳頭腫、子宮頸癌	1	2	3	0	6	2		4		312
1404	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症　⑳	伝染性軟属腫			0	3	3	0	0					18
1405	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症　㉑	ヒト免疫不全ウイルス<HIV>感染症、後天性免疫不全症候群<AIDS>			3	1	2	0	28	7	7	9	5	9
1406	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症　㉒	ヒトT 細胞白血病ウイルス<HTLV-Ⅰ>感染症			1	3	2	0	7	1		3	3	2
1407	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症　㉓	ウイルス性肝炎			4	2	0	0	1				1	146
1408	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症　㉔	ウイルス性髄膜炎			6	0	0	0	0					0
1409	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症　㉕	日本脳炎			1	2	3	0	2		1	1		0
1410	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症　㉖	ノロウイルス感染症			3	2	1	0	7		3	3	1	0
1411	XII　感染	1	ウイルス	A	ウイルスによる感染症　㉗	ロタウイルス感染症			3	2	1	0	3	1		2		0
1412	XII　感染	2	クラミジア、マイコプラズマ、リケッチア	A	クラミジア・マイコプラズマ・リケッチアによる感染症　①	オウム病			2	3	0	1	1		1			0
1413	XII　感染	2	クラミジア、マイコプラズマ、リケッチア	A	クラミジア・マイコプラズマ・リケッチアによる感染症　②	クラミジア肺炎			3	3	0	0	0					0
1414	XII　感染	2	クラミジア、マイコプラズマ、リケッチア	A	クラミジア・マイコプラズマ・リケッチアによる感染症　③	クラミジア結膜炎<トラコーマ>			1	3	1	0	0					11
1415	XII　感染	2	クラミジア、マイコプラズマ、リケッチア	A	クラミジア・マイコプラズマ・リケッチアによる感染症　④	性器クラミジア感染症			4	2	0	0	5	2	2	1		10
1416	XII　感染	2	クラミジア、マイコプラズマ、リケッチア	A	クラミジア・マイコプラズマ・リケッチアによる感染症　⑤	マイコプラズマ肺炎			4	1	1	0	6	3	1	2		3
1417	XII　感染	2	クラミジア、マイコプラズマ、リケッチア	A	クラミジア・マイコプラズマ・リケッチアによる感染症　⑥	ツツガ虫病			0	3	2	0	5	1	1	1	2	0
1418	XII　感染	2	クラミジア、マイコプラズマ、リケッチア	A	クラミジア・マイコプラズマ・リケッチアによる感染症　⑦	Q熱			0	2	4	0	1			1		0
1419	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症　①	連鎖球菌感染症			4	1	1	0	2	2				15

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目　小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
1420	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ②	腸球菌感染症			3	1	1	0	0					0
1421	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ③	肺炎球菌感染症			3	2	1	0	0					0
1422	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ④	黄色ブドウ球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌<MRSA>感染症		トキシックショック症候群<TSS>	4	1	1	0	7	1		5	1	0
1423	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ⑤	表皮ブドウ球菌感染症			3	2	1	0	0					0
1424	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ⑥	淋菌感染症			3	2	1	0	4		2	2		0
1425	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ⑦	髄膜炎菌感染症		Waterhouse-Friderichsen症候群	3	3	0	0	0					0
1426	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ⑧	ヘリコバクター・ピロリ感染症	584		4	0	1	0	11	2	1	5	3	0
1427	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ⑨	リステリア感染症			0	2	4	0	2			1	1	0
1428	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ⑩	ジフテリア			0	1	5	0	0					0
1429	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ⑪	ヘモフィルス感染症		インフルエンザ｛桿｝菌感染症、軟性下疳	1	2	3	0	0					0
1430	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ⑫	モラクセラ・カタラリス感染症			3	1	2	0	1			1		0
1431	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ⑬	細菌性赤痢			1	3	2	0	1	1				0
1432	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ⑭	サルモネラ感染症		腸チフス、パラチフス、非チフス性サルモネラ症	3	2	1	0	2			1	1	0
1433	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ⑮	百日咳			3	2	1	0	6	3	1	2		0
1434	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ⑯	大腸菌感染症		腸管出血性大腸菌感染症	3	2	1	0	9		3	2	4	0
1435	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ⑰	クレブシエラ感染症			3	1	2	0	0					0
1436	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ⑱	セラチア感染症			2	2	1	0	0					0
1437	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ⑲	腸炎ビブリオ感染症			2	2	2	0	0					0
1438	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ⑳	コレラ			0	3	3	0	0					0
1439	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ㉑	レジオネラ症			3	2	1	0	2	1		1		0
1440	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ㉒	緑膿菌感染症			4	2	0	0	3	1	1		1	0
1441	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ㉓	アシネトバクター感染症			2	2	1	0	0					0
1442	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ㉔	破傷風			0	4	2	0	2	1	1			0
1443	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ㉕	ガス壊疽	215	壊死性筋膜炎	0	3	2	0	9	1	3	4	1	0
1444	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ㉖	ボツリヌス症		バイオテロ	0	4	1	0	1			1		0
1445	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ㉗	クロストリジウム・ディフィシル腸炎		CDトキシン	4	0	1	0	4			1	3	1
1446	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ㉘	バクテロイデス感染症			1	2	2	0	0					0
1447	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ㉙	放線菌症			0	3	2	0	0					0
1448	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ㉚	ノカルジア症			0	2	3	0	0					0
1449	XII　感染	3	細菌	A	細菌（抗酸菌<マイコバクテリア>を除く）による感染症 ㉛	梅毒			2	3	1	0	9	2		3	4	1
1449.5	XII　感染	4	抗酸菌<マイコバクテリ	A	抗酸菌<マイコバクテリ KW	抗酸菌症			0	0	0	0	5		2	2	1	0

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
1450	XII　感染	4	抗酸菌<マイコバクテリア>	A	抗酸菌<マイコバクテリア>による感染症	①	結核			5	0	1	0	23	6	4	11	2	56
1451	XII　感染	4	抗酸菌<マイコバクテリア>	A	抗酸菌<マイコバクテリア>による感染症	②	非結核性<非定型>抗酸菌症	404, 219		3	1	1	0	5	1	1	2	1	33
1452	XII　感染	4	抗酸菌<マイコバクテリア>	A	抗酸菌<マイコバクテリア>による感染症	③	Hansen病			0	1	5	0	3		3			1
1453	XII　感染	5	真菌、寄生虫、その他の病原体	A	真菌、寄生虫、その他の病原体による感染症	①	カンジダ症			4	0	1	0	9		1	6	2	36
1454	XII　感染	5	真菌、寄生虫、その他の病原体	A	真菌、寄生虫、その他の病原体による感染症	②	クリプトコックス症			1	3	1	0	5		1	4		1
1455	XII　感染	5	真菌、寄生虫、その他の病原体	A	真菌、寄生虫、その他の病原体による感染症	③	アスペルギルス症	402		3	3	0	0	17	4	3	8	2	4
1456	XII　感染	5	真菌、寄生虫、その他の病原体	A	真菌、寄生虫、その他の病原体による感染症	④	白癬	220		3	2	1	0	9	1	3	3	2	350
1457	XII　感染	5	真菌、寄生虫、その他の病原体	A	真菌、寄生虫、その他の病原体による感染症	⑤	癜風	221		0	3	3	0	1	1				4
1458	XII　感染	5	真菌、寄生虫、その他の病原体	A	真菌、寄生虫、その他の病原体による感染症	⑥	スポロトリコーシス	222		0	2	3	0	0					0
1459	XII　感染	5	真菌、寄生虫、その他の病原体	A	真菌、寄生虫、その他の病原体による感染症	⑦	ニューモシスチス肺炎			5	1	0	0	0					1
1460	XII　感染	5	真菌、寄生虫、その他の病原体	A	真菌、寄生虫、その他の病原体による感染症	⑧	アメーバ赤痢		輸入感染症	0	2	4	0	4	2	1	1		0
1461	XII　感染	5	真菌、寄生虫、その他の病原体	A	真菌、寄生虫、その他の病原体による感染症	⑨	マラリア		輸入感染症	0	2	4	0	4		1	3		0
1462	XII　感染	5	真菌、寄生虫、その他の病原体	A	真菌、寄生虫、その他の病原体による感染症	⑩	回虫症			0	0	5	0	0					0
1463	XII　感染	5	真菌、寄生虫、その他の病原体	A	真菌、寄生虫、その他の病原体による感染症	⑪	アニサキス症			1	5	0	0	1			1		0
1464	XII　感染	5	真菌、寄生虫、その他の病原体	A	真菌、寄生虫、その他の病原体による感染症	⑫	吸虫症	406		0	2	3	0	1			1		0
1465	XII　感染	5	真菌、寄生虫、その他の病原体	A	真菌、寄生虫、その他の病原体による感染症	⑬	トキソプラズマ症			1	2	3	0	0					0
1466	XII　感染	5	真菌、寄生虫、その他の病原体	A	真菌、寄生虫、その他の病原体による感染症	⑭	クリプトスポリジウム症		人獣共通感染症	0	0	6	0	0					0
1467	XII　感染	5	真菌、寄生虫、その他の病原体	A	真菌、寄生虫、その他の病原体による感染症	⑮	トリコモナス症			1	2	2	0	0					1
1468	XII　感染	5	真菌、寄生虫、その他の病原体	A	真菌、寄生虫、その他の病原体による感染症	⑯	ジアルジア症		ランブル鞭毛虫	0	1	4	0	0					0
1469	XII　感染	5	真菌、寄生虫、その他の病原体	A	真菌、寄生虫、その他の病原体による感染症	⑰	プリオン病		Creutzfeldt-Jakob病、ウシ海綿状脳症<BSE、狂牛病>	0	1	5	0	0					0
1469.5	XIII　環境	1	食中毒、病害動物によ	A	食中毒	KW	食中毒			0	0	0	0	10	2		5	3	0
1470	XIII　環境	1	食中毒、病害動物による疾患	A	食中毒	①	細菌性食中毒			5	1	0	0	10	3	3	2	2	0
1471	XIII　環境	1	食中毒、病害動物による疾患	A	食中毒	②	ウイルス性食中毒			3	2	0	0	4	1	1	2		0
1472	XIII　環境	1	食中毒、病害動物による疾患	A	食中毒	③	化学性食中毒			2	3	1	0	0					0
1473	XIII　環境	1	食中毒、病害動物による疾患	A	食中毒	④	自然毒食中毒		フグ、キノコ	2	4	0	0	4	1	1	2		0
1474	XIII　環境	1	食中毒、病害動物による疾患	B	病害動物および鼠族・昆虫による疾患	①	毒蛇咬傷			0	0	5	0	0					0
1475	XIII　環境	1	食中毒、病害動物による疾患	B	病害動物および鼠族・昆虫による疾患	②	節足動物による疾患		ダニ、クモ	0	1	4	0	2		2			0
1476	XIII　環境	1	食中毒、病害動物による疾患	C	旅行者疾患	①	旅行者下痢症			1	4	1	0	3		1	1	1	0
1477	XIII　環境	2	アルコールによる障害、薬物依存・中毒	A	アルコールによる障害	①	急性アルコール中毒			5	1	0	0	3			2	1	0
1478	XIII　環境	2	アルコールによる障害、薬物依存・中毒	A	アルコールによる障害	②	アルコール依存症	90		6	0	0	0	18	4	4	5	5	46
1479	XIII　環境	2	アルコールによる障害、薬物依存・中毒	A	アルコールによる障害	③	アルコール精神病		Korsakoff精神病、Wernicke脳症	3	2	1	0	11	3	4	3	1	8

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
1480	XIII　環境	2	アルコールによる障害、薬物依存・中毒	A	アルコールによる障害	④	慢性アルコール性臓器障害			3	1	1	0	7	2	1	2	2	40
1481	XIII　環境	2	アルコールによる障害、薬物依存・中毒	A	アルコールによる障害	⑤	妊婦・胎児への影響、胎児性アルコール症候群			1	3	2	0	0					0
1482	XIII　環境	2	アルコールによる障害、薬物依存・中毒	B	薬物依存・中毒	①	睡眠薬依存・中毒			6	0	0	0	0					1
1483	XIII　環境	2	アルコールによる障害、薬物依存・中毒	B	薬物依存・中毒	②	向精神薬依存・中毒			6	0	0	0	0					0
1484	XIII　環境	2	アルコールによる障害、薬物依存・中毒	B	薬物依存・中毒	③	解熱鎮痛薬依存・中毒			6	0	0	0	1			1		0
1485	XIII　環境	2	アルコールによる障害、薬物依存・中毒	B	薬物依存・中毒	④	麻薬依存・中毒			3	2	1	0	2		2			0
1486	XIII　環境	2	アルコールによる障害、薬物依存・中毒	B	薬物依存・中毒	⑤	覚醒剤依存・中毒			3	2	1	0	6	2	2	2		0
1487	XIII　環境	2	アルコールによる障害、薬物依存・中毒	B	薬物依存・中毒	⑥	有機溶剤依存・中毒	1495		2	4	0	0	5	1	1		3	4
1488	XIII　環境	2	アルコールによる障害、薬物依存・中毒	C	毒劇物中毒	中	毒劇物中毒			0	4	2	0	0					0
1489	XIII　環境	3	喫煙による障害	A	タバコ煙	①	タバコ煙中の有害物質、未成年者の喫煙、受動喫煙			4	0	1	0	25	4	9	8	4	0
1490	XIII　環境	3	喫煙による障害	B	喫煙による健康障害	①	タバコ依存		ニコチン代替療法	4	0	1	0	4		2	2		1
1491	XIII　環境	3	喫煙による障害	B	喫煙による健康障害	②	呼吸器疾患（慢性閉塞性肺疾患<COPD>）、がん、循環器疾患		Brinkman指数	3	1	1	0	0					12
1492	XIII　環境	3	喫煙による障害	B	喫煙による健康障害	③	妊婦・胎児への影響			4	0	2	0	0					0
1493	XIII　環境	4	産業中毒とその他の職業性疾患	A	産業中毒	①	金属中毒			0	4	2	0	11	2	4	5		0
1494	XIII　環境	4	産業中毒とその他の職業性疾患	A	産業中毒	②	ガス中毒			0	3	2	0	1		1			0
1495	XIII　環境	4	産業中毒とその他の職業性疾患	A	産業中毒	③	有機溶剤中毒	1487		0	3	2	0	0					0
1496	XIII　環境	4	産業中毒とその他の職業性疾患	A	産業中毒	④	化学物質中毒			0	3	2	0	5	1	1		3	0
1497	XIII　環境	4	産業中毒とその他の職業性疾患	A	産業中毒	⑤	農薬中毒		有機リン剤、有機塩素剤	2	3	1	0	0					0
1498	XIII　環境	4	産業中毒とその他の職業性疾患	B	作業態様による障害	①	職業性腰痛			3	2	1	0	10	1	3	6		0
1499	XIII　環境	4	産業中毒とその他の職業性疾患	B	作業態様による障害	②	頸肩腕障害			3	2	1	0	1	1				0
1500	XIII　環境	4	産業中毒とその他の職業性疾患	B	作業態様による障害	③	VDT作業による障害			4	1	1	0	1	1				0
1501	XIII　環境	4	産業中毒とその他の職業性疾患	C	過重労働による障害	①	脳血管疾患			4	1	0	0	3	1		2		0
1502	XIII　環境	4	産業中毒とその他の職業性疾患	C	過重労働による障害	②	虚血性心疾患			4	1	0	0	0					20
1503	XIII　環境	4	産業中毒とその他の職業性疾患	C	過重労働による障害	③	自殺			3	1	1	0	0					33
1504	XIII　環境	4	産業中毒とその他の職業性疾患	D	職業性ストレスによる障害	①	適応障害	106		4	1	1	0	19	4	4	10	1	0
1505	XIII　環境	4	産業中毒とその他の職業性疾患	D	職業性ストレスによる障害	②	心身症	122		4	2	0	0	4			3	1	101
1506	XIII　環境	4	産業中毒とその他の職業性疾患	D	職業性ストレスによる障害	③	うつ病	92		6	0	0	0	0					0
1507	XIII　環境	4	産業中毒とその他の職業性疾患	E	職業性アレルギー	①	職業性喘息			1	3	1	0	43	11	9	15	8	963
1508	XIII　環境	4	産業中毒とその他の職業性疾患	E	職業性アレルギー	②	過敏性肺炎	425, 1333		0	4	1	0	0					0
1509	XIII　環境	4	産業中毒とその他の職業性疾患	E	職業性アレルギー	③	鼻アレルギー<アレルギー性鼻炎>	1324		5	0	1	0	9	4	1	3	1	1
1510	XIII　環境	4	産業中毒とその他の職業性疾患	E	職業性アレルギー	④	アレルギー性接触皮膚炎	1328		5	0	1	0	6	1	1	2	2	658
														0					11

通番	章	大	大　項　目	中	中　項　目	小	小　項　目	再掲	備　考	WGメンバーの判断 A	B	C	削除	過去の医師国家試験問題のキーワード KW計	H17	H21	H25	H30	患者調査による頻度
1511	XIII　環境	4	産業中毒とその他の職業性疾患	F	その他の職業性疾患	①	職業がん			1	2	2	0	0					0
1512	XIII　環境	4	産業中毒とその他の職業性疾患	F	その他の職業性疾患	②	じん肺			1	3	1	0	5		3	1	1	2
1513	XIII　環境	4	産業中毒とその他の職業性疾患	F	その他の職業性疾患	③	酸素欠乏症			1	4	1	0	3	1		2		90
1514	XIII　環境	5	物理的原因・生活環境因子による障害	A	低温・高温環境による疾患	①	熱中症			4	1	0	0	15		1	8	6	0
1515	XIII　環境	5	物理的原因・生活環境因子による障害	A	低温・高温環境による疾患	②	偶発性低体温〔症〕			3	1	0	1	3		1	1	1	0
1516	XIII　環境	5	物理的原因・生活環境因子による障害	A	低温・高温環境による疾患	③	凍傷			3	3	0	0	0					2
1517	XIII　環境	5	物理的原因・生活環境因子による障害	B	騒音障害	①	騒音性難聴	303		2	2	2	0	16	5	1	9	1	1
1518	XIII　環境	5	物理的原因・生活環境因子による障害	C	振動による障害	①	動揺病	316		2	3	1	0	0					0
1519	XIII　環境	5	物理的原因・生活環境因子による障害	C	振動による障害	②	手腕振動障害			0	4	2	0	0					4
1520	XIII　環境	5	物理的原因・生活環境因子による障害	D	気圧による障害	①	減圧症			0	3	3	0	4	1		2	1	0
1521	XIII　環境	5	物理的原因・生活環境因子による障害	D	気圧による障害	②	高山病			0	3	2	0	0					0
1521.5	XIII　環境	5	物理的原因・生活環境	E	電離放射線障害	KW	放射線障害			0	0	0	0	4	1	2	1		0
1522	XIII　環境	5	物理的原因・生活環境因子による障害	E	電離放射線障害	①	急性放射線障害			0	3	2	0	1				1	2
1523	XIII　環境	5	物理的原因・生活環境因子による障害	E	電離放射線障害	②	放射線による発がん			0	4	1	0	0					0
1524	XIII　環境	5	物理的原因・生活環境因子による障害	F	非電離放射線障害	中	非電離放射線障害		レーザー、紫外線、赤外線	1	2	2	0	3	1		1	1	0
1525	XIII　環境	5	物理的原因・生活環境因子による障害	G	家庭用品による障害	①	誤飲			4	0	1	0	6	2	1	2	1	0
1526	XIII　環境	5	物理的原因・生活環境因子による障害	G	家庭用品による障害	②	誤嚥			4	0	1	0	3		1	1	1	0
1527	XIII　環境	5	物理的原因・生活環境因子による障害	G	家庭用品による障害	③	創傷			4	0	1	0	2			1	1	0
1528	XIII　環境	5	物理的原因・生活環境因子による障害	G	家庭用品による障害	④	熱傷	372		4	1	0	0	14	3	2	6	3	3
1529	XIII　環境	5	物理的原因・生活環境因子による障害	G	家庭用品による障害	⑤	急性中毒			3	1	1	0	0					15
1530	XIII　環境	5	物理的原因・生活環境因子による障害	H	家庭におけるアレルギー・過敏症	①	化学物質過敏症			0	3	2	0	0					0
1531	XIII　環境	5	物理的原因・生活環境因子による障害	H	家庭におけるアレルギー・過敏症	②	シックハウス症候群〈シックビル症候群〉			1	3	2	0	8	3	2	2	1	1
1532	XIII　環境	5	物理的原因・生活環境因子による障害	I	事故による障害	①	交通事故			4	1	1	0	4	1		3		0
1533	XIII　環境	5	物理的原因・生活環境因子による障害	I	事故による障害	②	家庭内事故			3	0	1	2	0					0
1534	XIII　環境	5	物理的原因・生活環境因子による障害	I	事故による障害	③	自然災害			3	0	1	2	0					0

| | | |

序号	产品名称	生产企业名称	商标	产品规格	产品分类
1	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.05ml	一次性使用无菌注射器
2	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.1ml	一次性使用无菌注射器
3	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.2ml	一次性使用无菌注射器
4	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.5ml	一次性使用无菌注射器
5	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	1ml	一次性使用无菌注射器
6	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	2ml	一次性使用无菌注射器
7	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	5ml	一次性使用无菌注射器
8	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	10ml	一次性使用无菌注射器
9	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	20ml	一次性使用无菌注射器
10	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	50ml	一次性使用无菌注射器
11	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	60ml	一次性使用无菌注射器
12	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	100ml	一次性使用无菌注射器
13	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.05ml	一次性使用无菌注射器
14	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.1ml	一次性使用无菌注射器
15	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.2ml	一次性使用无菌注射器
16	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.5ml	一次性使用无菌注射器
17	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	1ml	一次性使用无菌注射器
18	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	2ml	一次性使用无菌注射器
19	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	5ml	一次性使用无菌注射器
20	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	10ml	一次性使用无菌注射器
21	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	20ml	一次性使用无菌注射器
22	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	50ml	一次性使用无菌注射器
23	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	60ml	一次性使用无菌注射器
24	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	100ml	一次性使用无菌注射器
25	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.05ml	一次性使用无菌注射器
26	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.1ml	一次性使用无菌注射器
27	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.2ml	一次性使用无菌注射器
28	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.5ml	一次性使用无菌注射器
29	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	1ml	一次性使用无菌注射器
30	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	2ml	一次性使用无菌注射器
31	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	5ml	一次性使用无菌注射器
32	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	10ml	一次性使用无菌注射器
33	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	20ml	一次性使用无菌注射器
34	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	50ml	一次性使用无菌注射器
35	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	60ml	一次性使用无菌注射器
36	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	100ml	一次性使用无菌注射器
37	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.05ml	一次性使用无菌注射器
38	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.1ml	一次性使用无菌注射器
39	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.2ml	一次性使用无菌注射器
40	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.5ml	一次性使用无菌注射器
41	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	1ml	一次性使用无菌注射器
42	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	2ml	一次性使用无菌注射器
43	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	5ml	一次性使用无菌注射器
44	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	10ml	一次性使用无菌注射器
45	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	20ml	一次性使用无菌注射器
46	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	50ml	一次性使用无菌注射器
47	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	60ml	一次性使用无菌注射器
48	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	100ml	一次性使用无菌注射器
49	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.05ml	一次性使用无菌注射器
50	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.1ml	一次性使用无菌注射器
51	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.2ml	一次性使用无菌注射器
52	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.5ml	一次性使用无菌注射器
53	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	1ml	一次性使用无菌注射器
54	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	2ml	一次性使用无菌注射器
55	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	5ml	一次性使用无菌注射器
56	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	10ml	一次性使用无菌注射器
57	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	20ml	一次性使用无菌注射器
58	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	50ml	一次性使用无菌注射器
59	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	60ml	一次性使用无菌注射器
60	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	100ml	一次性使用无菌注射器
61	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.05ml	一次性使用无菌注射器
62	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.1ml	一次性使用无菌注射器
63	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.2ml	一次性使用无菌注射器
64	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.5ml	一次性使用无菌注射器
65	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	1ml	一次性使用无菌注射器
66	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	2ml	一次性使用无菌注射器
67	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	5ml	一次性使用无菌注射器
68	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	10ml	一次性使用无菌注射器
69	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	20ml	一次性使用无菌注射器
70	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	50ml	一次性使用无菌注射器
71	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	60ml	一次性使用无菌注射器
72	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	100ml	一次性使用无菌注射器
73	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.05ml	一次性使用无菌注射器
74	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.1ml	一次性使用无菌注射器
75	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.2ml	一次性使用无菌注射器
76	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.5ml	一次性使用无菌注射器
77	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	1ml	一次性使用无菌注射器
78	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	2ml	一次性使用无菌注射器
79	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	5ml	一次性使用无菌注射器
80	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	10ml	一次性使用无菌注射器
81	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	20ml	一次性使用无菌注射器
82	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	50ml	一次性使用无菌注射器
83	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	60ml	一次性使用无菌注射器
84	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	100ml	一次性使用无菌注射器
85	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.05ml	一次性使用无菌注射器
86	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.1ml	一次性使用无菌注射器
87	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.2ml	一次性使用无菌注射器
88	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.5ml	一次性使用无菌注射器
89	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	1ml	一次性使用无菌注射器
90	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	2ml	一次性使用无菌注射器
91	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	5ml	一次性使用无菌注射器
92	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	10ml	一次性使用无菌注射器
93	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	20ml	一次性使用无菌注射器
94	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	50ml	一次性使用无菌注射器
95	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	60ml	一次性使用无菌注射器
96	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	100ml	一次性使用无菌注射器
97	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.05ml	一次性使用无菌注射器
98	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.1ml	一次性使用无菌注射器
99	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.2ml	一次性使用无菌注射器
100	一次性使用无菌注射器	上海康德莱企业发展集团股份有限公司	康德莱	0.5ml	一次性使用无菌注射器

| | | |

| | | |

序号	产品名称	产品编号	规格	单位	单价
1	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	1L	瓶	1000.00
2	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	2L	瓶	1500.00
3	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	4L	瓶	2000.00
4	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	8L	瓶	2500.00
5	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	10L	瓶	3000.00
6	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	40L	瓶	4000.00
7	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	50L	瓶	5000.00
8	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	60L	瓶	6000.00
9	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	80L	瓶	7000.00
10	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	100L	瓶	8000.00
11	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	150L	瓶	9000.00
12	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	200L	瓶	10000.00
13	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	300L	瓶	11000.00
14	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	400L	瓶	12000.00
15	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	500L	瓶	13000.00
16	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	600L	瓶	14000.00
17	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	800L	瓶	15000.00
18	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	1000L	瓶	16000.00
19	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	1500L	瓶	17000.00
20	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	2000L	瓶	18000.00
21	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	3000L	瓶	19000.00
22	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	4000L	瓶	20000.00
23	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	5000L	瓶	21000.00
24	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	6000L	瓶	22000.00
25	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	8000L	瓶	23000.00
26	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	10000L	瓶	24000.00
27	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	15000L	瓶	25000.00
28	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	20000L	瓶	26000.00
29	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	30000L	瓶	27000.00
30	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	40000L	瓶	28000.00
31	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	50000L	瓶	29000.00
32	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	60000L	瓶	30000.00
33	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	80000L	瓶	31000.00
34	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	100000L	瓶	32000.00
35	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	150000L	瓶	33000.00
36	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	200000L	瓶	34000.00
37	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	300000L	瓶	35000.00
38	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	400000L	瓶	36000.00
39	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	500000L	瓶	37000.00
40	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	600000L	瓶	38000.00
41	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	800000L	瓶	39000.00
42	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	1000000L	瓶	40000.00
43	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	1500000L	瓶	41000.00
44	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	2000000L	瓶	42000.00
45	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	3000000L	瓶	43000.00
46	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	4000000L	瓶	44000.00
47	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	5000000L	瓶	45000.00
48	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	6000000L	瓶	46000.00
49	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	8000000L	瓶	47000.00
50	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	10000000L	瓶	48000.00
51	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	15000000L	瓶	49000.00
52	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	20000000L	瓶	50000.00
53	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	30000000L	瓶	51000.00
54	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	40000000L	瓶	52000.00
55	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	50000000L	瓶	53000.00
56	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	60000000L	瓶	54000.00
57	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	80000000L	瓶	55000.00
58	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	100000000L	瓶	56000.00
59	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	150000000L	瓶	57000.00
60	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	200000000L	瓶	58000.00
61	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	300000000L	瓶	59000.00
62	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	400000000L	瓶	60000.00
63	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	500000000L	瓶	61000.00
64	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	600000000L	瓶	62000.00
65	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	800000000L	瓶	63000.00
66	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	1000000000L	瓶	64000.00
67	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	1500000000L	瓶	65000.00
68	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	2000000000L	瓶	66000.00
69	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	3000000000L	瓶	67000.00
70	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	4000000000L	瓶	68000.00
71	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	5000000000L	瓶	69000.00
72	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	6000000000L	瓶	70000.00
73	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	8000000000L	瓶	71000.00
74	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	10000000000L	瓶	72000.00
75	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	15000000000L	瓶	73000.00
76	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	20000000000L	瓶	74000.00
77	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	30000000000L	瓶	75000.00
78	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	40000000000L	瓶	76000.00
79	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	50000000000L	瓶	77000.00
80	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	60000000000L	瓶	78000.00
81	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	80000000000L	瓶	79000.00
82	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	100000000000L	瓶	80000.00
83	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	150000000000L	瓶	81000.00
84	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	200000000000L	瓶	82000.00
85	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	300000000000L	瓶	83000.00
86	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	400000000000L	瓶	84000.00
87	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	500000000000L	瓶	85000.00
88	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	600000000000L	瓶	86000.00
89	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	800000000000L	瓶	87000.00
90	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	1000000000000L	瓶	88000.00
91	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	1500000000000L	瓶	89000.00
92	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	2000000000000L	瓶	90000.00
93	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	3000000000000L	瓶	91000.00
94	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	4000000000000L	瓶	92000.00
95	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	5000000000000L	瓶	93000.00
96	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	6000000000000L	瓶	94000.00
97	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	8000000000000L	瓶	95000.00
98	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	10000000000000L	瓶	96000.00
99	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	15000000000000L	瓶	97000.00
100	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	20000000000000L	瓶	98000.00
101	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	30000000000000L	瓶	99000.00
102	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	40000000000000L	瓶	100000.00
103	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	50000000000000L	瓶	101000.00
104	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	60000000000000L	瓶	102000.00
105	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	80000000000000L	瓶	103000.00
106	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	100000000000000L	瓶	104000.00
107	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	150000000000000L	瓶	105000.00
108	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	200000000000000L	瓶	106000.00
109	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	300000000000000L	瓶	107000.00
110	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	400000000000000L	瓶	108000.00
111	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	500000000000000L	瓶	109000.00
112	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	600000000000000L	瓶	110000.00
113	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	800000000000000L	瓶	111000.00
114	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	1000000000000000L	瓶	112000.00
115	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	1500000000000000L	瓶	113000.00
116	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	2000000000000000L	瓶	114000.00
117	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	3000000000000000L	瓶	115000.00
118	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	4000000000000000L	瓶	116000.00
119	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	5000000000000000L	瓶	117000.00
120	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	6000000000000000L	瓶	118000.00
121	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	8000000000000000L	瓶	119000.00
122	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	10000000000000000L	瓶	120000.00
123	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	15000000000000000L	瓶	121000.00
124	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	20000000000000000L	瓶	122000.00
125	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	30000000000000000L	瓶	123000.00
126	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	40000000000000000L	瓶	124000.00
127	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	50000000000000000L	瓶	125000.00
128	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	60000000000000000L	瓶	126000.00
129	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	80000000000000000L	瓶	127000.00
130	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	100000000000000000L	瓶	128000.00
131	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	150000000000000000L	瓶	129000.00
132	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	200000000000000000L	瓶	130000.00
133	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	300000000000000000L	瓶	131000.00
134	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	400000000000000000L	瓶	132000.00
135	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	500000000000000000L	瓶	133000.00
136	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	600000000000000000L	瓶	134000.00
137	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	800000000000000000L	瓶	135000.00
138	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	1000000000000000000L	瓶	136000.00
139	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	1500000000000000000L	瓶	137000.00
140	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	2000000000000000000L	瓶	138000.00
141	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	3000000000000000000L	瓶	139000.00
142	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	4000000000000000000L	瓶	140000.00
143	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	5000000000000000000L	瓶	141000.00
144	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	6000000000000000000L	瓶	142000.00
145	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	8000000000000000000L	瓶	143000.00
146	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	10000000000000000000L	瓶	144000.00
147	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	15000000000000000000L	瓶	145000.00
148	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	20000000000000000000L	瓶	146000.00
149	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	30000000000000000000L	瓶	147000.00
150	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	40000000000000000000L	瓶	148000.00
151	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	50000000000000000000L	瓶	149000.00
152	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	60000000000000000000L	瓶	150000.00
153	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	80000000000000000000L	瓶	151000.00
154	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	100000000000000000000L	瓶	152000.00
155	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	150000000000000000000L	瓶	153000.00
156	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	200000000000000000000L	瓶	154000.00
157	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	300000000000000000000L	瓶	155000.00
158	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	400000000000000000000L	瓶	156000.00
159	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	500000000000000000000L	瓶	157000.00
160	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	600000000000000000000L	瓶	158000.00
161	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	800000000000000000000L	瓶	159000.00
162	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	1000000000000000000000L	瓶	160000.00
163	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	1500000000000000000000L	瓶	161000.00
164	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	2000000000000000000000L	瓶	162000.00
165	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	3000000000000000000000L	瓶	163000.00
166	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	4000000000000000000000L	瓶	164000.00
167	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	5000000000000000000000L	瓶	165000.00
168	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	6000000000000000000000L	瓶	166000.00
169	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	8000000000000000000000L	瓶	167000.00
170	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	10000000000000000000000L	瓶	168000.00
171	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	15000000000000000000000L	瓶	169000.00
172	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	20000000000000000000000L	瓶	170000.00
173	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	30000000000000000000000L	瓶	171000.00
174	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	40000000000000000000000L	瓶	172000.00
175	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	50000000000000000000000L	瓶	173000.00
176	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	60000000000000000000000L	瓶	174000.00
177	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	80000000000000000000000L	瓶	175000.00
178	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	100000000000000000000000L	瓶	176000.00
179	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	150000000000000000000000L	瓶	177000.00
180	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	200000000000000000000000L	瓶	178000.00
181	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	300000000000000000000000L	瓶	179000.00
182	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	400000000000000000000000L	瓶	180000.00
183	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	500000000000000000000000L	瓶	181000.00
184	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	600000000000000000000000L	瓶	182000.00
185	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	800000000000000000000000L	瓶	183000.00
186	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	1000000000000000000000000L	瓶	184000.00
187	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	1500000000000000000000000L	瓶	185000.00
188	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	2000000000000000000000000L	瓶	186000.00
189	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	3000000000000000000000000L	瓶	187000.00
190	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	4000000000000000000000000L	瓶	188000.00
191	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	5000000000000000000000000L	瓶	189000.00
192	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	6000000000000000000000000L	瓶	190000.00
193	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	8000000000000000000000000L	瓶	191000.00
194	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	10000000000000000000000000L	瓶	192000.00
195	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	15000000000000000000000000L	瓶	193000.00
196	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	20000000000000000000000000L	瓶	194000.00
197	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	30000000000000000000000000L	瓶	195000.00
198	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	40000000000000000000000000L	瓶	196000.00
199	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	50000000000000000000000000L	瓶	197000.00
200	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	60000000000000000000000000L	瓶	198000.00
201	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	80000000000000000000000000L	瓶	199000.00
202	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	100000000000000000000000000L	瓶	200000.00
203	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	150000000000000000000000000L	瓶	201000.00
204	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	200000000000000000000000000L	瓶	202000.00
205	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	300000000000000000000000000L	瓶	203000.00
206	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	400000000000000000000000000L	瓶	204000.00
207	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	500000000000000000000000000L	瓶	205000.00
208	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	600000000000000000000000000L	瓶	206000.00
209	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	800000000000000000000000000L	瓶	207000.00
210	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	1000000000000000000000000000L	瓶	208000.00
211	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	1500000000000000000000000000L	瓶	209000.00
212	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	2000000000000000000000000000L	瓶	210000.00
213	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	3000000000000000000000000000L	瓶	211000.00
214	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	4000000000000000000000000000L	瓶	212000.00
215	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	5000000000000000000000000000L	瓶	213000.00
216	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	6000000000000000000000000000L	瓶	214000.00
217	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	8000000000000000000000000000L	瓶	215000.00
218	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	10000000000000000000000000000L	瓶	216000.00
219	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	15000000000000000000000000000L	瓶	217000.00
220	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	20000000000000000000000000000L	瓶	218000.00
221	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	30000000000000000000000000000L	瓶	219000.00
222	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	40000000000000000000000000000L	瓶	220000.00
223	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	50000000000000000000000000000L	瓶	221000.00
224	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	60000000000000000000000000000L	瓶	222000.00
225	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	80000000000000000000000000000L	瓶	223000.00
226	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	100000000000000000000000000000L	瓶	224000.00
227	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	150000000000000000000000000000L	瓶	225000.00
228	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	200000000000000000000000000000L	瓶	226000.00
229	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	300000000000000000000000000000L	瓶	227000.00
230	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	400000000000000000000000000000L	瓶	228000.00
231	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	500000000000000000000000000000L	瓶	229000.00
232	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	600000000000000000000000000000L	瓶	230000.00
233	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	800000000000000000000000000000L	瓶	231000.00
234	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	1000000000000000000000000000000L	瓶	232000.00
235	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	1500000000000000000000000000000L	瓶	233000.00
236	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	2000000000000000000000000000000L	瓶	234000.00
237	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	3000000000000000000000000000000L	瓶	235000.00
238	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	4000000000000000000000000000000L	瓶	236000.00
239	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	5000000000000000000000000000000L	瓶	237000.00
240	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	6000000000000000000000000000000L	瓶	238000.00
241	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	8000000000000000000000000000000L	瓶	239000.00
242	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	10000000000000000000000000000000L	瓶	240000.00
243	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	15000000000000000000000000000000L	瓶	241000.00
244	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	20000000000000000000000000000000L	瓶	242000.00
245	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	30000000000000000000000000000000L	瓶	243000.00
246	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	40000000000000000000000000000000L	瓶	244000.00
247	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	50000000000000000000000000000000L	瓶	245000.00
248	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	60000000000000000000000000000000L	瓶	246000.00
249	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	80000000000000000000000000000000L	瓶	247000.00
250	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	100000000000000000000000000000000L	瓶	248000.00
251	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	150000000000000000000000000000000L	瓶	249000.00
252	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	200000000000000000000000000000000L	瓶	250000.00
253	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	300000000000000000000000000000000L	瓶	251000.00
254	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	400000000000000000000000000000000L	瓶	252000.00
255	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	500000000000000000000000000000000L	瓶	253000.00
256	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	600000000000000000000000000000000L	瓶	254000.00
257	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	800000000000000000000000000000000L	瓶	255000.00
258	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	1000000000000000000000000000000000L	瓶	256000.00
259	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	1500000000000000000000000000000000L	瓶	257000.00
260	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	2000000000000000000000000000000000L	瓶	258000.00
261	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	3000000000000000000000000000000000L	瓶	259000.00
262	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	4000000000000000000000000000000000L	瓶	260000.00
263	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	5000000000000000000000000000000000L	瓶	261000.00
264	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	6000000000000000000000000000000000L	瓶	262000.00
265	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	8000000000000000000000000000000000L	瓶	263000.00
266	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	10000000000000000000000000000000000L	瓶	264000.00
267	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	15000000000000000000000000000000000L	瓶	265000.00
268	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	20000000000000000000000000000000000L	瓶	266000.00
269	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	30000000000000000000000000000000000L	瓶	267000.00
270	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	40000000000000000000000000000000000L	瓶	268000.00
271	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	50000000000000000000000000000000000L	瓶	269000.00
272	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	60000000000000000000000000000000000L	瓶	270000.00
273	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	80000000000000000000000000000000000L	瓶	271000.00
274	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	100000000000000000000000000000000000L	瓶	272000.00
275	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	150000000000000000000000000000000000L	瓶	273000.00
276	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	200000000000000000000000000000000000L	瓶	274000.00
277	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	300000000000000000000000000000000000L	瓶	275000.00
278	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	400000000000000000000000000000000000L	瓶	276000.00
279	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	500000000000000000000000000000000000L	瓶	277000.00
280	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	600000000000000000000000000000000000L	瓶	278000.00
281	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	800000000000000000000000000000000000L	瓶	279000.00
282	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	1000000000000000000000000000000000000L	瓶	280000.00
283	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	1500000000000000000000000000000000000L	瓶	281000.00
284	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	2000000000000000000000000000000000000L	瓶	282000.00
285	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	3000000000000000000000000000000000000L	瓶	283000.00
286	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	4000000000000000000000000000000000000L	瓶	284000.00
287	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	5000000000000000000000000000000000000L	瓶	285000.00
288	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	6000000000000000000000000000000000000L	瓶	286000.00
289	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	8000000000000000000000000000000000000L	瓶	287000.00
290	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	10000000000000000000000000000000000000L	瓶	288000.00
291	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	15000000000000000000000000000000000000L	瓶	289000.00
292	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	20000000000000000000000000000000000000L	瓶	290000.00
293	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	30000000000000000000000000000000000000L	瓶	291000.00
294	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	40000000000000000000000000000000000000L	瓶	292000.00
295	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	50000000000000000000000000000000000000L	瓶	293000.00
296	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	60000000000000000000000000000000000000L	瓶	294000.00
297	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	80000000000000000000000000000000000000L	瓶	295000.00
298	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	100000000000000000000000000000000000000L	瓶	296000.00
299	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	150000000000000000000000000000000000000L	瓶	297000.00
300	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	200000000000000000000000000000000000000L	瓶	298000.00
301	三元一氧化碳标准气	1000000000000000000	300000000000000000000000

与度は：火曜温度中清音と白鳥者調金との安全

法律	ケース	実施	一般	ページ	年
1911	地域政策委員会		自分の生徒は学ぶ事ができる		
1912	公園の市場は		Google大都市		
1913	公園の国家は		自分の教育の目的は		
1914	Google市民研究	成功			
1915	Google市民研究	成功			
1916	国際機関研究所	成功	公式		
1917	Microsoftは		ハイテクエリア		
1918	Microsoftは研究				
1919	研究室と図書館				
1920	地域政策委員会				
1921	大都市集権				
1922	Microsoftは研				
1923	一般国家				
1924	研究のリスクは				
1925	研究結果				
1926	地域				
1927	アメリカ人天才は	可能	自分の生活を可能にする		
1928	Microsoftは研				
1929	ウェブサイトで検索		Google検索、Microsoft検索		
1930	研究室と図書館				
1931	研究室と図書館				
1932	Microsoftは研究				
1933	Microsoftは研究				
1934	研究室と図書館				
1935	Microsoftは研究				
1936	大都市集権				
1937	研究室と図書館				
1938	研究室と図書館				
1939	研究室と図書館				
1940	研究室と図書館				
1941	研究室と図書館				
1942	地域政策委員会	成功	Microsoftは研究所の		
1943	地域政策委員会				
1944	地域政策委員会				
1945	地域政策委員会				
1946	地域政策委員会				
1947	地域政策委員会				
1948	地域政策委員会				
1949	地域政策委員会				
1950	地域政策委員会				
1951	地域政策委員会				
1952	Microsoftは研究				
1953	地域政策委員会				
1954	地域政策委員会				
1955	地域政策委員会				
1956	地域政策委員会				

序号	产品名称	产品型号	产品规格	单位	数量
1	一次性使用无菌注射器	1ml	1ml	支	1000
2	一次性使用无菌注射器	2ml	2ml	支	1000
3	一次性使用无菌注射器	5ml	5ml	支	1000
4	一次性使用无菌注射器	10ml	10ml	支	1000
5	一次性使用无菌注射器	20ml	20ml	支	1000
6	一次性使用无菌注射器	50ml	50ml	支	1000
7	一次性使用无菌注射器	60ml	60ml	支	1000
8	一次性使用无菌注射器	100ml	100ml	支	1000
9	一次性使用无菌注射器	1ml	1ml	支	1000
10	一次性使用无菌注射器	2ml	2ml	支	1000
11	一次性使用无菌注射器	5ml	5ml	支	1000
12	一次性使用无菌注射器	10ml	10ml	支	1000
13	一次性使用无菌注射器	20ml	20ml	支	1000
14	一次性使用无菌注射器	50ml	50ml	支	1000
15	一次性使用无菌注射器	60ml	60ml	支	1000
16	一次性使用无菌注射器	100ml	100ml	支	1000
17	一次性使用无菌注射器	1ml	1ml	支	1000
18	一次性使用无菌注射器	2ml	2ml	支	1000
19	一次性使用无菌注射器	5ml	5ml	支	1000
20	一次性使用无菌注射器	10ml	10ml	支	1000
21	一次性使用无菌注射器	20ml	20ml	支	1000
22	一次性使用无菌注射器	50ml	50ml	支	1000
23	一次性使用无菌注射器	60ml	60ml	支	1000
24	一次性使用无菌注射器	100ml	100ml	支	1000
25	一次性使用无菌注射器	1ml	1ml	支	1000
26	一次性使用无菌注射器	2ml	2ml	支	1000
27	一次性使用无菌注射器	5ml	5ml	支	1000
28	一次性使用无菌注射器	10ml	10ml	支	1000
29	一次性使用无菌注射器	20ml	20ml	支	1000
30	一次性使用无菌注射器	50ml	50ml	支	1000
31	一次性使用无菌注射器	60ml	60ml	支	1000
32	一次性使用无菌注射器	100ml	100ml	支	1000
33	一次性使用无菌注射器	1ml	1ml	支	1000
34	一次性使用无菌注射器	2ml	2ml	支	1000
35	一次性使用无菌注射器	5ml	5ml	支	1000
36	一次性使用无菌注射器	10ml	10ml	支	1000
37	一次性使用无菌注射器	20ml	20ml	支	1000
38	一次性使用无菌注射器	50ml	50ml	支	1000
39	一次性使用无菌注射器	60ml	60ml	支	1000
40	一次性使用无菌注射器	100ml	100ml	支	1000
41	一次性使用无菌注射器	1ml	1ml	支	1000
42	一次性使用无菌注射器	2ml	2ml	支	1000
43	一次性使用无菌注射器	5ml	5ml	支	1000
44	一次性使用无菌注射器	10ml	10ml	支	1000
45	一次性使用无菌注射器	20ml	20ml	支	1000
46	一次性使用无菌注射器	50ml	50ml	支	1000
47	一次性使用无菌注射器	60ml	60ml	支	1000
48	一次性使用无菌注射器	100ml	100ml	支	1000
49	一次性使用无菌注射器	1ml	1ml	支	1000
50	一次性使用无菌注射器	2ml	2ml	支	1000
51	一次性使用无菌注射器	5ml	5ml	支	1000
52	一次性使用无菌注射器	10ml	10ml	支	1000
53	一次性使用无菌注射器	20ml	20ml	支	1000
54	一次性使用无菌注射器	50ml	50ml	支	1000
55	一次性使用无菌注射器	60ml	60ml	支	1000
56	一次性使用无菌注射器	100ml	100ml	支	1000
57	一次性使用无菌注射器	1ml	1ml	支	1000
58	一次性使用无菌注射器	2ml	2ml	支	1000
59	一次性使用无菌注射器	5ml	5ml	支	1000
60	一次性使用无菌注射器	10ml	10ml	支	1000
61	一次性使用无菌注射器	20ml	20ml	支	1000
62	一次性使用无菌注射器	50ml	50ml	支	1000
63	一次性使用无菌注射器	60ml	60ml	支	1000
64	一次性使用无菌注射器	100ml	100ml	支	1000
65	一次性使用无菌注射器	1ml	1ml	支	1000
66	一次性使用无菌注射器	2ml	2ml	支	1000
67	一次性使用无菌注射器	5ml	5ml	支	1000
68	一次性使用无菌注射器	10ml	10ml	支	1000
69	一次性使用无菌注射器	20ml	20ml	支	1000
70	一次性使用无菌注射器	50ml	50ml	支	1000
71	一次性使用无菌注射器	60ml	60ml	支	1000
72	一次性使用无菌注射器	100ml	100ml	支	1000
73	一次性使用无菌注射器	1ml	1ml	支	1000
74	一次性使用无菌注射器	2ml	2ml	支	1000
75	一次性使用无菌注射器	5ml	5ml	支	1000
76	一次性使用无菌注射器	10ml	10ml	支	1000
77	一次性使用无菌注射器	20ml	20ml	支	1000
78	一次性使用无菌注射器	50ml	50ml	支	1000
79	一次性使用无菌注射器	60ml	60ml	支	1000
80	一次性使用无菌注射器	100ml	100ml	支	1000
81	一次性使用无菌注射器	1ml	1ml	支	1000
82	一次性使用无菌注射器	2ml	2ml	支	1000
83	一次性使用无菌注射器	5ml	5ml	支	1000
84	一次性使用无菌注射器	10ml	10ml	支	1000
85	一次性使用无菌注射器	20ml	20ml	支	1000
86	一次性使用无菌注射器	50ml	50ml	支	1000
87	一次性使用无菌注射器	60ml	60ml	支	1000
88	一次性使用无菌注射器	100ml	100ml	支	1000
89	一次性使用无菌注射器	1ml	1ml	支	1000
90	一次性使用无菌注射器	2ml	2ml	支	1000
91	一次性使用无菌注射器	5ml	5ml	支	1000
92	一次性使用无菌注射器	10ml	10ml	支	1000
93	一次性使用无菌注射器	20ml	20ml	支	1000
94	一次性使用无菌注射器	50ml	50ml	支	1000
95	一次性使用无菌注射器	60ml	60ml	支	1000
96	一次性使用无菌注射器	100ml	100ml	支	1000
97	一次性使用无菌注射器	1ml	1ml	支	1000
98	一次性使用无菌注射器	2ml	2ml	支	1000
99	一次性使用无菌注射器	5ml	5ml	支	1000
100	一次性使用无菌注射器	10ml	10ml	支	1000
101	一次性使用无菌注射器	20ml	20ml	支	1000
102	一次性使用无菌注射器	50ml	50ml	支	1000
103	一次性使用无菌注射器	60ml	60ml	支	1000
104	一次性使用无菌注射器	100ml	100ml	支	1000
105	一次性使用无菌注射器	1ml	1ml	支	1000
106	一次性使用无菌注射器	2ml	2ml	支	1000
107	一次性使用无菌注射器	5ml	5ml	支	1000
108	一次性使用无菌注射器	10ml	10ml	支	1000
109	一次性使用无菌注射器	20ml	20ml	支	1000
110	一次性使用无菌注射器	50ml	50ml	支	1000
111	一次性使用无菌注射器	60ml	60ml	支	1000
112	一次性使用无菌注射器	100ml	100ml	支	1000
113	一次性使用无菌注射器	1ml	1ml	支	1000
114	一次性使用无菌注射器	2ml	2ml	支	1000
115	一次性使用无菌注射器	5ml	5ml	支	1000
116	一次性使用无菌注射器	10ml	10ml	支	1000
117	一次性使用无菌注射器	20ml	20ml	支	1000
118	一次性使用无菌注射器	50ml	50ml	支	1000
119	一次性使用无菌注射器	60ml	60ml	支	1000
120	一次性使用无菌注射器	100ml	100ml	支	1000
121	一次性使用无菌注射器	1ml	1ml	支	1000
122	一次性使用无菌注射器	2ml	2ml	支	1000
123	一次性使用无菌注射器	5ml	5ml	支	1000
124	一次性使用无菌注射器	10ml	10ml	支	1000
125	一次性使用无菌注射器	20ml	20ml	支	1000
126	一次性使用无菌注射器	50ml	50ml	支	1000
127	一次性使用无菌注射器	60ml	60ml	支	1000
128	一次性使用无菌注射器	100ml	100ml	支	1000
129	一次性使用无菌注射器	1ml	1ml	支	1000
130	一次性使用无菌注射器	2ml	2ml	支	1000
131	一次性使用无菌注射器	5ml	5ml	支	1000
132	一次性使用无菌注射器	10ml	10ml	支	1000
133	一次性使用无菌注射器	20ml	20ml	支	1000
134	一次性使用无菌注射器	50ml	50ml	支	1000
135	一次性使用无菌注射器	60ml	60ml	支	1000
136	一次性使用无菌注射器	100ml	100ml	支	1000
137	一次性使用无菌注射器	1ml	1ml	支	1000
138	一次性使用无菌注射器	2ml	2ml	支	1000
139	一次性使用无菌注射器	5ml	5ml	支	1000
140	一次性使用无菌注射器	10ml	10ml	支	1000
141	一次性使用无菌注射器	20ml	20ml	支	1000
142	一次性使用无菌注射器	50ml	50ml	支	1000
143	一次性使用无菌注射器	60ml	60ml	支	1000
144	一次性使用无菌注射器	100ml	100ml	支	1000
145	一次性使用无菌注射器	1ml	1ml	支	1000
146	一次性使用无菌注射器	2ml	2ml	支	1000
147	一次性使用无菌注射器	5ml	5ml	支	1000
148	一次性使用无菌注射器	10ml	10ml	支	1000
149	一次性使用无菌注射器	20ml	20ml	支	1000
150	一次性使用无菌注射器	50ml	50ml	支	1000
151	一次性使用无菌注射器	60ml	60ml	支	1000
152	一次性使用无菌注射器	100ml	100ml	支	1000
153	一次性使用无菌注射器	1ml	1ml	支	1000
154	一次性使用无菌注射器	2ml	2ml	支	1000
155	一次性使用无菌注射器	5ml	5ml	支	1000
156	一次性使用无菌注射器	10ml	10ml	支	1000
157	一次性使用无菌注射器	20ml	20ml	支	1000
158	一次性使用无菌注射器	50ml	50ml	支	1000
159	一次性使用无菌注射器	60ml	60ml	支	1000
160	一次性使用无菌注射器	100ml	100ml	支	1000
161	一次性使用无菌注射器	1ml	1ml	支	1000
162	一次性使用无菌注射器	2ml	2ml	支	1000
163	一次性使用无菌注射器	5ml	5ml	支	1000
164	一次性使用无菌注射器	10ml	10ml	支	1000
165	一次性使用无菌注射器	20ml	20ml	支	1000
166	一次性使用无菌注射器	50ml	50ml	支	1000
167	一次性使用无菌注射器	60ml	60ml	支	1000
168	一次性使用无菌注射器	100ml	100ml	支	1000
169	一次性使用无菌注射器	1ml	1ml	支	1000
170	一次性使用无菌注射器	2ml	2ml	支	1000
171	一次性使用无菌注射器	5ml	5ml	支	1000
172	一次性使用无菌注射器	10ml	10ml	支	1000
173	一次性使用无菌注射器	20ml	20ml	支	1000
174	一次性使用无菌注射器	50ml	50ml	支	1000
175	一次性使用无菌注射器	60ml	60ml	支	1000
176	一次性使用无菌注射器	100ml	100ml	支	1000
177	一次性使用无菌注射器	1ml	1ml	支	1000
178	一次性使用无菌注射器	2ml	2ml	支	1000
179	一次性使用无菌注射器	5ml	5ml	支	1000
180	一次性使用无菌注射器	10ml	10ml	支	1000
181	一次性使用无菌注射器	20ml	20ml	支	1000
182	一次性使用无菌注射器	50ml	50ml	支	1000
183	一次性使用无菌注射器	60ml	60ml	支	1000
184	一次性使用无菌注射器	100ml	100ml	支	1000
185	一次性使用无菌注射器	1ml	1ml	支	1000
186	一次性使用无菌注射器	2ml	2ml	支	1000
187	一次性使用无菌注射器	5ml	5ml	支	1000
188	一次性使用无菌注射器	10ml	10ml	支	1000
189	一次性使用无菌注射器	20ml	20ml	支	1000
190	一次性使用无菌注射器	50ml	50ml	支	1000
191	一次性使用无菌注射器	60ml	60ml	支	1000
192	一次性使用无菌注射器	100ml	100ml	支	1000
193	一次性使用无菌注射器	1ml	1ml	支	1000
194	一次性使用无菌注射器	2ml	2ml	支	1000
195	一次性使用无菌注射器	5ml	5ml	支	1000
196	一次性使用无菌注射器	10ml	10ml	支	1000
197	一次性使用无菌注射器	20ml	20ml	支	1000
198	一次性使用无菌注射器	50ml	50ml	支	1000
199	一次性使用无菌注射器	60ml	60ml	支	1000
200	一次性使用无菌注射器	100ml	100ml	支	1000

令和2 A会場高年齢女の参考記録とA区分

記録	名前	年齢	所属	区	区
1:02	ケイコ・ハヤシ				
1:03	佐藤ヒロミ				
1:04	ミハエル・ウェーバー				
1:05	ミハエル・ウェーバー				
1:07	ケイコ・ハヤシ				
1:08	佐藤				
1:09	渡辺美佳				
1:09	渡辺美佳				
1:09	渡辺美佳				
1:10	ルイス・ヴィラ				
1:10	渡辺美佳				
1:10	渡辺美佳				
1:10	渡辺美佳

厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業））
令和 2 年度研究年度終了分担研究報告書

臨床研修の評価体系の構築

研究分担者　福井次矢　聖路加国際大学　聖路加国際病院　院長
研究協力者　高橋　理　聖路加国際大学　専門職大学院・公衆衛生学研究科　教授
大出幸子　聖路加国際大学　専門職大学院・公衆衛生学研究科　教授
黄 世捷　聖マリアンナ医科大学 臨床研修センター　副センター長
本間洋輔　東京ベイ浦安市川医療センター　救急集中治療科　医長
森田貴子　聖路加国際大学　専門職大学院・公衆衛生学研究科
室谷佐紀　聖路加国際大学　専門職大学院・公衆衛生学研究科

【研究要旨】
本研究は、①研修医が 1 日のうち何時間勤務していて、どのような業務にどれくらいの時間を費やしているのかを記録できるアプリケーションソフトを開発すること、②開発したアプリケーションソフトを用いて、実際に研修医に記録してもらい、現在の勤務時間・業務内容を把握すること、そして、③結果として得られた勤務時間・業務内容を、我々が 10 年前に行った研究データと比較分析すること、という 3 つの目的を掲げて行った。
医師の勤務時間・業務内容を把握するためのアプリケーションソフトを開発し、特に問題なく使用できたことから、今後の活用が期待できる。
1 年次、2 年次研修医の平均勤務時間は 11 時間 45 分、平均睡眠時間は 6 時間 18 分であった。
睡眠時間については、10年前とほとんど同じで、平成30年国民健康・栄養調査の結果と比べても、同年代の一般国民と調査対象となった研修医の睡眠時間はほぼ同値であった。研修医の平均睡眠時間は、施設ごとに異なる可能性がある。業務内容のうち患者ケアに費やす時間の占める割合が、10年前と比べると10ポイントほど高く、プライベートな時間が半減していたが、今般の新型コロナウィルス感染症に対する緊急事態宣言下での調査であったことが影響している可能性を排除できない。教育と事務作業は微増、研究は不変であった。

A．研究目的

わが国では、2004 年に医師の卒後臨床研修が必修化されるとともに、研修医が 2 年間で身に付けるべき幅広い知識や技量が明示され、標準化された臨床研修を受けることが可能となった[1]。一方で、医師（研修医を含む）の勤務時間があまりにも長く、医師自身の健康や診療の質に悪影響がもたらされる可能性があり、国を挙げての議論と対策が提案されてきている。

2005 年から 2006 年に実施された研修医を対象とした業務内容に関する調査研究では、平均勤務時間が 1 日 16 時間と長かった[2]。また、2010 年に我々が実施した初期研修医の業務内容や疲労度に関する調査（研修医 1 名につき、1 名の記録要員を用意し、研修医の業務内容 5 分毎に記録）でも、1 日のうちのほとんどの時間を患者ケアに費やしていて、睡眠時間は短く、構造化された教育を受けた時間はわずかであった[3]。

現在進められている医師の働き方改革を実現する－医師の勤務時間を短縮する－ためには、まず医師の勤務実態を把握することが必須となる。

そこで、本研究は、①研修医が 1 日のうち何時間勤務していて、どのような業務にどれくらいの時間を費やしているのかを記録できるアプリケーションソフトを開発すること、②開発したアプリケーションソフトを用いて、実際に研修医に記録してもらい、現在の勤務時間・業務内容を把握すること、そして、③結果として得られた勤務時間・業務内容を、我々が 10 年前に行った研究データと比較分析すること、という 3 つの目的を掲げて行った。

B．研究方法

①勤務時間・業務内容把握のためのアプリケーションソフトの開発

入力用のアプリケーションソフトは、株式会社日本能率協会総合研究所と協働して開発した。

②研修医の勤務時間・業務内容の実態調査

聖マリアンナ医科大学病院、聖路加国際病院、東京ベイ浦安市川医療センターに所属する 1 年次、2 年次の研修医に本調査への参加を募り、希望する研修医に調査を依頼した。

参加研修医には、割り振られた調査日に、あらかじめ研究事務局から配布された携帯端末を携帯して、それに業務内容を入力するよう依頼した。研究開始前には、各施設において、携帯アプリの使い方の説明会を実施した。新型コロナウィルス感染拡大の状況を考慮し、パワーポイントファイルに音声データを挿入した説明用ファイルも作成して、研修医

全員が研究説明を受けられるよう、工夫した。

研修医は1名につき、月曜日～日曜日のうち1日のみ業務調査に参加し、業務内容を入力した。なるべく曜日ごとの調査日数に大きな差が出ないよう、各曜日にまんべんなく研修医に調査を実施するよう、各施設に依頼した。

業務内容に加えて、年齢、性別、研修年次、睡眠時間、業務時間のデータも収集した。調査実施中は、アプリの使い方や端末の不具合に対応できるように、調査に参加した研修医に連絡先メモを配布したが、特に大きな問題もなく調査を進めることができた。

研修医への説明時、それぞれの項目に含まれる内容を予め説明し、入力項目と内容が手元でも参照できるよう、ポケットサイズのカードを配布した。

尚、本研究の実施に先立って、それぞれの施設において研究審査委員会の承認を得た後、研修医から研究参加同意書への署名を得た。

③研修医の勤務時間・業務内容に関する10年前の研究データとの比較

我々は、3つの研修病院の研修医の勤務時間・業務内容について、2010年に収集したデータを2012年に発表しており（Deshpande GA, et al. Med Teach. 2012;34(3):232-9.）、そのデータと本研究で得られたデータを比較検討した。

C．研究結果

①勤務時間・業務内容把握のためのアプリケーションソフトの開発

開発したアプリケーションソフト（図1）は、携帯端末所持者（本研究では研修医）に1時間に1度、バイブレーションでアラームを発し、その時から過去 1 時間の業務内容を記録するよう促すことのできる設計とした。通知を受け取った研修医は、アプリ上で、「直接的な患者ケア」、「非直接的な患者ケア」、「教育」、「研究」、「事務」、「プライベート」、「その他」が、合計して60分になるよう、画面上の操作で入力する。

業務内容のうち「直接的な患者ケア」に含まれる項目としては、患者や家族に対して病状や治療などに関する説明、患者・家族のカウンセリング、診察、病室訪問、検査、内視鏡や挿管などの外科的処置、手術等、「非直接的な患者ケア」には、検査結果の確認、専門医や上級医へのコンサルト、カルテ記載、治療スケジュールの検討 等、「教育」には、勉強会の準備や参加、カンファレンス、自己研鑽 等、「研究」には、研究のためデータ収集などの準備、発表のための準備、学会での発表や参加（共著も含む）、症例報告書作成 等、「事務」には委員会活動、病院運営に関連する業務 等、「プライベート」には食事、睡眠、友人や家族との団らん、個人的な目的でのインターネット利用 等とした。以上の業務内容の分類は、約10年前に我々が行った研究（Deshpande et al.）に則った。

開発したアプリケーションソフトを組み込んだ携帯端末を、69 名の研修医にしようしてもらったところ、使用中に不明な点に関する問い合わせや何等かのトラブルが発生したとの報告は一件もなかった。

②研修医の勤務時間・業務内容の実態調査

研究結果を別紙1に示す。研究に参加した研修医は1年次36名（52%）、2年次33名（48%）計69名であった。施設別では、聖路加国際病院が22名、聖マリアンナ医科大学病院が34名、東京ベイ・浦安市川医療センターが13名、性別では男性が45名（65%）であった。

平均勤務時間は11時間45分、平均睡眠時間は6時間18分であった。

研修医年次の割合、平均年齢、性別、平均勤務時間について、施設ごとの有意な差は認められなかったが、睡眠時間についてのみ聖路加国際病院の研修医が1時間ほど他の2施設に比べて短く、平均5時間38分の睡眠時間であった。

全勤務時間のうち各業務の占める割合は、直接的な患者ケア35.5%、非直接的な患者ケア35.5%が最も多く、続いて、プライベート10.1%、教育9.4%、患者ケアに直結しない事務作業 8.6%と続いた。研究は1%であった。直接的な患者ケアは、朝7時と朝 9 時～夕方 15 時までにもっとも多く実施され、反対に非直接的な患者ケアは、朝8時に一旦ピークを迎え、日中は少なく、その後16時以降に多くの時間が費やされていた。研究、教育、事務作業は、業務終了後に実施され、プライベートな時間はお昼と業務終了後21時以降に最も費やされていた。

③研修医の勤務時間・業務内容に関する10年前の研究データとの比較

10 年前の研究で対象となった研修医は、患者ケア（直接的ケア、非直接的ケア合算）に60%の時間を費やしていたが、今回はその割合が71.1%まで増加していた。また10年前の研修医のプライベートな時間は 0 時～23 時の 28%であったが、今回は10%と約1/3に減少していた。教育、事務作業は微増、研究は不変であった。

D．考察

医師の勤務時間・業務内容を把握するためのアプリケーションソフトは、特別な問題なく使用できたことから、医師の働き方改革を推進するうえで必要となる、診療現場の実態調査や研究に広く利用できるものと考えられる。

1 年次、2 年次研修医の平均勤務時間は 11 時間45分、平均睡眠時間は6時間18分で、平均睡眠時間は10年前と変わらなかった。なお、平成 30 年国民健康・栄養調査によると、研修医と同年代の20歳～29歳のうちの71.5%は平均して 5 時間以上 7 時間未満の睡眠時間をとっていると報告されていて、本研究で調査対象となった研修医の睡眠時間もこの範囲内にあった。

対象となった3つの研修病院のうち一つの病院の研修医の平均睡眠時間は 1 時間短かったことか

ら、全国的にも施設ごとに差がある可能性がある。

業務内容と費やされた時間、1 日の中の時間帯を検討したところ、全体的に研修医は、患者ケアに 7 割以上の時間を費やし、教育、事務作業、研究には、多くの時間は費やされていなかった。

患者ケアに費やす時間の割合は、10 年前に比べて約 10 ポイント増加していた。またこの 10 年間で、プライベートな時間が半減していた。教育と事務作業は微増、研究は不変であった。10 年前の平均的な業務時間のデータについては記録されておらず、今回の研修医の平均勤務時間との比較をすることができなかった。ただ、10 年前に比べて、医師の働き方改革については検討が進められており、現場でも認知が進んでいるものと推察されるものの、今回の平均勤務時（11 時間 45 分）という結果は、引き続き活発な医師のワークライフバランスについて検討が必要であることを示唆していると考えられる。

今回の調査期間中、調査対象となった施設の所在地である東京、千葉、神奈川は、新型コロナ感染症拡大に対する緊急事態宣言が発令されていたことから、そのために、平時の 10 年前と比較して、患者ケアが必要となった場面が多かったのかもしれない。

E．結論

医師の勤務時間・業務内容を把握するためのアプリケーションソフトを開発し、特に問題なく使用できたことから、今後の活用が期待できる。

1 年次、2 年次研修医の平均勤務時間は 11 時間 45 分であった。平均睡眠時間は 6 時間 18 分で、10 年前と変わらなかった。研修医の平均睡眠時間は、施設ごとにかなり異なる可能性がある。

業務内容のうち患者ケアに費やす時間の占める割合が、10 年前と比べると 10 ポイントほど高かったが、今般の新型コロナウィルス感染症に対する緊急事態宣言下での調査であったことが影響している可能性を排除できない。

1. 厚生労働省ホームページ https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10803000-Iseikyoku-Ijika/0000200863.pdf. Accessed 29 Sept 2020
2. Horinouchi H, et al. Influence of Residents' Workload, Mental State and Job Satisfaction on Procedural Error : a prospective daily questionnaire-based study. 2008.
3. Deshpande GA, et al. A global template for reforming residency without work-hours restrictions: decrease caseloads, increase education. Findings of the Japan Resident Workload Study Group.Med Teach. 2012;34(3):232-9.

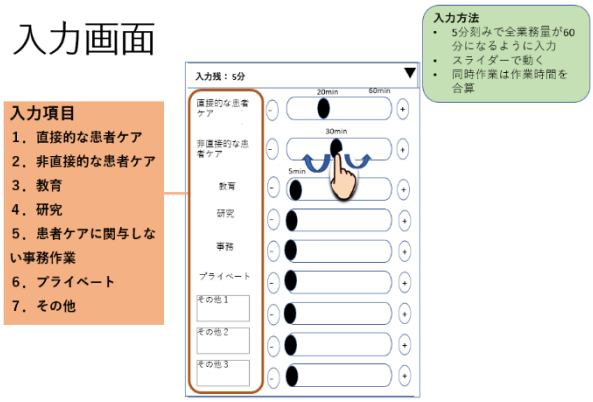
F．研究発表

なし

G．知的財産権の出願・登録状況

なし

図 1

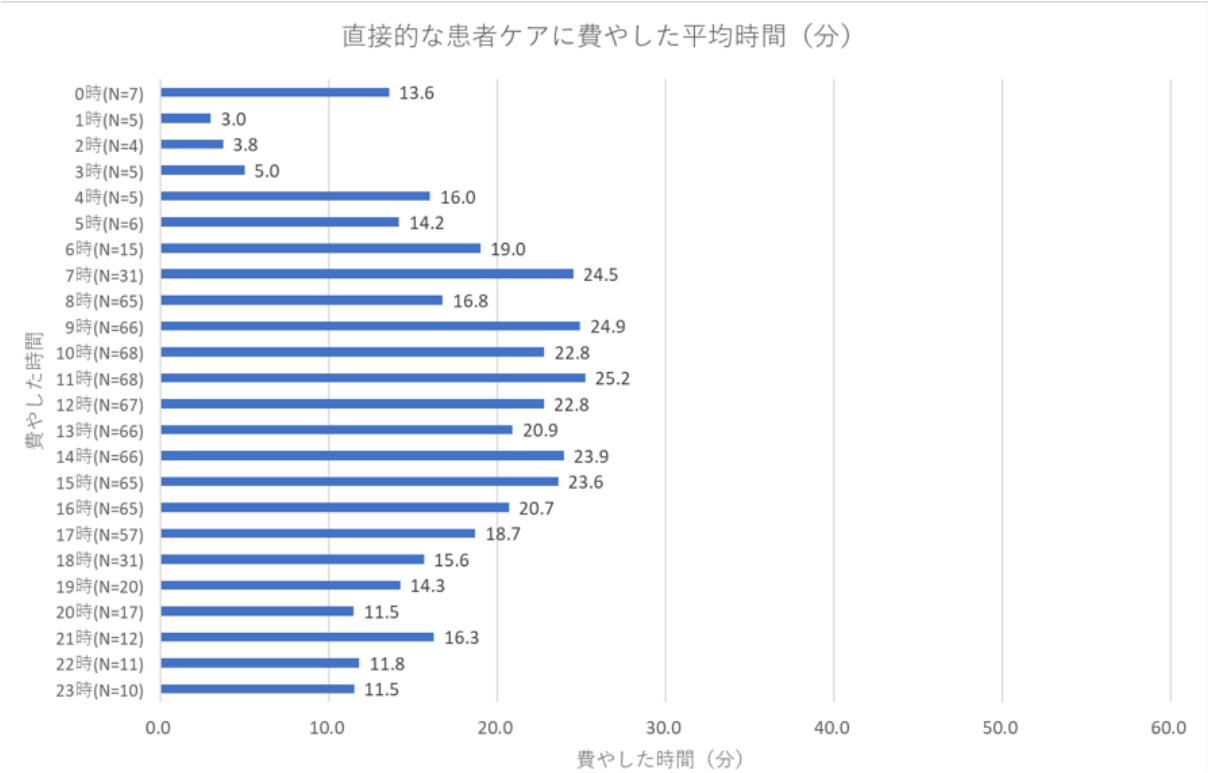


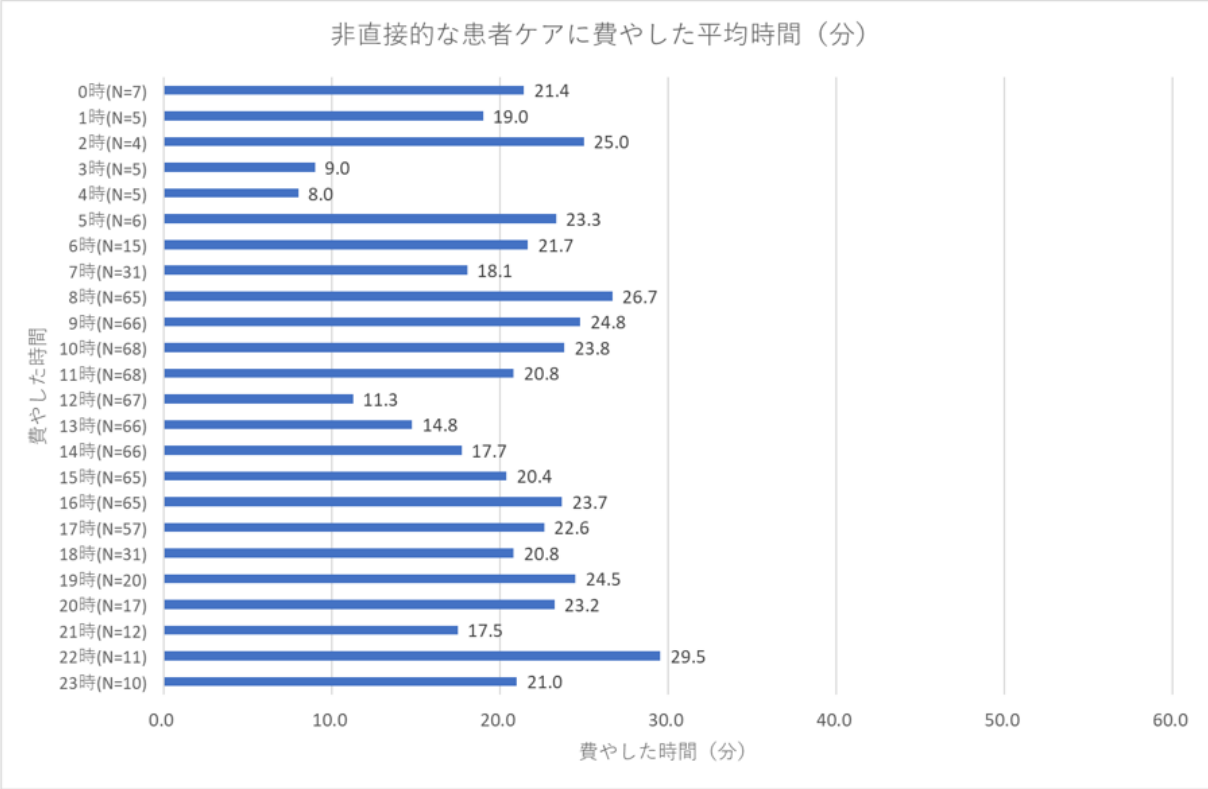
別紙 1

	聖路加国際大学 (N=22)	聖マリアンナ医科大学病院) (N=34)	東京ベイ・浦安市川医療センター (N=13)	*P* value
年次, J1	11 (50%)	17 (50%)	8（61.5%）	0.755
年齢 (才) (mean ± SD)	27.1±2.6	27.6 ± 2.1	26.2 ± 1.2	0.07
性別, 男性	15 (68.2%)	23 (68%)	7 (54%)	0.633
勤務時間 (mean ± SD)	12時間35分±377分	10時間43分 ± 212分	13時間05分 ± 185	0.171
睡眠時間 (mean ± SD)	5時間38分 ±44分	6時間36分 ± 50分	6時間38分 ±62分	0.001**

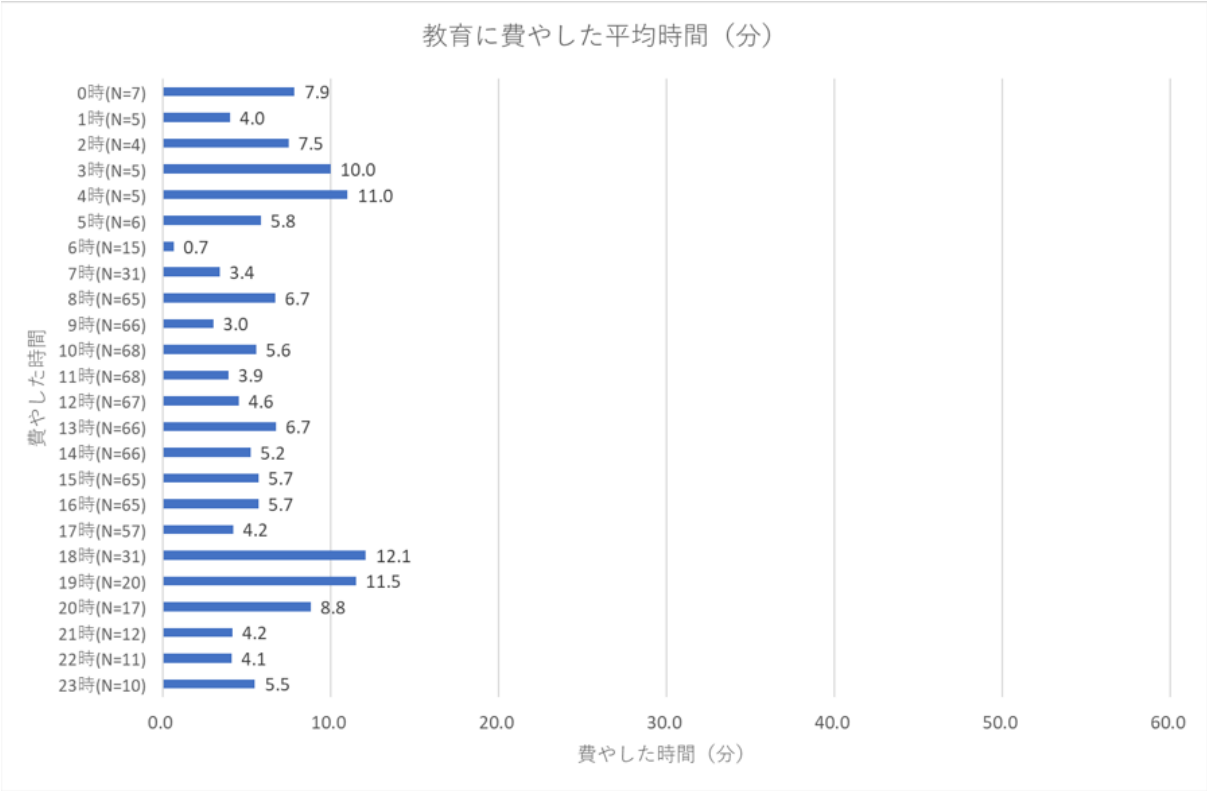
*chi-square tests

	研修医　69名
年次, J1	36 (52%)
年齢 (才)	27.2 ± 2.2
性別, 男性	45 (65%)
勤務時間	11時間45分 ±275分
睡眠時間	6時間18分 ± 57分

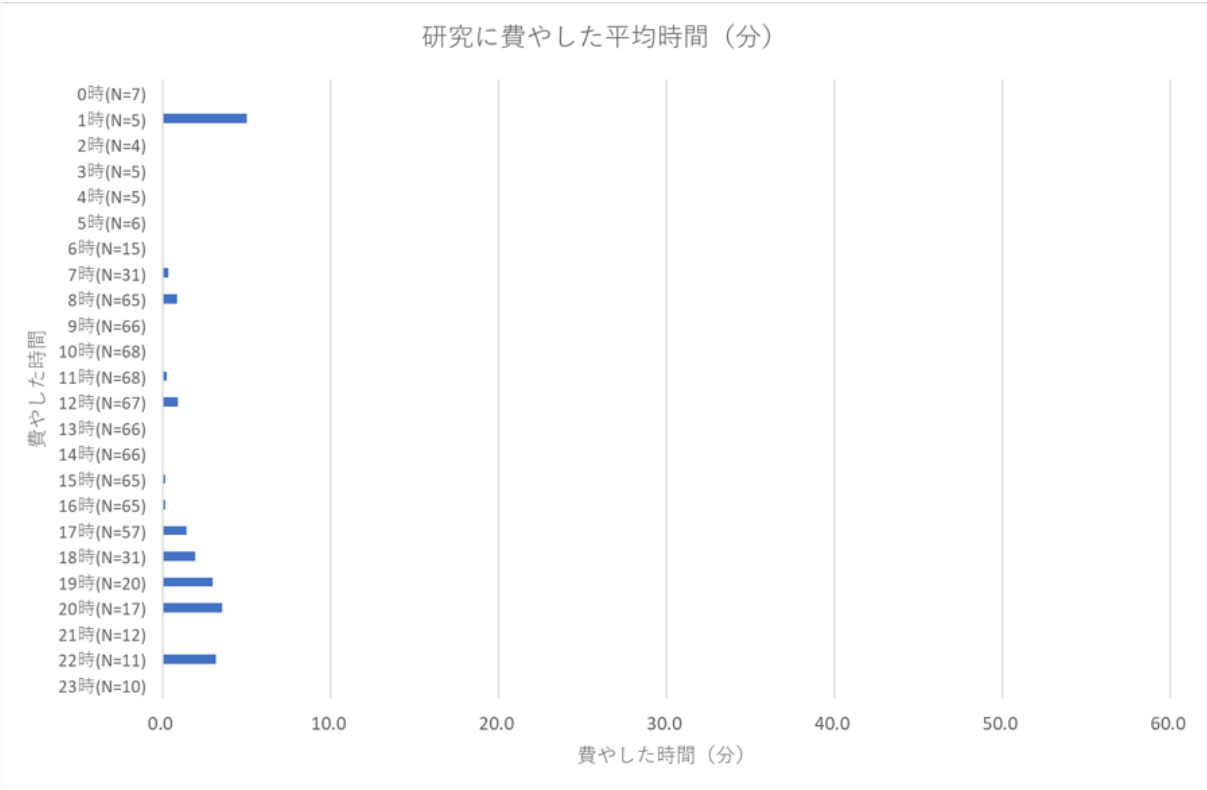




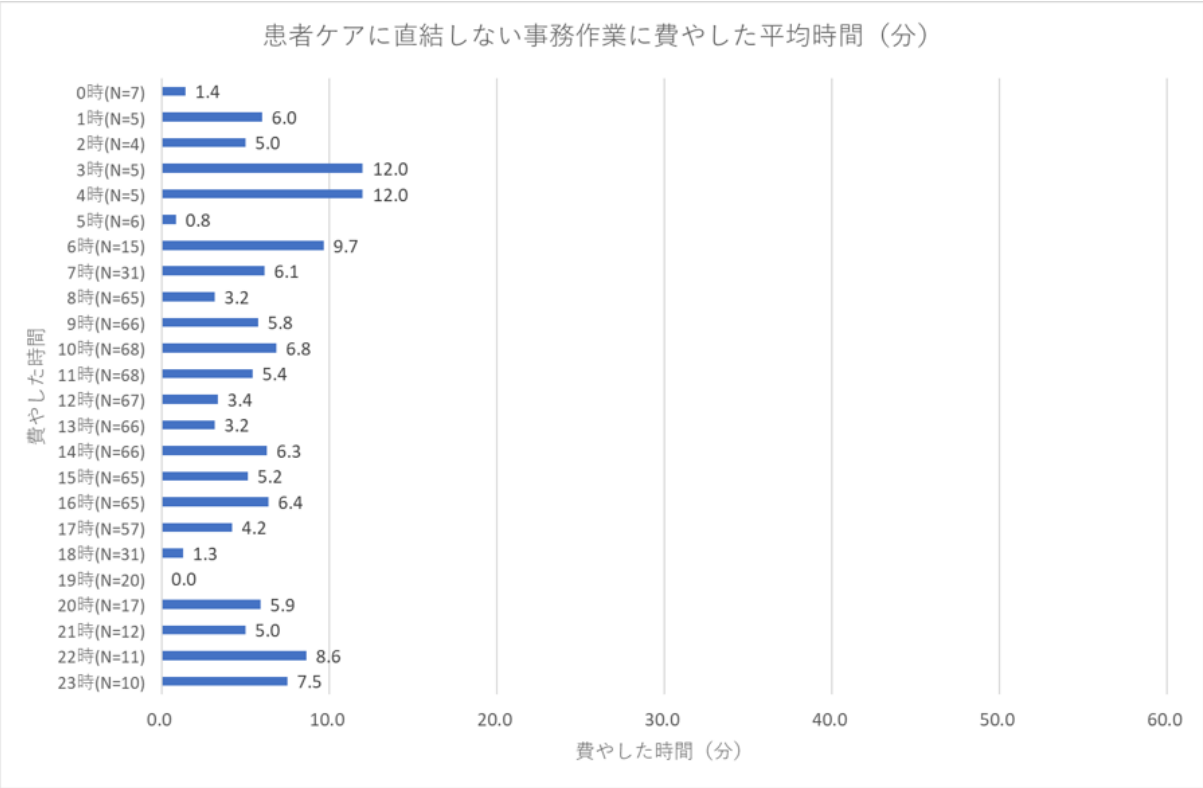
◆ 16時以降に非直接的な患者ケアの業務を行っている。



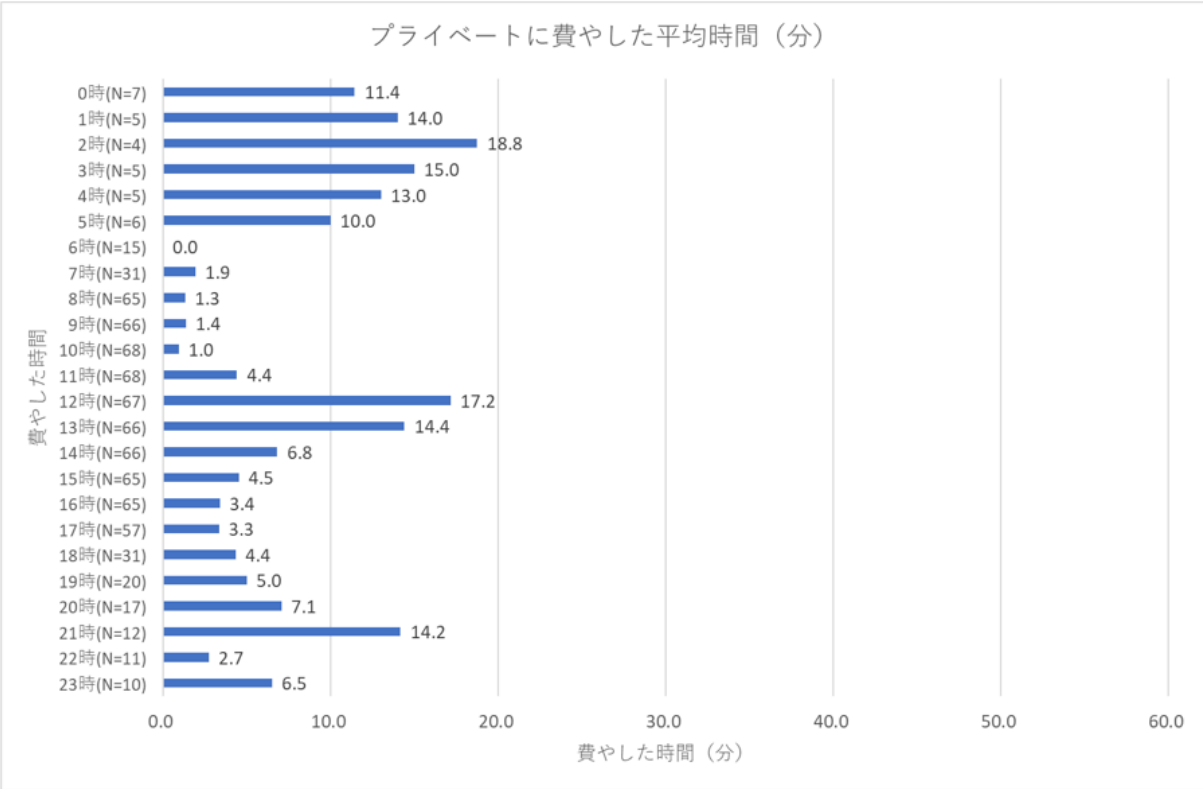
◆ 業務終了後に行っている。

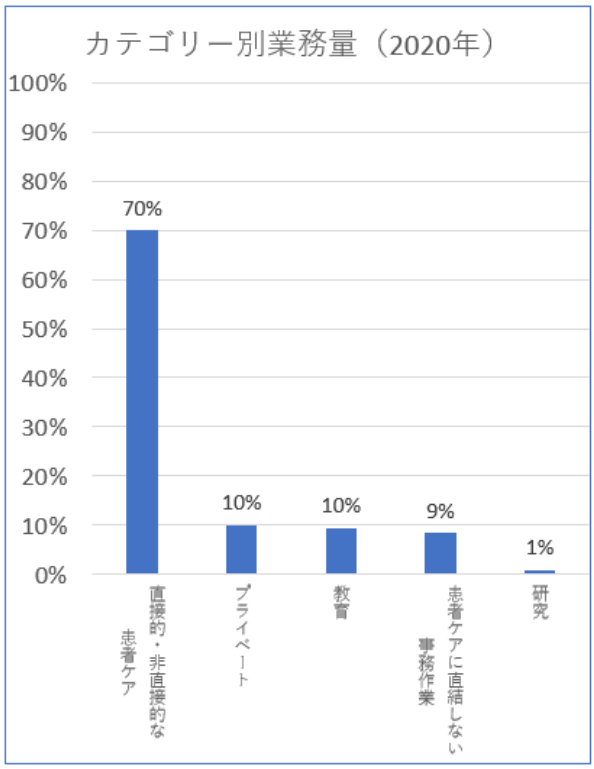


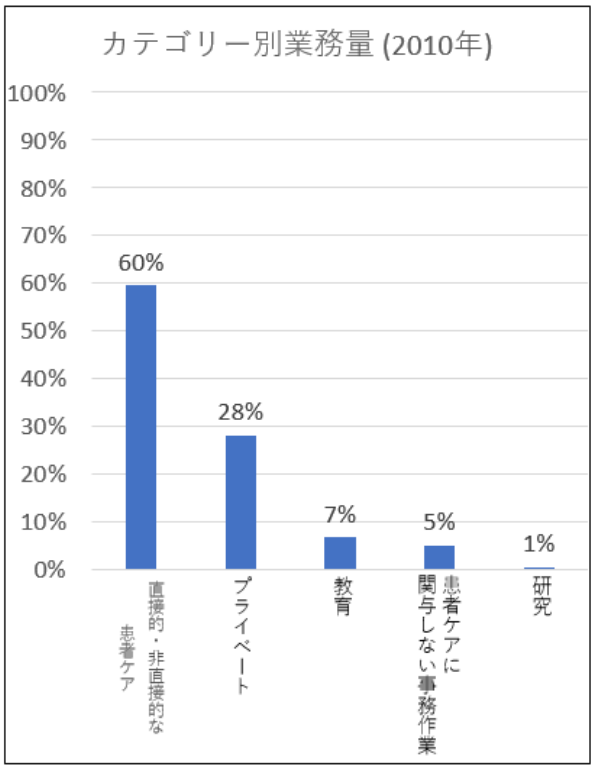
◆ 業務終了後から深夜にわたって行っている。



◆ ピークが早朝(3時～4時), 深夜(22時)にある。







10 年前と比較すると、2020 年は患者ケアが 10 ポイント増加、プライベート時間は半減。教育、事務作業は微増、研究は不変。

厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業））
令和 2 年度研究年度終了総括研究報告書

ICT を活用した医学教育の医学教育コンテンツ等の開発

研究分担者 河北 博文 （公益財団法人日本医療機能評価機構 理事長）
研究協力者 伴 信太郎 （愛知医科大学 医学教育センター 特命教授）
岡崎 仁昭 （自治医科大学 医学教育センター センター長、内科学講座アレルギー膠原病学部門 教授）
川平 洋 （自治医科大学 ﾒﾃﾞｨｶﾙｼｭﾐﾚｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ センター長 外科学講座消化器外科部門 教授）
松山 泰 （自治医科大学 医学教育センター 准教授）
淺田 義和 （自治医科大学 情報センターIR 部門 講師）
上田 茂 （公益財団法人日本医療機能評価機構 専務理事）
橋本 廸生 （公益財団法人日本医療機能評価機構 常務理事）
後 信 （公益財団法人日本医療機能評価機構 執行理事）
栗原 博之 （公益財団法人日本医療機能評価機構 統括調整役）
奥村 晃子 （公益財団法人日本医療機能評価機構 EBM 医療情報部長）

【研究要旨】
我が国の医学教育を充実させて医療の質の向上を図るためには、卒前・卒後教育、生涯教育など各フェーズにマッチする標準化された質の高い医学教育コンテンツを作成して、広く医学生や臨床医が利用できる体制を整備することが重要であると考えている。
本年度の研究は、昨年度の研究で作成したMoodle版の医学教育コンテンツについて、問題ごとに回答の正誤を示し、正解を回答して次に進む形式とし、問題の次のページには、問題に関する解説を掲載して正しい知識を伝えることができる構成として、作成した。
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全国の医学部において臨床実習を行うことが困難となり、縮小ないし中止する事態となった。そこで、昨年度の研究で作成したコンテンツ作成マニュアルに基づいて、臨床実習の代替教材として6症例のシナリオ・コンテンツを作成し、無償提供を行ったところ、42大学医学部からの申し込みがあった。また、提供した代替教材に関して、教員と医学生にアンケート調査を行ったところ、概ね高い評価であった。

A. 研究目的

我が国における ICT を活用した医学教育については、医学部をもつ大学には、医学教育センターなどが設置されているが、大学の垣根を越え幅広く利用することができる標準化されたコンテンツはほとんどない。我が国の医学教育を充実させて医療の質の向上を図るためには、卒前・卒後教育、生涯教育など各フェーズにマッチする医学教育コンテンツを作成して、広く医学生や臨床医が利用できる体制を整備することが重要であると考えている。

本研究では、モデル的なシナリオ・コンテンツを作成し、Moodle 版での教材となる医学教育コンテンツを作成するとともに、医学教育コンテンツの作成と利用に関する体制基盤づくりについて提言することを目的としている。

本年度の研究は、昨年度の研究で作成した Moodle 版の医学教育コンテンツについて、問題ごとに回答の正誤を示し、正解を回答して次に進む形式とし、問題の次のページには、問題に関する解説を掲載して正しい知識を伝えることができる構成とし、問題回答後に速やかに知識をフィードバックする教材にバージョンアップを行うことを目的としている。

B. 研究方法

B-1. 医学教育コンテンツのバージョンアップ

昨年度の研究では、実臨床現場を設定とした、問題解決型学習、双方向性、臨床推論、EBM などを取り入れ、プライマリケアを重視したケースシナリオに基づく医学教育コンテンツを作成した。

本年度の研究では、昨年度の研究で作成した医学教育コンテンツに関して、Moodle の小テスト形式での双方向性を確保するだけではなく、正

しい知識をフィードバックすることに着眼し、医学教育コンテンツの作成を行った。昨年度の研究で作成したシナリオ・コンテンツのうち、急性腎盂腎炎の敗血性ショックの症例および胸痛(大動脈弁狭窄症)の症例に関して、一部設問を変更するなどの改変を行い、さらに設問に関して詳細な知識を補完する解説を追加した。補完した解説のレベルは、医学生向けの内容とした。

パワーポイントで作成したシナリオ・コンテンツに変更・追加を行った後に、LMS である Moodle に展開し、Moodle 版の医学教育コンテンツとした。

B-2. 臨床実習代替教材の作成と無償提供

2020 年 3 月ころから感染拡大となった新型コロナウイルス感染症の影響により、全国の医学部において臨床実習を行うことが困難となり、縮小ないし中止する事態となった。そこで、昨年度の研究で作成したコンテンツ作成マニュアルに基づいて、臨床実習の代替教材として 6 症例のシナリオ・コンテンツを作成した。

「医学教育ユニットの会」(医学教育専門部局の教員を中心として、医学部、医科大学における医学教育専門部局の活動に関心のある有志の個人により構成される)のメーリングリストを通じて、これらの臨床実習代替コンテンツ 6 症例を全国の医学部に無償で提供することが話し合われ、無償提供したところ、42 大学から利用の申し込みがあったことから、サーバを通じて無償提供を行うこととなった。提供した教材は、LMS に組み込んだ教材ではなく、パワーポイントで作成したシナリオをそれらに付随した動画などのコンテンツをファイルのまま提供した。

B-3. 臨床実習代替教材に関するアンケート調査

今後、質の高い標準化された医学教育コンテンツを作成して、広く利用されるために、無償提供した教材に関して、利用された各大学の教員および医学生に対してアンケート調査を行った。

アンケート調査は Google Form を利用して、インターネット上で行った。アンケート調査は、臨床実習教材を利用された大学の教員に調査を依頼した。また、医学生には、教員を通じてアンケート調査の依頼を行った。アンケート実施期間は 2020 年 11 月 18 日から同年 12 月 7 日まで実施した。教員向け調査項目は、教材の利用目的、教材の利用方法、素材の評価、教材の評価について、医学生向け調査項目は、教材の評価を中心にアンケート調査を実施した。

B-4. AI の初期研修用コンテンツ

今後急速に発展すると予想される、AI に関して初期研修用として作成したコンテンツを AI の初歩的知識を確認するコンテンツとした。

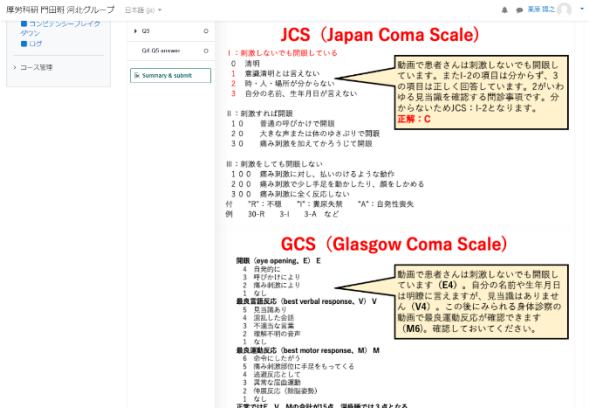
C. 研究結果

C-1. 医学教育コンテンツのバージョンアップ

昨年度の研究で作成した Moodle 版の医学教育コンテンツは、双方向性を確保する目的から小テスト形式としたが、問題への回答の正誤に関しては、医学教育コンテンツの最後で結果を通知する仕組みとしていた。しかし、この形式では、誤った回答をした場合でも、その結果を途中で知ることができず、また正しい知識をフィードバックすることができていなかった。これらを改善するため、本年度の研究では、バージョンアップを図って、問題ごとに回答の正誤を示し、誤った回答であった場合はその問題にリトライできる仕組みとした。

また、正解を回答して次に進む形式とし、問題の次のページには、問題に関する解説を掲載して正しい知識を伝えることができる構成とし、問題回答後に速やかに知識をフィードバックする教材にバージョンアップを行った。

C-2. 臨床実習代替教材の作成と無償提供



臨床実習の代替教材は、6 症例のシナリオ・コンテンツを作成した。各症例は次のとおりである。

症例 1　68歳女性、発熱、悪寒、意識障害で来院、急性腎盂腎炎、敗血症の症例

症例 2　48歳男性、遷延性咳嗽で来院、逆流性食道炎に伴う咳嗽の症例

症例 3　69歳女性、感覚性失語で発症した慢性心房細動に伴う心原性脳梗塞の症例

症例 4　56歳女性、健康診断で指摘された高血糖、高血圧で受診した症例

症例 5　64歳女性、食欲不振で来院、非ステロイド抗炎症薬による胃潰瘍の症例

症例 6　65歳男性、意識障害と左片麻痺で来院、右被殻出血に対して開頭血種除去術を実施した症例

症例 1 と症例 2 は、昨年度の研究で作成したシナリオ・コンテンツを改変したものであり、その他の症例 3 から症例 6 は、昨年度の研究で作成したコンテンツ作成マニュアルに沿って、臨床実習の代替教材用に作成したものである。

教材の提供形式としては、シナリオのパワーポイントファイルとシナリオに付随する動画コンテンツ、初診時カルテ雛形とその記載例、診療記録(手術要約を含む)とその記載例などをファイルのまま提供した。

C-3. 臨床実習代替教材に関するアンケート調

査

アンケート調査を実施したところ、教員については、42 大学中 28 大学の教員から回答があった。医学生については、3 大学、38 名の医学生から回答があった。

教員に対するアンケート調査結果から、教材の利用目的については、臨床実習の教材と自習教材が 89.3%であり、教材として広く利用されていた。また、post-CC OSCE の問題としての利用が 14.3%あり、post-CC OSCE の問題を 3 問は大学で作成しなくてならない実情もあり、大学において問題作成に苦慮している事情が伺えた。

教材の利用方法については、パワーポイントで利用が 52.2%と最も多かった。次いで LMS 組み込んで利用が 39.9%あり、このうち Moodle を利用しているケースがほとんどであった。さらに、

「LMS 上に展開する場合、作業に時間がかかる」、「Moodle にそのまま組み込める形にしていただきたい」との意見があったことから、教材の提供方法において、素材提供(パワーポイントや動画ファイルのままでの提供)でも教材としての役割を果たすことが可能であると思われるが、提供する段階で LMS に組み込んだ状態で提供することも有用であると考えられ。

パワーポイントの内容、音声ファイル、動画ファイル、診療録、サマリーなどについては、良くないが一部あるものの、良い、非常に良いがほとんどであり、高く評価されている。

「臨床現場で経験しないと解けない設問なども入っていて、勉強になった」、「オンライン臨床実習の教材として非常に有効である」など多くの評価する意見もあった。

症例ごとの評価については、使っていないが 19.2％～42.3％あったが、その理由としては、web 実習から対面実習へ切り替わったため、別の提供された教材を利用したためなどが考えられる。使っている場合の評価については、使いやすい、非常に使いやすいが、ほぼ 100％であり、使いやすいと評価されている。

教材の使いやすさおよび教材の有用性についても、使いやすい、非常に使いやすいが、ほぼ 100％であり、使いやすいと評価されている。

医学生に対するアンケート調査結果から、教材の内容については、分かりやすい、非常に分かりやすいが 88.9％で、多くの医学生が分かりやすいと評価されている。

「音声ファイル、動画ファイル」、「診療録、サマリー」、「教材の使いやすさ」、「教材の有用性」については、分かりにくいが 16.7％～19.4％あり、また教員の使いにくい 0％～4％に比べて多かった。今後は、教員のみならず医学生の意見も伺って、学生からの目線でより使いやすい教材の作成する必要がある。

C-4. AI の初期研修用コンテンツ

作成した AI の初期研修用コンテンツは、河北研究の成果物などを収めているサーバに搭載し、閲覧可能な状態とした。URL は http://kawakita.medmdl.com/ai.html である。

D. 考察

本年度の研究成果物として作成した Moodle 版の医学教育コンテンツは、昨年度の研究で作成した Moodle 版の医学教育コンテンツで取り上げた小テスト形式を採用しながら、問題に取り組む際に正解までリトライできる方法と、問題に関する正しい知識をフィードバックする方法にバージョンアップを行っている。このバージョンアップにより、問題回答後に即座に正しい知識を学ぶことができ、学習効果が向上すると思われる。また、学生などでは、臨床実習や Pre-、Post-CC OSCE に向けた自習教材への活用が可能となると考えられる。そのためには、コアカリキュラムで取り上げられている疾患を対象に、シナリオ・コンテンツを大学の垣根を越えて All Japan で作成し、Moodle 版の医学教育コンテンツへ展開することが極めて重要となる。

今回作成した医学教育コンテンツでは、フィードバックする知識のレベルを医学生向けのレベルとして作成したが、フィードバックする内容やレベルを変えることにより、各フェーズにマッチする医学教育コンテンツとすることが可能になると思われる。

本研究で開発した医学教育コンテンツ向けのシナリオ・コンテンツの作成は、臨床実習を行うことができない事態となった際に、有用な教材への展開が可能になることがアンケート調査の結果から示唆された。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大という非常事態に遭遇し、臨床実習が縮小または中止となったことから、代替教材の必要性が強く望まれて、教材の提供となった。アンケート調査の結果、教員と医学生からパワーポイントの内容、音声ファイル、動画ファイルなどは高く評価されている。各種シナリオ・コンテンツを作成し、医学教育コンテンツを整備することは、医療の質の向上につながるばかりでなく、非常時においても有用な教材への活用が容易に行えることも利点の一つである。また、Pre-、Post-CC OSCE への活用も可能になると思われる。

臨床実習の代替教材の無償提供は、教材の提供形式としては、シナリオのパワーポイントファイルとシナリオに付随する動画コンテンツ、初診時カルテ雛形とその記載例、診療記録(手術要約を含む)とその記載例などをファイルのまま提供した。これは早急な対応が求められたため、LMS に組み込まなかったこと、また、各大学で独自に LMS を利用している際に展開が可能となるためである。しかし、教材提供後のアンケート調査結果では、「LMS 上に展開する場合、作業に時間がかかる」、「Moodle にそのまま組み込める形にしていただきたい」などの意見が聞かれたことから、Moodle 版の教材としての提供方法も有効な手段であることが伺えた。

E. 結論

I. 昨年度の研究で作成した医学教育コンテンツをバージョンアップさせ、知識面のフィードバックを充実させた、より教育効果が高められる医学教育コンテンツを作成した。

II. 昨年度の研究で作成したコンテンツ作成マニュアルに準拠した方法で、臨床実習の代替教材向けのシナリオ・コンテンツを 6 症例作成し、代替教材として全国医学部 42 大学に無償提供するとともに、アンケート調査を行ったが、その結果は概ね高い評価であった。

F. 研究発表

○松山泰，岡崎仁昭，淺田義和，栗原博之，上田茂，伴信太郎，河北博文，門田守人．医学生臨床実習，Pre-，Post-CC OSCE の代替コンテンツ――河北班からの提案―．医学教育 2020;51(3):216-218.

G. 知的財産権の出願・登録状況

なし。

研究結果の刊行に関する一覧表

○高橋誠．卒前臨床実習・卒後臨床研修の方略と評価の工夫．第 52 回日本医学教育学会大会（シンポジウム 8 教育の一貫性：4 年間の振り返りと今後の展望 座長：田中雄二郎）．令和 2 年 7 月 18 日~10 月 17 日，Web 公開．

○松山泰，岡崎仁昭，淺田義和，栗原博之，上田茂，伴信太郎，河北博文，門田守人．医学生臨床実習，Pre-，Post-CC OSCE の代替コンテンツ――河北班からの提案―．医学教育 2020;51(3):216-218.

令和 3年 1月 13日

厚生労働大臣　殿

機関名　国立大学法人東京医科歯科大学

所属研究機関長　職　名　学長

氏　名　田中　雄二[redacted]

次の職員の令和２年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相[redacted]ては以下のとおりです。

１．研究事業名　政策科学総合研究事業(臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業)

２．研究課題名　ICT を活用した卒前・卒後のシームレスな医学教育の支援方策の策定のための研究

３．研究者名　（所属部局・職名）　理事、学長

（氏名・フリガナ）　田中　雄二郎　（タナカ　ユウジロウ）

４．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	□	☑	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	☑	□		□
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（※3）	□	☑	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	☑	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　）	□	☑	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☑　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ☑　無 □（無の場合は委託先機関：　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ☑（有の場合はその内容：　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 3 年 3 月 29 日

厚生労働大臣　殿

機関名　聖路加国際大学

所属研究機関長　職　名　学長

氏　名　堀内　成子 [redacted]

次の職員の令和２年度厚生労働科学研究費／厚生労働行政推進調査事業費の調査研究における[redacted]況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人口知能実装研究事業）

２．研究課題名　ICT を活用した卒前・卒後のシームレスな医学教育の支援方策の策定のための研究

３．研究者名　（所属部局・職名）　聖路加国際病院・院長

（氏名・フリガナ）　福井　次矢・フクイ　ツグヤ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	□	■	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	■	□		□
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（※3）	■	□	■	聖路加国際大学	□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　）	□	■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合は委託先機関：　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

27/128

令和３年３月１日

厚生労働大臣 殿

機関名　東京大学[redacted]

所属研究機関長　職　名　総長

氏　名　五神

次の職員の令和２年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び[redacted]ついては以下のとおりです。

１．研究事業名　政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業）

２．研究課題名　ＩＣＴを活用した卒前・卒後のシームレスな医学教育の支援方策の策定のための研究

（H30-ICT－一般-005）

３．研究者名　（所属部局・職名）　医学部附属病院・教授

（氏名・フリガナ）　木内　貴弘・　キウチ　タカヒロ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	□	■	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	■	□		□
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（※3）	□	■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　）	□	■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合は委託先機関：　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。